

博士論文

リメイク映画とドラマにおける会話構造から見た日韓言語文化の視点

－隣接対と連鎖組織を中心に－

朴廷苑

広島大学大学院国際協力研究科

2022年3月

リメイク映画とドラマにおける会話構造から見た日韓言語文化の視点
—隣接対と連鎖組織を中心に—

D192439

朴廷苑

広島大学大学院国際協力研究科博士論文

2022年3月

広島大学大学院国際協力研究科

論文名: リメイク映画とドラマにおける会話構造から見た日韓言語文化の視点
—隣接対と連鎖組織を中心に—

学位の名称: 博士 (学術)

学生番号: D192439

氏名: 朴 廷苑

令和4年 1月 28日

審査委員会

委員長・准教授

審査委員長 深見 兼孝



教授

堀田 泰司



教授

佐藤 暢治



広島大学人間社会科学研究科・教授

今田 良信



広島大学・名誉教授

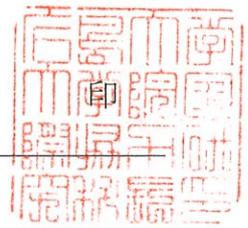
多和田 眞一郎



令和4年 2月 25日

研究科長

市橋 勝



目次

表	v
第1章 序論	1
1.1 はじめに	1
1.2 本研究の概要	3
1.2.1 研究目的と研究方法	3
1.2.2 研究対象と構成	4
1.2.3 研究の意義	8
第2章 先行研究	9
2.1 研究背景及び 先行研究の概観	9
2.1.1 隣接対	9
2.1.2 好まれる応答形式と好まれない応答形式	10
2.1.3 連鎖組織の拡張	11
2.1.4 日韓の会話における言語表現に関する対照研究	12
第3章 [視点1] 日韓の類似した場面に現れた隣接対の比較	15

3.1	日本映画を原作としそれをリメイクした韓国映画の隣接対.....	15
3.2	韓国映画を原作としそれをリメイクした日本映画の隣接対.....	21
3.3	日本/韓国ドラマを原作としそれをリメイクした韓国/日本映画の隣接対.....	28
3.4	まとめ.....	33
第4章	[視点2] 日韓の類似した場面に現れた好まれる応答形式と好まれない応答形式の比較....	
	36
4.1	日本映画を原作としそれをリメイクした韓国映画の応答形式.....	36
4.2	韓国映画を原作としそれをリメイクした日本映画の応答形式.....	39
4.3	日本/韓国ドラマを原作としそれをリメイクした韓国/日本映画の応答形式.....	44
4.4	まとめ.....	48
第5章	[視点3] 日韓の類似した場面に現れた連鎖組織の拡張比較.....	51
5.1	前置き連鎖.....	51
5.1.1	日本映画を原作としそれをリメイクした韓国映画の前置き連鎖.....	51
5.1.2	韓国映画を原作としそれをリメイクした日本映画の前置き連鎖.....	53
5.1.3	日本/韓国ドラマを原作としそれをリメイクした韓国/日本映画の前置き連鎖....	
	54
5.2	挿入連鎖.....	60

5.2.1	日本映画を原作としそれをリメイクした韓国映画の挿入連鎖.....	60
5.2.2	韓国映画を原作としそれをリメイクした日本映画の挿入連鎖.....	63
5.2.3	日本/韓国ドラマを原作としそれをリメイクした韓国/日本映画の挿入連鎖....	65
5.3	後方連鎖.....	69
5.3.1	日本映画を原作としそれをリメイクした韓国映画の後方連鎖.....	69
5.3.2	韓国映画を原作としそれをリメイクした日本映画の後方連鎖.....	73
5.3.3	日本/韓国ドラマを原作としそれをリメイクした韓国/日本映画の後方連鎖....	76
5.4	まとめ	79
第6章	【視点4】 それ以外に見られる日韓表現の比較.....	84
6.1	日本映画を原作としそれをリメイクした韓国映画に見られる表現の違い.....	84
6.2	韓国映画を原作としそれをリメイクした日本映画に見られる表現の違い.....	87
6.3	日本/韓国ドラマを原作としそれをリメイクした韓国/日本ドラマに見られる表現の違い	91
6.4	まとめ	95
第7章	分析結果.....	97

7.1 本研究のまとめ	97
7.1.1 [視点 1] 隣接対の違い	97
7.1.2 [視点 2] 好まれる応答形式と好まれない応答形式の違い	100
7.1.3 [視点 3] 連鎖組織の違い	103
7.1.4 [視点 4] それ以外に見られる表現の違い	105
第 8 章 結論	111
参考文献	114
付録	117
謝辞	128

表

表 1 日韓リメイク映画とドラマの紹介	4
表 2 日韓映画「隣接対」の種類別頻度の順位	15
表 3 韓日映画「隣接対」の種類別頻度の順位	21
表 4 日韓ドラマ「隣接対」の種類別頻度の順位	28
表 5 日本語と韓国語「隣接対」の全体的な出現回数と各頻度(割合)	97
表 6 日本語と韓国語「好まれる応答形式と好まれない応答形式」の比較	101
表 7 日本語と韓国語「連鎖組織の拡張」の比較	103
表 8 それ以外に見られる全体的な日本語と韓国語の表現比較	107

第1章 序論

1.1 はじめに

我々は会話によって相手に自分のメッセージを伝え、それに対する相手のメッセージを受け取る。さらに、それに対して自分のメッセージを伝えることで、メッセージのやりとりが続くこともある。相手の意向や質問などに対してどのように応じるのかについてその都度選択の道に置かれている。このように会話は相手との隣接対からなっている。隣接対は複数の話者による会話の交換の最小単位であり、より長い単位、すなわち連鎖組織の基本となるという(伝 2008)。連鎖組織は2つ以上の発話による連なりである。連鎖組織が拡張される場合、その拡張が生じることが可能な位置によって3つ(前置き連鎖、挿入連鎖、後方連鎖)ある(Schegloff 2007)。このように人々との相互関係の中で行っている発話は自分の意見を考え、表現し、相手に尋ねる手段であり、聞き手はそうした発話に影響を与えている背景としての文化を理解し自らの発話にそれを反映していると言っても過言ではない。つまり、私たちは言語と文化の密接な関係の中で相手とのやりとりを繋いで人間関係を成立させていると考えられる。

本研究で言う言語文化的な視点とは、私たちが日常生活で話している言語がその国の文化的な慣習、価値観などに影響を与えていることである。例えば、日本語も韓国語も敬語が使われているが、相手との上下関係によって現れる呼称、敬語などに違いがある。日本語の場合、相対敬語として相手によって尊敬語、丁寧語、謙讓語が使われるのに対し、韓国語は目上の人には絶対敬語が使われる点で確かに違いがある。日本語の敬語は相対敬語として話し手と聞き手、第三者の相互関係によって第三者の待遇が考慮される反面、韓国語の敬語は絶対敬語として話し手と聞き手との二人の関係を中心に、その待遇は聞き手が誰であるかに関わらず常に一定に使われる。文化の一部分にある敬語ということを学ばないとその国の人間関係を理解できず、言語を理解するということは、その国の文化の一部分を理解するということでもある。敬語を見ても日本語と韓国語の表現の差が存在

し、それはその国の文化的な背景が言語に影響を及ぼしていると思われる。その国の言語を理解するためには、そこで使われている文化を理解しなければ、十分には理解することはできない。また、その国の文化を理解しなければ、その文化内で使われている言語をも理解できない。つまり、言語と文化は相互関係を持つと考えられる。このようなことから、2つの発話の対である隣接対と隣接対の連結構造である連鎖組織を通じて見る会話表現にも、日韓で差が存在していると思われる。

本研究では日韓の映像メディアの中で映画とドラマの原作とリメイク作品を通じて会話構造の比較を行う。リメイク作品は原作と対応する人物が登場していることが多く、全体的なストーリーの流れもほぼ同一に展開しているが、リメイクしたその国の雰囲気、社会的な状況、情緒などが言語に反映されて作り直されている。それはその国による言語文化的な視点の違いと関係しているのではないかと思われる。ドラマや映画を原作にしたリメイク作品の場合、その国の社会の実情に合わせて現地化(localization)される「文化翻訳 (cultural translation)」の過程を伴うという(アンソニー・ビム 2010)。ここでいう文化翻訳とは映画、ドラマの映像作品のコンテンツが他文化圏においてリメイクされる過程で必然的に発生する時代背景、キャラクター、台詞、物語構造、エピソードなどが構成するテキストが現地の状況に適合する生産と受容の文化的実践を指す(芳賀恵・金周英・玄武岩 2014)。こうしたリメイク映画とドラマは、私たちが過している日常生活や様々な社会問題などが反映され、その国の言語と文化、その当時の社会の雰囲気が理解できるように再現する映像媒体であると考えられる。そのことによって同じような作品でも日韓の言語文化的な視点の違いがあると判断される。リメイク映画とドラマにおける類似した場面を比較する理由は、登場人物の社会的関係や場面が同一であるだけでなく、会話の内容や目的が同じであるにもかかわらず、場面の中に文化的な背景、社会的な雰囲気、慣習などが反映され、隣接対や連鎖組織に差が現れることがあるのではないかと思われるからである。

したがって本研究は、日韓リメイク映画とドラマにおける会話構造の中でのどのような様相で隣

接対と連鎖組織が表れているのか、それらが表現している内容も合わせて、どのような文化的な背景によって好まれる応答形式と好まれない応答形式が見られるのか、それ以外の表現の差があるのかを探る。このような研究から始めて、日韓リメイク映画とドラマにおける会話構造から見る言語文化の視点の違いを考察する。なお、本論文の主要部分は朴廷苑(2020)、朴廷苑(2021)を発展させたものである

1.2 本研究の概要

1.2.1 研究目的と研究方法

本研究の目的は、日韓リメイク映画とドラマの会話に表れている隣接対と連鎖組織の様相を分析し、これらがどのような内容を表現しているか、日韓の言語文化的な視点から明らかにすることである。隣接対と連鎖組織を通じて会話構造を知るためには、まず、最小単位となる隣接対と好まれる応答形式と好まれない応答形式、連鎖組織を調べる必要がある。

そのために、研究を以下の順で考察を行う。

- 1) 日韓の類似した場面において表れる隣接対と総出現回数と各隣接対の頻度がどうなっているのか。また、日韓の隣接対の比較を通じて、どのような隣接対が使われているのか。
- 2) 日韓の好まれる応答形式と好まれない応答形式が見られる場面はどんな場面なのか。また、応答形式の差はどのような形で現れているのか。
- 3) 連鎖組織の拡張としての前置き連鎖、挿入連鎖、後方連鎖はどのように使われているのか。
- 4) それ以外に見られる日韓の表現の差にはどのようなことがあるのか。それ以外に見られる表現とは隣接対の作っている発話の内容(上下関係や年齢差による呼称や敬語)を指す。どのような類似した場面に表れているのか、その実例を検討する。

1.2.2 研究対象と構成

研究対象は第1に日本映画を原作としそれをリメイクした韓国映画、第2に韓国映画を原作としそれをリメイクした日本映画である。第3に日本ドラマを原作としそれをリメイクした韓国ドラマ、第4に韓国ドラマを原作としそれをリメイクした日本ドラマである。

本研究の対象である日韓リメイク映画とドラマの簡略的な紹介を表1に示す。

表1 日韓リメイク映画とドラマの紹介

順番	タイトル (年度)	上映時間	監督(演出)
1 日本映画を原作とし それをリメイクした韓国映画	①日本映画『いま、会いにゆきます(2004)』	119分	土井裕泰
	韓国映画『지금 만나러 갑니다(2018)』	131分	イ・ジャンフン
	②日本映画『リトル・フォレスト夏/秋(2014)』	111分	森淳一
	『リトル・フォレスト冬/春(2015)』 韓国映画『리틀포레스트(2018)』	120分 103分	森淳一 イム・スンレ
2 韓国映画を原作とし それをリメイクした日本映画	③韓国映画『써니(2011)』	124分	カン・ヒョンチョル
	日本映画『サニー(2018)』	119分	大根仁
	④韓国映画『수상한 그녀(2014)』 日本映画『怪しい彼女(2016)』	124分 125分	ファン・ドンヒョク 水田信夫
3 日本ドラマを原作とし それをリメイクした韓国ドラマ	⑤日本ドラマ『派遣の品格(2007)』1～8	各54分	佐藤東弥
	韓国ドラマ『직장의 신(2013)』1～16	各60分	チョン・チャンゴン
4 韓国ドラマを原作とし それをリメイクした日本ドラマ	⑥韓国ドラマ『미생(2014)』1～20	各60分	キム・ウォンソク
	日本ドラマ『HOPE(2016)－期待ゼロの 新入社員－』1～9	各60分	河野圭太 城宝秀則

次に、日韓リメイク映画とドラマのストーリーについて述べる。

① 日本映画『いま、会いにゆきます(2004)』とそれをリメイクした韓国映画『지금 만나러 갑니다(2018)』のストーリーは、病気で亡くなった母親が過去の記憶を失ったまま、雨の日に父と息子の前に現れ、3人の新しい生活が始まるが、やがて母親は雨の日再び「あの世」に戻るという内容である。

② 日本映画『リトル・フォレスト夏/秋(2014)』・『リトル・フォレスト冬/春(2015)』それをリメイクした韓国映画『리틀포레스트(2018)』は、日本：いち子(韓国：ヘウォン)が実家に戻って季節ごとに栽培した農作物を材料にして料理しながら親友2人と話し合いながら物語が進行する。

③ 韓国映画『씨니(2011)』とそれをリメイクした日本映画『サニー(2018)』は、夫と子供がいる韓国：ナミ(日本：奈美)が、母親の病院にお見舞いに行った時、偶然にかつての親友チュンハ(芹香)と久しぶりに出会い、すでに末期がんに冒されている彼女の「死ぬ前にもう一度だけみんなに会いたい」という願いを実現するため、高校時代のメンバー6人が集まる内容である。

④ 韓国映画『수상한 그녀(2014)』とそれをリメイクした日本映画『怪しい彼女(2016)』は、70歳の韓国：マルスン(日本：カツ)おばあさんが20歳の姿に若返って巻き起こす騒動を描いたものである。1人で娘を育てあげ、自分の望む人生を送ることができなかったマルスン(カツ)がある日、写真館にたどり着き、そこで写真を撮り、店を出ると20歳の姿に戻っていて新しい人生を楽しみはじめる。

これらの映画では日常生活において家族の会話(親子や夫婦、孫と祖母)、先生と学生、友人同士の会話が頻繁に現れている。

⑤ 日本ドラマ『派遣の品格(2007)』とそれをリメイクした韓国ドラマ『직장의 신:職場の神(2013)』は、特別な条件(契約延長、担当以外の仕事、休日出勤と残業もなし)で採用された派遣社員 日本：大前(韓国：ミス・キム)が大変な仕事を勤務時間内に必ず仕上げ、会社に舞い込むトラブルを次々と解決する内容である。

⑥ 韓国ドラマ『미생:ミセン(2014)』とそれをリメイクした日本ドラマ『HOPE(2016)一期

『期待ゼロの新入社員-』は、母親と2人で暮らしながら色々なアルバイトをして家庭の生活費を稼ぐ 韓国:ジャン・グレ(日本:一ノ瀬)が、子供の時から夢であるプロ棋士へ道をあきらめ、高校出身の大企業の契約社員として採用され、様々な会社の難問に遭遇しながら成長していく内容である。

これらのドラマのストーリーでは、会社を背景とし正社員と契約社員との差別的な会話、同僚、上司と部下職員との会話が頻繁に現れている。これらの日韓リメイク映画とドラマではストーリーの流れの中で順序が多少異なっているが、日韓の間で対応する人物が類似した場面において会話をしており、その会話の目的や内容が同じであれば類似していると判断した。日韓の映画の類似した場面では日本『いま、会いにゆきます(2004)』と韓国『지금 만나러 갑니다(2018)』がそれぞれ8場面として16場面となり、日本『リトル・フォレスト夏/秋(2014)』、『リトル・フォレスト冬/夏(2015)』と韓国『리틀 포레스트(2018)』はそれぞれ6場面として12場面になる。韓日の映画の類似した場面では韓国『써니 (2011)』と日本『サニー(2018)』がそれぞれ16場面として32場面となり、韓国『수상한 그녀(2014)』と日本『怪しい彼女(2016)』の場合、それぞれ15場面として30場面になる。また、日韓のドラマの類似した場面では日本『派遣の品格(2007)』と韓国『직장의 신 : 職場の神(2013)』がそれぞれ40場面として80場面となり、韓日のドラマの類似した場面では韓国『미생 : 미센(2014)』と日本『HOPE(2016)』がそれぞれ57場面として114場面になる。その類似した場面の会話のセリフを収集したデータを文字化した。文字化するにあたり、日本語は漢字仮名の形で表記し、韓国語はハングル表記し、日本語の翻訳を加えて文字化資料を作成した。

それに基づいて、研究目的で述べた4つの事柄を通じて、これらの会話の中で類似した場面での会話を比較し、どのような形で隣接対と好まれる応答形式と好まれない応答形式が表れているのか、日韓の会話構造の中で連鎖組織(前方連鎖、挿入連鎖、後方連鎖)はどのようになっているのかを考察する。

本研究の構成は以下の通りである。

第1章は、序論として、研究目的、研究方法、研究対象、研究の意義について述べる。

第2章は、先行研究について概観する。まず、隣接対、好まれる応答形式と好まれない応答形式、連鎖組織の用語や概念を整理した上で、これまでの日韓の会話における言語表現に関する先行研究の成果について検討する。そこで、本研究の位置付けを述べる。

第3章は、日韓リメイク映画とドラマの類似した場面における表れている隣接対と総出現回数、隣接対の種類別頻度と順位を見出す。どのような隣接対が使われているのか、その実例を検討する。このことによって、日韓の隣接対の比較を通じて日本語と韓国語の隣接対の相違が明らかになると思われる。

第4章は、このような隣接対の分析の枠組みを基に日韓の好まれる応答形式と好まれない応答形式に見られる差を比較し、日韓の会話に見られる相違点と類似点を明らかにする。このことによって、日韓の応答形式の差を考察する。

第5章は、日韓の連鎖組織の拡張として前置き連鎖、挿入連鎖、後方連鎖がどのような形で表れるのか、その実例を検討する。このことによって、日韓の連鎖の相違があるのかについて明らかにする。

第6章は、それ以外に見られる日韓の表現の差を見る。実際に例を見たところ、上下関係や年齢差による呼称や敬語に差が見られた。この章ではこれらについて、どのような類似した場面に表れているのか、その実例を検討することで、それ以外に見られる日韓の表現の違いが明らかになると思われる。

第7章は、第3章から第6章までの結果から、言語文化的な視点を探ってみる。

日韓の類似した場面での会話に表れている隣接対、好まれる応答形式と好まれない応答形式、連鎖組織の拡張(前置き連鎖、挿入連鎖、後方連鎖)、それ以外に見られる表現を言語文化の視点から総合的な考察する。

第8章は、結論として、第7章までの分析結果と研究成果を考察するとともに、本研究から得られた知見を基に、日本語教育現場でどのように活用するか及び今後の課題について述べる。

1.2.3 研究の意義

日韓の会話における隣接対、好まれる応答形式と好まれない応答形式に見られる差、連鎖組織について把握するということは、どんな相手と、どんな話題を、どのように話すのかを知ることであり、日韓の言語文化的な視点から比較することである。本研究では、これまでの先行研究に表れた隣接対・連鎖組織と日韓の会話における様々な言語表現の対照を踏まえた上で、映像メディアの中でリメイク映画とドラマに着目する研究を進めることにする。

特にリメイク映画とドラマはストーリー、登場人物など外見的には同じような形でも、日韓の社会的な背景と価値観、慣習などが文化的な背景となっており、それを反映させることで作り直された言語表現の差を比べて見ることが出来る資料として研究する価値があると思われる。特に、リメイク映画とドラマの類似した場面において、同一の発話条件で対応する人物が生み出す隣接対の種類に関して日韓で差が出たとしたらどう考えられるか、また、原作で好まれる応答があるところにリメイクでは好まれない応答が現れたとしたらどう考えられるか、連鎖組織の拡張(前置き連鎖、挿入連鎖、後方連鎖)は日韓の場面でどのような形で表れているのか、などの様相を明らかにする有効な研究方法ではないかと考えられる。そうすることによって、日韓の言語表現の異なりを分析しながら日韓の言語文化的な特徴について明確にしていきたいと思う。こうした日韓リメイク映画とドラマにおける隣接対と連鎖組織の比較分析を行い、日韓の言語表現の差を把握して日韓の言語文化的な表現にどのような相違があるかを明確にするための比較が必要ではないかと思われる。

第2章 先行研究

2.1 研究背景及び先行研究の概観

この章では、研究対象として日韓リメイク映画とドラマの類似した場面における会話構造を比較分析する前に、まず、隣接対、好まれる応答形式と好まれない応答形式、連鎖組織の用語や概念を整理した上で、これまでの先行研究をまとめる。そして、本研究の位置付けを述べることにする。

2.1.1 隣接対

隣接対とは「挨拶/挨拶」、「質問/応答」、「勧誘/承諾・拒絶」などのような2つの発話の組み合わせで一対になっている隣り合う発話のことである。

隣接対という用語は Schegloff&Sacks(1973)で初めて用いられたもので、連鎖組織の中核をなす隣接対と対となる2つの行為の間にはたらく関係について論じられている。それによると、隣接対とは5つの特徴を持つ。すなわち、(1) 2つの発話からなる、(2) この構成単位としての2つの発話は隣接した位置にある、(3) 別の話し手がそれぞれの発話を産出する、(4) 対成分には相対的な順序が存在する(FPPがSPPに先行する)(5) FPPはSPPを特定化する関係にある。このように、隣接対は第1部分(FPP: first pair part)によって何らかの行為が開始され、受け手が第2部分(SPP: second pair part)でこれに応答すると言える。また隣接対は連鎖組織の基本単位となり、連鎖組織は最小の場合には1つの隣接対により構成されると述べている。

隣接対に関する先行研究として串田(2006)、伝(2008)、西阪・串田・熊谷(2008)、高木(2009)などがある。

串田(2006)は言葉を用いたやりとりが、話し手によっていかに手続きの秩序だったやり方で組み立てられているかを述べている。

伝(2008)は隣接対の類型とその拡張、隣接対を多人数マルチモーダル対話へ適用する際の留

意点について述べている。また隣接対をコーパスにタグ付けした事列を紹介している。

西阪・串田・態谷(2008)は会話の相互行為の展開において、言葉が参与者によりどのように用いられているのかについて考察している。

高木(2009)は隣接対概念の核心とも言うべき条件的適切性について記述し、乳幼児と養育者の相互行為の事例の分析を通じて、それらが隣接対を軸に組織されているということを示している。

2.1.2 好まれる応答形式と好まれない応答形式

隣接対の FPP に対して SPP が FPP の期待に添う場合と期待に反する場合があります。

例えば、友だちから誘いを受けた時、それを受諾する場合とそれに対して断る場合がある。

Sacks(1987)は、1 番目の発話に対して返される 2 番目の応答形式とその特徴について、好まれる応答形式と好まれない応答形式の 2 種類に分けて説明している。それによると、好まれる応答形式は (1) 直ちに、(2) 簡潔に、(3) 直接的に発話するが、それに対して、好まれない応答形式は (1) 遅れて、(2) 複雑に、(3) 間接的になり、ニュアンスが和らげられるという特徴も見られる。また、理由説明や言い訳を伴って複雑な形をとる傾向があると述べている。

好まれる応答形式と好まれない応答形式に関する先行研究として Levinson(1983)、Pomerantz (1984)、ザトラウスキー(1993)、Antaki(1994)などがある。

Levinson(1983)は SPP としての応答には有標なものと無標なものがあり、無標なものが好まれるとしている。好まれない応答は 4 つの特徴を持つ。すなわち、(1) 応答の遅延（沈黙など）、(2) 好まれない応答を示す（たとえば、'Uh'や 'Well'などの表現の使う、ためらいなど）、(3) 説明（なぜ、好まれない応答がなされたのかについての注意深い説明）、(4) 拒否（隣接対の FPP の性質に応じた間接的で緩和された拒否）という特徴があると述べている。

Pomerantz(1984)は申し出に関する会話のデータを分析した。その結果、相手の申し出に対

して、否定的な表現(たとえば、拒絶や不同意を示唆する表現)の代わりに、相手と同じ気持ちを持っていることを告げる肯定的な表現(たとえば、受諾や同意を示唆する表現)が使われることがあると述べている。

ザトラウスキー(1993)は日本語の談話構造の中で「勧誘」のストラテジーについて述べている。第2発話には「優先的な応答」と「非優先的な応答」とがあり、「優先的な応答」は無標で、構造上より単純な形をとるのに対し、「非優先的な応答」は構造上複雑な形をとることから有標となると分類している。

Antaki(1994)は実際の会話データを分析した。その結果、好まれる応答はすかさず簡単に示されるのに対して、好まれない応答には応答の遅れやためらいなどの前置きがあり、好まれない応答をせざるを得ない理由の説明をするといった特徴を伴っていると指摘している。

2.1.3 連鎖組織の拡張

Schegloff(1979、1986、2007)は、連鎖組織は2つ以上の発話による連なりであり、それに組み合わせられるべき発話が生じるための位置(前置き連鎖、挿入連鎖、後方連鎖)によって連鎖組織が拡張されると述べている。FPPが発話される前に置かれ、FPPが発話されるための前提条件を調べたり、その他の形でFPPの準備をしたりする発話や連鎖を「前置き連鎖」、FPPの発話後に発せられ、SPPが発話されるために必要な条件を整える発話や連鎖を「挿入連鎖」、FPPの発話を終わらせたり、さらに続けたりする役割を迫る発話や連鎖を「後方連鎖」と述べている。

連鎖組織に関する先行研究として Schegloff(1986)、橋内(1985)、筒井(2010)、長良光(2015a;2015b)、増田(2018)などがある。

Schegloff(1986)は電話会話において「呼び出し/応答」、「相互認識」、「挨拶」、「機嫌詞」の4つの連鎖にわたって相互行為の基盤が作られ、話題導入がなされることを示している。

橋内(1985)は電話会話において電話のかけ手が受け手を認識するよりも先に電話の受け手から自己名乗りが起こることを指摘している。

筒井(2010)は雑談がどのような連鎖組織から成るかについて4つの類型(質問、報告、共有

の提示、独り言)に分類し、その発話内容と言語形式について述べている。

長良光(2015a;2015b)は初対面の雑談における話題の対象に関する研究であり、質問から始まる連鎖組織について述べている。初対面の場合、導入的な質問からではなく、話題に直接入ることも少なくなく、質問から始まる連鎖組織は会話参加者についての質問(情報要求、意見要求など)であることが多いとしている。また、意見から始まる連鎖組織は会話参加者と事物についての意見(情報提供など)が述べられ、そして何らかのことを共有することから始まる連鎖組織では、事物についての共有(意見提示など)が試みられる傾向があることを示している。

増田(2018)は連鎖組織について、発話による働きかけとそれに対する応答の仕方に言及し、非明示的に応答を働きかけるやり方の例(教室場面、職場のミーティング、家族間のやりとり、子育てひろばでのやりとり)について述べている。

2.1.4 日韓の会話における言語表現に関する対照研究

日韓の会話における言語表現の対照研究として徐洪(2010)、정영미(2013)、강석우(2014)、平野愛雅(2014)、峯崎知子(2015)、金知垠(2017)、송연희(2018)、張允娥(2019)などが挙げられる。徐洪(2010)は日本ドラマ「白い巨塔」と韓国ドラマ「하얀거탑」をレトリック的に説得戦略、即ちロゴス、パトス、エートスの三つの方向から比較分析している。日本ドラマのシナリオをもとに、説得戦略が韓国ドラマのシナリオでどのように維持、変更されているのかを分析した。その結果、日本はロゴスによる説得戦略が主に用いられている反面、韓国は日本での主な説得戦略であるロゴスが脱落したり、パトスに変更されたり、日本にはないパトスによるエピソードが追加されると述べている。

정영미(2013)は韓日の大学生を対象として談話の提案行動に表れる発話のプロセスを分類し、それを比較分析している。その結果、韓日は提案発話/提案応答発話が多く、特に日本が韓国より受諾の発話を行う傾向があるとしている。また、提案発話の前に表れる先行発話は日本より韓国の方が多く観察されると述べている。

강석우(2014)は韓日の大学生を対象として依頼行動に現れる特徴について述べている。相手にお金を借りる状況を観察した結果、日本は依頼相手との親疎関係の別なく、拒絶する場合、謝罪表現が多い反面、韓国は親疎関係によって謝罪表現の違いがあると示している。

平野愛雅(2014)は日韓母語話者における就職面接で自らをPRするために使われる「自己に対する」褒め表現について述べている。日本の場合、性格、能力などの順で自己を褒め、韓国の場合、性格について非常に多く言及する傾向があると指摘している。

峯崎知子(2015)は日韓の申し出の場面での働きかけ方における違いを論じている。それによると、日本は韓国より丁寧に申し出を行い、初対面の相手に対して対人配慮が多い反面、韓国は「理由述べ」をしながら申し出をする傾向が多く、また初対面の相手に交換条件を多用して申し出を行っている。

金知垠(2017)は日韓のマイナス評価を前提とした場面での話しかけと応答について隣接対を分析し、その出現パターンと対人関係について述べている。日本は話しかけに応答する傾向がある反面、韓国は親しい関係では話しかけに対して応答しない傾向があると指摘している。また、日本は上下関係による評価についてあまり見られないが、韓国は年上に対しての評価表出が何らかの補償につながる手段として用いられていると述べている。

송연희(2018)は韓日の感情表現を分類し、感情類型と発話パターンの様相について述べている。日本は喜びの感情発話が韓国より非常に多く、韓国は怒りの感情発話が日本より多く使われていると述べている。また、好きであることを発話する場合、日本は感情表出とともに理由説明が行われる反面、韓国は同意要求が多く、嫌いの発話では韓国が日本より禁止要求が多く、驚きの発話では日韓とも間投詞が使われていると指摘している。

張允娥(2019)は日韓の友人同士の会話に表れる理解表現の違いについて、日韓の理解表現の使用頻度は韓国より日本の方が高く、日本の場合、話し手の発話の途中に出現する傾向が多く、韓国は文が終わった後で出現することが多いと述べている。また日本は韓国より相槌の使用が

高く、日本は聞き手に期待される理解表現をし、話し手が話しやすい環境を作る反面、韓国は話し手の発話を聞いた後、内容がある程度まとまった状態で話し手の発話全体をしっかりと理解していることを表現すると述べている。

以上のように、従来の先行研究は会話における隣接対と好まれる応答形式と好まれない応答形式、連鎖組織を概観した研究、また、韓日の会話における修辞学的な比較分析及び様々な言語表現(提案、依頼、謝罪、褒め、話しかけ、感情、理解)などの対照研究がなされてきた。

先行研究は会話構造の用語や定義をまとめたり、特定の言語表現を中心に得られた結果を論じることが見られるが、本研究はリメイク映像資料において類似した場面の中で両言語の会話における隣接対と連鎖組織を中心に比較分析しようとするもので、類似の研究はあまりない。先に述べたように、本研究は日韓リメイク映画とドラマの中で類似した場面における隣接対と連鎖組織の様相、及びそれらの中に現れる表現の両方を捉える研究はまだ管見のかぎり見当たらない。

本研究ではこうした先行研究の結果を踏まえ、日韓リメイク映画とドラマの類似した場面での会話における隣接対と連鎖組織の様相を比較し、それらが表現している内容も合わせて、包括的な日韓の言語文化的な視点からこれらのことを探る。また、この種の研究はこれからも積み重ねられていくものとして価値があると考えられる。

リメイク映画とドラマにおける類似した場面において日本と韓国の言語表現がどのように表れるのか、その全体像を比べ、その結果を考察した上で、これからも日韓の会話における言語文化的な視点の差を続いて把握したい。

第3章 [視点1] 日韓の類似した場面に現れた隣接対の比較

本章では、日韓リメイク映画とドラマの類似した場面に現れる隣接対と総出現回数、隣接対の種類別と順位を見出す。どのような隣接対が使われているのか、その実例を検討する。このことによって、日韓の隣接対の比較を通じて日本語と韓国語の隣接対の相違を明らかにする。

3.1 日本映画を原作としそれをリメイクした韓国映画の隣接対

本節では日本映画『いま、会いにゆきます(2004)』と韓国映画『지금 만나러 갑니다 (2018)』、日本映画『リトル・フォレスト夏/秋(2014)』、『リトル・フォレスト冬/春 (2015)』と韓国映画『리틀 포레스트(2018)』の類似した場面に現れる隣接対の総出現回数と各隣接対の頻度の順位、種類について述べる。その日韓の類似した場面におけるセリフを収集したデータを文字化し、隣接対の総出現回数と各隣接対の頻度を総合した。

次の表2はSchegloff&Sacks(1973)¹ の隣接対の成立の特徴に基づき、伝(2009)² 隣接対の類型を改変した形で加えものである。日韓「隣接対」の種類別頻度の順位を表2に示す。

表2 日韓映画「隣接対」の種類別頻度の順位

区分	日本		区分	韓国	
順位	隣接対	頻度(%)	順位	隣接対	頻度(%)
1	質問/応答	34(24.1)	1	質問/応答	38(25.1)
2	説明/応答	10(7.1)	2	意思伝達/応答	14(9.3)
3	挨拶/応答	8(5.7)	3	反問/応答	10(6.6)
4	謝罪/応答	6(4.3)	4	提案/受諾・拒絶	8(5.3)
5	激励/応答	4(2.8)	5	挨拶/応答	6(4.0)
6	意思伝達/応答	4(2.8)	6	不満/応答	4(2.6)
7	提案/受諾・拒絶	4(2.8)			
8	呼びかけ/応答	4(2.8)			

¹ Schegloff&Sacks(1973) “Opening Up Closing”, Semiotica vol.8 Mouton de Gruyter, pp.289-327

² 伝康晴(2008)「会話・対話・談話研究のための分析単位」『人工知能学会誌』、23(2)、pp.271

	小計	74(52.5)		小計	80(53.0)
	それ以外	67(47.5)		それ以外	71(47.0)
	総合計	141(100)		総合計	151(100)

日韓の隣接対の総出現回数を比べると、日本は141個であり、韓国は151個で違いが10個である。

まず日韓の隣接対の出現回数(割合)を比較して見ると、日本は「質問/応答」が34(24.1%)で一番多く現れ、次に「説明/応答」が10(7.1%)、「挨拶/応答」が8(5.7%)であり、そして「謝罪/応答」が6(4.3%)、「激励/応答」と「意思伝達/応答」並びに「提案/受諾・拒絶」と「呼びかけ/応答」が4(2.8%)の順となっている。韓国は日本と同じく「質問(3)/応答(6)」が38(25.1%)で一番多く、次に「意思伝達/応答」が14(9.3%)であり、続いて「反問/応答」が10(6.6%)、「提案/受諾・拒絶」が8(5.3%)、「挨拶/応答」が6(4.0%)、「不満/応答」が4(2.6%)の順で現れている。日韓で一番多い隣接対は「質問/応答」であった。日韓ともに「質問/応答」が隣接対の頻度が一番多いことが分かる。

日韓の隣接対の相違を見ると、日本の隣接対であまり現れず韓国にしばしば現れている隣接対では「反問/応答」、「不満/応答」がある。それに対し、韓国の隣接対であまり現れず日本にしばしば現れている隣接対では「挨拶/応答」、「謝罪/応答」、「激励/応答」がある。韓国は相手の話に対して直接的に意見や感情を投げつけるような隣接対「反問/応答」、「不満/応答」があるのに対し、日本は相手との円満な会話を築いながら、話が進むような「挨拶/応答」、「謝罪/応答」、「激励/応答」の隣接対が表れていることが分かる。

また、日韓「隣接対」の項目別の種類を見ると、日本では上位8位までに8種類があるのに対し、韓国では上位6位までに6種類しかない。さらに、日本はその8種類で全体の52.5%を占めているのに対し、韓国では6種類で53.0%である。このことから、日本語は韓国語より多様な隣接対を用いて連鎖が続いていることが多いと言える。日本は一つの質問に一つの応答(質問と応答が同数)が現れて、話し手と聞き手のやり取り連鎖が順序づけられていて発せられる傾向にあるが、韓国は質問より応答の回数が多いことが目立つ。韓国リメイク映画「지금

「만나러 갑니다」の場合、「質問(3)/応答(6)」³で質問より応答が非常に多く観察される。記憶がない母親が家に帰ってどうなったかについて質問する発話場面で父親と息子の二人が母親の質問に各々に応答をして差が現れている。

以下の<例 1>は、日本映画『いま、会いにゆきます』の場面 J1-3 とそれに対応する K1-3 である。日韓の会話にはどのような相違が見られるのかを、隣接対の比較から探る。

<例 1>

[J 1-3]

- 1 滯：(巧を見て) 質問があるんだけど…
 2 巧：どうぞ。
 3 滯：私は ここで暮らしていたの？ 3人で。
 4 巧：うん。
 (片付けていない家を見ながら)
 5 滯：どうしてこんなにムチャクチャなの？
 この家は。
 6 巧：え…
 7 滯：私はこんなにだらしない人なの？
 8 巧：ん…そんなことないよ。
 滯はきれい好きだから。
 君はずっと病気で寝ていて…んん…なあ。
 9 佑司：え？うん。
 10 滯：そう？それにしても…ひどい…
 (巧と佑司は家を片付ける)
 11 巧：はあっ…だよねえ。
 12 佑司：ねえ。
 13 滯：あ…ねえ 私はあの森で何をしていたの？
 14 巧：へ？
 ん…あ

[K 1-3]

- 1 수아: 저기요. 제가 여기서 계속 살았어요?
 (あのう。私がここにずっと住んでたんですか?)
 2 우진: 응응, 그럼... 쪽 맞지? 맞잖아!
 (うん、じゃあ…すっと。合ってるよね?
 合ってるじゃん!)
 3 지호: 어 (うん)
 4 수아: 근데 아까 무슨 구름 나란지 뭔지
 어디 멀리 갔다 온 사람 대하듯이
 되게 반가워 하구 환영한다 그러구
 그리고 제 물건을 그대로 뒀다 그러구
 이... 이렇게 해 놓고 살았 어요, 제가?
 (でも、さっきから雲の国とか何とかどこか遠くに行ってきたひとに対するように非常に喜んで歓迎するし、そして私のものをそのままに置いてというし、私がこんなふうにごろごしてたんですか?)
 (지호와 우진은 갑자기 집안을 치운다)
 5 우진: 어 그계.. 아... 당신이... 그...
 (あ、それが…あ、君が…あの…)
 6 지호: 아팠어! (具合が悪かった!)

³ 韓のK1-3の「質問(3)/応答(6)」の場合、母親の質問に父親と息子(2人)が応答する傾向にあって1対2の隣接対を構成するのを見て算出したものである。

- ん…散歩してたんだ。3人で。
- 15 滯：散歩？
- 16 佑司：散歩。
- 17 巧：そしたらなんか具合が悪くなってしばらく休んでいて。
- 18 佑司：うん 休んでて。
- 19 巧：そしたら…記憶をなくしちゃったみたい。
- 20 佑司：みたい。
- 21 巧：んん…そうみたい。
- 22 滯：そう…
- 23 佑司：そう。
- 24 滯：(佑司を見て) かわいい子ね。い…佑司君？
- 25 佑司：うん。
- 26 滯：私は…滯。
あなたの奥さんであり佑司君のお母さん。
- 27 佑司：うん。
- 28 巧：うん。
- 7 수아: 내가? (私が?)
- 8 우진: 어 맞아. 당신이 좀 많이 아파서 계속 병원 에 있었거든.
(そうだ. 君がちょっと、具合が悪くなって、ずっと病院にいたんだ。)
- 9 지호: 구름나라 병원! (雲の国の病院!)
- 10 수아: 구름나라...근데 아까 거긴 어떻게 갔어요 병원에 있었는데.
(雲の国...でもさっきそこにはどうやって行きましたか? 病院にいたのに。)
- 11 지호: 어제 다 나왔어.
(昨日、治った。)
- 12 우진: 아, 맞아. 어제 퇴원했어, 그래서...
(あ、そうだね。昨日退院したんだ。それで…)
- 13 지호: 숨바꼭질 하자고!
(かくれんぼしよう!)
- 14 수아: ... 숨바꼭질? (かくれんぼ?)
- 15 우진: 그, 당신이 숨바꼭질 되게 좋아하구 잘하거든. 맞지? 지호야
(君はかくれんぼが大好きで、上手だよ。だよね? ジホ。)
- 16 지호: 맞아, 되게 잘 해. (そうだよ。上手。)
(수아는 머리를 움켜잡는다)
- 17 지호: 엄마! (ママ!)
- 18 우진: 괜찮아? (大丈夫?)
- 19 지호: 맞지? 아빠. (それでしょ? パパ。)
엄마 내려오면서 머리 부딪힌 거 맞지?
(ママが降りながら、頭をぶつけたんだよね?)
- 20 우진: 아이, 그래... 하늘에서 돌맹이 같은게 떨어져 갔구, 그 머리에 맞았나봐.
(ああ、そう。空から石ころみたいなものが落ちて、頭に当たったみたい。)
- 21 지호: 맞아! 돌맹이! (そう! 石ころ!)

- 22 우진: 그래서 거기 쓰러져 있더라구
(それで、そこに倒れていたんだ。)
- 23 지호: 쓰러져 있었어.
(倒れていたんだ。)
- 24 우진: 기억...을 잠깐 잃었나봐
(記憶...をちょっと失くしたみたい。)
- 25 지호: 그랬나봐 (そうだよ)
- 26 우진: 그런 거 같아. (そうだと思う。)
- 27 지호: 맞아 (そう。)
- 28 수아: 네... 감사합니다...
(はい...ありがとうございます。)
- 29 우진: 네, 감사하기는 뭐...
(はい、感謝なんて...)

<例1>は、記憶がない母親(日本：滯/韓国：스아수아)が家に帰ってどうなったかについて聞いてみる発話場面である。日韓の3人(母親、父親、息子)がやりとりする形で会話が進んでいる。

まず、日本の母親(滯)は普通体を使っている。彼女は家の状態と自分の状況について夫(巧)に質問をしている(3行目、5行目、7行目、13行目、16行目)。息子(佑司)は父親(巧)の応答に同意する形で応答(9目、18行目、20行目)するが、母親(滯)の発言に対する相槌のように思える発話(23行目)をしながら母親を安心させる役を担っている。

これに対し、韓国の母親(스아：수아)は丁寧体を使っている。彼女(스아：수아)は自分が記憶を失っていることが信じられない状況で夫(우진：우진)に質問している(1行目、4行目、7行目、10行目、14行目)。息子(지호：지호)は夫(우진：우진)の応答に同意し相槌しながら応答したり(3行目、9行目、16行目、21行目、23行目、25行目、27行目)、割り込みして応答している(11行目)。また母親(스아：수아)の質問に夫(우진：우진)が言いよどみをする場合、息子(지호：지호)が代わりに応答している(6行目、13行目)。息子(지호：지호)が夫(우진：우진)の応答に同意するという点で、日韓は同じだが、息子(지호：지호)が割り込んで応答したり、夫(우진：우진)の代わりに応答するという点で韓国の息子は主体的に話を引っ張っている。

このように類似した場面において異なる日韓の隣接対の違いが、日韓の間の会話の全体的会話構造に差をもたらす要因の1つであると考えられる。

次の<例2>は日本映画『リトル・フォレスト』を原作としリメイクした韓国映画『리틀 포레스트』からの例である。

<例2>

[J2-3]

- 1 ユウ太：へーえ。
- 2 いち子：だからあのクリスマスケーキも
それっさり。
- 3 ユウ太：オレ食べたよ。
- 4 いち子：え？
- 5 ユウ太：中学ん時。
- 6 いち子：覚えてない。
- 7 ユウ太：確か福子さんがいなくなる前の年
だったかなあ。
味見させてもらった。
- 8 いち子：知らないなあ。

[K2-3]

- (혜원은 찜기에서 떡시루를 꺼낸다)
- 1 혜원: 자! (さあ!)
 - 2 은숙: 오! (お!)
 - 3 혜원! 짜잔! (ジャン!)
 - 4 은숙: 어떻게 이렇게 똑딱 떡이 되냐?
(どうしてこんなに早く餅になるんだ?)
(혜원이가 만든 떡을 은숙, 재하가 먹어본다)
 - 5 재하: 음... 아줌마가 해줬던 그 맛이야.
(うん...おばさんが作ってくれたあの味だ。)
 - 6 혜원: 난 내 게 더 맛있는 것 같은데...
(私は私の方がもっとおいしいと思うんだけど...)
 - 7 재하: 근데 아줌마 거랑 다른 게 하나 있네.
(でも、おばさんのと違うのが一つある。)
 - 8 혜원: 뭔데? (何?)
 - 9 재하: 음... 아줌마 떡 맛은 달지 않은데,
단맛이 나고
니 건... 짜지 않은데 짠맛이 나.
(うん...오바さんの餅の味は甘くないけど、
甘みがあるし、君のは塩気がないけど、塩味
がある。)
 - 10 은숙: 넌 별 쓸데없는 걸 다 기억한다.
난 그냥 다 맛있구만.
(あんたはいろんなくだららないことを
全部覚えている。私は全部おいしい。)

<例2>は、彼女が作ったケーキ(韓：お餅)を食べながら話し合う場面である。

日本ではいち子とユウ太2人がお互いにやりとりをしながら話を進行している。ユウ太は彼女のケーキを見て、以前に彼女の母親が作ったケーキを食べたことがあるのを思い出しながら彼女と話を進めている。味のほうは全然述べない。主に相手との質問と応答の形である。

それに対し、韓国ではヘウォン(혜원)が作ったお餅について2人(ウンスク：은숙とゼハ：재하)が味を見て、ヘウォン(혜원)の母親が作ったお餅の味を思い出したのをきっかけ(過去の回想)に、味に対する自分の評価を述べながら展開している。特にゼハ(재하)はヘウォン(혜원)が思い出せない情報(母親が作ったお餅との味の差)に言及している(7と9行目)。このほかに、ゼハ(재하)とヘウォン(혜원)の話にウンスク(은숙)の割り込みの表現(10行目)「**년 별 쓸데없는 걸 다 기억한다. 난 그냥 다 맛있구만.**(あんたはいろんなくだらなことを全部覚えている。私は全部おいしい。)」がある。このように、韓国はゼハ(재하)の率直な味の評価にヘウォン(혜원)が気分を害しているのを配慮し、ウンスク(은숙)が割り込みの表現を使っている。ウンスク(은숙)の割り込み表現は、話の流れを転換させ、味の評価に関する話題を終わらせる働きをしているのが分かる。

3.2 韓国映画を原作としそれをリメイクした日本映画の隣接対

本節では韓国映画『써니 (2011)』と日本映画『サニー (2018)』、韓国映画『수상한 그녀 (2014)』と日本映画『怪しい彼女 (2016)』の類似した場面に表れている隣接対の総出現回数と各隣接対の頻度の順位、種類について述べる。その後、韓日の類似した場面における隣接対の差が見られる場面の例を見る。次の表3は韓日「隣接対」の種類別頻度の順位である。

表3 韓日映画「隣接対」の種類別頻度の順位

区分	韓国		区分	日本	
順位	隣接対	頻度(%)	順位	隣接対	頻度(%)

1	質問/応答	73(22.3)	1	質問/応答	68(15.7)
2	意思伝達/応答	26(7.9)	2	意思伝達/応答	54(12.4)
3	呼びかけ/応答	26(7.9)	3	呼びかけ/応答	24(5.5)
4	問い返し/応答	26(7.9)	4	問い返し/応答	22(5.1)
5	勧誘/受諾・拒絶	16(4.9)	5	意思伝達/問い返し	18(4.1)
6	話しかけ/応答	16(4.9)	6	話しかけ/応答	16(3.7)
7	警告/応答	8(2.4)	7	挨拶/応答	14(3.2)
8	謝罪/応答	7(2.1)	8	応答/問い返し	10(2.3)
9	挨拶/応答	6(1.8)	9	提案/受諾・拒絶	10(2.3)
10	問い返し/質問	6(1.8)	10	勧誘/受諾・拒絶	10(2.3)
11	不満/応答	6(1.8)	11	質問/問い返し	10(2.3)
	小計	216(65.9)		小計	256(59.0)
	それ以外	112(34.1)		それ以外	178(41.0)
	総合計	328(100)		総合計	434(100)

まず、韓日の隣接対の総出現回数を比べると、韓国は328回であり、日本は434回で違いが106回である。

韓国の場合、「質問/応答」が73回(22.3%)で一番多く現れており、次に「意思伝達/応答」と「呼びかけ/応答」と「問い返し/応答」がそれぞれ26回(7.9%)であり、続いて「勧誘/承諾・拒絶」と「話しかけ/応答」が16回(4.9%)、「警告/応答」が8回(2.4%)、「謝罪/応答」が7回(2.1%)、そして「挨拶/応答」と「問い返し/質問」、「不満/応答」が6回(1.8%)の順で現れている。

日本の場合、隣接対の種類1位から4位までと6位の隣接対が韓国の隣接対と同じであった。日本は「質問/応答」が68回(15.7%)で一番多く、次に「意思伝達/応答」が54回(12.4%)であり、続いて「呼びかけ/応答」が24回(5.5%)、「問い返し/応答」が22回(5.1%)の順になっている。

韓国はその11種類で全体の65.9%を占めているのに対し、日本は韓国と同じように11種類であるが、これより少なく59.0%である。さらに、第1位の「質問/応答」は韓国で全体の20%以上を占めるのに対し、日本では15%に届かない。このことから、日本語は韓国語ほど隣接対の使用に偏りが見られないと言える。言い換えれば、日本語は韓国語より多様な隣接対を用いて

やりとりの連鎖が続いていることが多いと言える。

また、韓日の隣接対の相違を見ると、韓国の隣接対であまり現れず日本にしばしば現れている隣接対は「応答/問い返し」、「提案/受諾・拒絶」、「質問/問い返し」があるのに対し、日本の隣接対であまり現れず韓国にしばしば現れている隣接対は「警告/応答」、「謝罪/応答」、「問い返し/質問」、「不満/応答」である。「警告/応答」、「謝罪/応答」、「問い返し/質問」、「不満/応答」のように、韓国は自分の感情を隠さずに言い、それに対して応答のような簡単な問答形式で順序通りに、隣接対が用いられているが、「応答/問い返し」、「提案/受諾・拒絶」、「質問/問い返し」のように、日本は韓国より相手との隣接対をやり取りしながら、自分の意見を用いている連鎖が続いていることが多かった。

以下は韓国映画『써니』とそれをリメイクした日本映画『サニー』の類似した場面における日本語の方が韓国語より様々な隣接対を用いている <例3>を示したものである。

<例 3>

[K 3-5]

(나미는 교무실에 들어간다)

1 나미: 선생님 (先生。)

2 선생님: 어이구~년 어쩔 하나도 안 늙었니.

(あなたは どうして一つも老けていないの。)

(선생님은 나미의 얼굴을 만지며)

뭐 넣었니? (何か入れた?)

3 나미: 선생님도 안 변하셨어요.

(先生も変わってないです。)

4 선생님: 애 나 다음 달에 할머니 된다.

애 과속 했잖아. 과속.

요새 혼수래잖니?

(私、来月おばあさんになる。あなた スピード出しすぎだったよね。最近、もの入りだって。)

[J 3-5]

(奈美は母校の職員室に入る)

1 奈美: 先生。お久し…

2 先生: 言わないで。

3 奈美: え?

4 先生: 阿部…奈美さん。

5 奈美: はい。

6 先生: ね? きれいになったねえ。

本当きれいになった。

おしゃれになった。

7 奈美: いや、そんな…

8 先生: ダサかったもんね。あの頃ね。

あのほら、カーディガン着て。

(교무실에 들어온 학생 1 을 보고)

애, 애, 너 일루 와봐. 너 눈 했구나?

어디 봐봐. 눈 감아봐. 잘 됐네. 어 가 봐.

(ちょっと、ちょっと。あなた、こっち来なさい。

あなた、目やったんだね。どれどれ。目を閉じて。

よくできたね。それじゃ、行って。)

5 학생 1: 감사합니다. (ありがとうございます。)

6 선생님: 어 그래. 아참! 얼마 전에

장미도 왔다 갔었는데.. 명함 주고 갔는데?

(あ、そうだ。この間、ジャンミも来たんだけど。

名刺を渡して行ったんだ。)

ほらお婆ちゃんの手玉がいっぱいなのやつ。

あとほら髪型もこれ二つに結んで

ダサかったよね。これね。

9 奈美: 先生もお変わりないですね。

10 先生: やめてよ。来年お婆ちゃんよもう。

嫌になっちゃう。

11 奈美: そうなんですか?

(職員室に入る女子学生を見て)

ああ、制服も変わったんですね。

12 先生: あんたたちの世代が自由にやり過ぎたせいよ。

まあね。その分裏で何やってるか

わかりにくくなっちゃったけど。

あなたたちはほら顔に全部書いてあったもの。

わかりやすかった。

13 奈美: あっ、先生。あの実は…

14 先生: あっ、あの子も来たわよ。最近梅ちゃん。

林梅!

<例3>は、韓国: 나미(ナミ)/日本: 奈美が高校時代の恩師を訪ねる場面である。韓日とも彼女と恩師の話の流れはほぼ同じである。しかし恩師が彼女に応答する表現の差がある。

韓国の場合、나미(ナミ)の呼びかけ(1行目)に、恩師は나미(ナミ)の姿を見て褒め(2行目)、나미(ナミ)がそれに応答している(3行目)。続いて恩師は나미(ナミ)との会話の途中で職員室に入ってきた女子学生に話しかけて彼女と会話を進行している(4行目)。そして恩師は高校時代の友達장미(ジャンミ)が訪問したことを나미(ナミ)の質問がないのに言っている(6行目)。

それに対し、日本は冒頭から奈美と恩師がやりとりをしている(1~6行目)。奈美と恩師はお互いに賞賛と謙遜の連鎖(7~10行目)を続け、次に二人は高校時代の奈美と今の高校生を比較し

て会話をやりとりしている(12行目)。その後、奈美は恩師に学校に訪れた目的を話すために13行目で「あっ、先生。あの実は…」と話題転換して話しかけている。先生は奈美に14行目で「あっ、あの子も来たわよ。最近梅ちゃん。林梅！」と応答する。

一方、韓国の恩師は久しぶりに会うぎこちない雰囲気の中で今の나미(ナミ)の容貌を話題にしている(2行目)が、나미(ナミ)はそれに一回応答するだけである(3行目)。

このように、韓日の나미(ナミ)/奈美が高校時代の恩師を訪ねて話し合う流れはほぼ同じであるが、韓国は恩師の発話に対する나미(ナミ)の応答が少ないのに対し、日本は恩師と奈美二人との発話がやりとり連鎖の中で展開していることが確認された。

次の<例4>は、韓国映画『수상한 그녀』とそれをリメイクした日本映画『怪しい彼女』の類似した場面である。日本語の方が韓国語より自分の意見を用いている連鎖が続いていることを見る。

<例 4>

[K 4-2]

(며느리는 아들을 보며)

1 며느리: 너 아침부터 또 어디 가?

(あんた、朝からどこに行くの?)

2 아들: 오디션 있어.

(オーディションがある。)

3 며느리: 오디션? 너 엄마랑 음악 취미로만

하기로 약속했지! 니네 누나 밤새

공부해도 취직 안돼서 저러고 있는 거

안 보여?

(オーディション?あんた、私と音楽は趣味だけで

すると約束したじゃないか! 姉ちゃん一晩中

勉強しても就職できなくてあんな様子なのが

見えない?)

(며느리는 소파에서 자고 있는 딸을 보며)

4 딸: 왜 또 나가지고 그래.

[J 4-2]

(娘が息子を見て)

1 娘: ちょっと待った。

黙ってどこ行くの?

2 孫: いや 学校…と ライブ。

3 娘: あんたバンドバンドって今度また留年したらね。

もう学費払わないからね。

4 孫: まあ、そしたらバンドで?

まあ、生きていくか?

5 娘: 生きていく?

あんた それで 60 になった自分想像できる?

ていうか。60 まで生きていけるとってん

の?

6 孫: いや そんな先のこと。

7 娘: そんな先まで続くの人生は平均寿命 80 超えて

るんだよ。

(どうして私が出て来るの)

5 아들: 공부? 재 밤새 드라마 다시보기 했거든!
(勉強?姉ちゃん、徹夜でドラマを見たんだ。)

6 딸: 반지하! 너 죽는다.
(あんた、死ぬよ。)

7 아들: 엄마! 내가 음악으로 돈버는 게
재 취직하는 것보다 빠르다.
(ママ!僕が音楽でお金を稼ぐのが姉ちゃんが
就職するより早い。)

8 며느리: 너 기껏 따따라 만들라고 엄마가
이 고생 하면서 사는 줄 알아?
(あんたを芸人なんかにしようと思って、
こんなに苦労しながら生きていると思う?)

9 말순: 너는 왜 아침부터 애 기는 죽이고 그냐?
그라고 니가 뭘 고생을 한다고?
집에서 남편이 벌어드주는 돈으로
살림만 하는 애가…
(お前は どうして朝から息子の気を抑えてるの?
そして、お前が何の苦労をするんだって。
家で旦那が稼いでくれるお金で家事だけするのに
…)

(말순 손자에서)
내 새끼, 아침 굶지 말고 맛난 거 사 먹어.
(朝食は抜かないでおいしいものを
買って食べなさい。)

(말순은 손자의 손에 돈을 쥐어준다)

10 아들(손자): 할머니 땡큐. 갔다 올게.
(おばあさん、ありがとう。行ってくる。)

11 말순: 그러. (うん。)

12 며느리: 어머니… 지하 이제 곧 졸업반이에요.
취직 준비도 해야되고…
(お母さん、ジハはもうすぐ卒業です。)

13 말순: 가수가 뭘 따따라다냐?

60から あと20年以上も生きるんだからね。

8 孫: いや 老人時代長すぎっしょ。

9 娘: そう 人生ね。自分の好きなことだけやって
生きていけるのはほんの一握りなの。
会社員だって大変なのにましてバンドなんて
あんたみたいに甘い奴に…

10カツ: 歌はいいよ。
歌は一発ヒットすれば一生食ってけるし
モノマネされればずっとテレビにだって
出られるし
紅白だって一曲ヒットがあれば…

11 娘: ちょっと お母さんは黙ってて。
これは親子の問題なので。

12カツ: 何言ってるんだい。
翼はあたしが育てたようなもんだろ。

13 娘: ハアッ!? ちょっと…
(娘は腹が立ってお母さんに近寄る)

14 孫: ああ! まあまあまあ…
(カツは孫に近寄る)

15カツ: お前 大事なモンついてんだろ。
男なら覚悟決めて頑張んな!

16 孫: 婆ちゃん やめてよ。

17カツ: 腹減るだろ。何かつまんできな。

18 孫: じゃ待ってくよ。

19カツ: じゃあね。フフヘン (笑う)
(カツは孫を見送る)
気を付けて。

20 孫: 分かってるよ。

21カツ: 行ってくんだよ。

22 孫: 婆ちゃん いつもの ください。
(カツは孫にお金をあげる)
ありがとう!

23カツ: 行っといで。

요즘은 가수가 외국에다 나라 알린다고
 훈장도 받는다네.
 (歌手がどうして?最近、歌手が外国に我が国を
 知らせるといって勲章ももらうんだよ。)

14 며느리: 어머니 애들 교육은 저한테…
 (お母さん、子供の教育は私に…)

15 말순: 나 젊어서 혼자되고 암 것도 없이
 애들 애비 그만큼 성공시켰다.
 자식 교육은 나가 너보다 한참 윗질이야!
 (私は若いから、一人になって何もなくて息子を成功
 させた。子供の教育は私がお前より上手だ!)

24 娘: お母さん靴買い替えてよ。これ。
 貧乏くさい。
 25 カツ: フフン。(笑う)

<例 4>は、母親がオーディションを受ける/バンド公演をするために出かける息子を見て文句を言う場面である。

韓国では母親が息子を見て呼びかけ(1 行目)、息子が母親に 2 行目で「오디션 있어. (オーディションある)」と応答をした後、母親は息子に文句を言って本格的に話の流れが展開している。まず、母親が就職活動中の娘を見ると娘は自分に視線を向けた母親に文句を言い(4 行目)、息子は姉の日常生活について母親に告げ口をし(5 行目)、姉の就職活動より自分が音楽活動してお金を稼ぐほうがいと母親に意思伝達をする(7 行目)。母親と息子に発話が進行している間にマルスン(말순)が割り込む。マルスン(말순)は嫁が孫に文句を言うことについて嫁を戒め、孫にお小遣いをあげる(9 行目)。嫁とマルスン(말순)との発話が進んでいる。まず、嫁はマルスン(말순)に就職活動をしていない息子の状況について説明する(12 行目)が、マルスン(말순)はかえって孫の音楽活動を応援する(13 行目)。続いて嫁はマルスン(말순)に言い淀みをしてしながら文句を言い(14 行目)、マルスン(말순)は嫁に子供の教育について訓戒を垂れている(15 行目)。

それに対して日本では息子のバンド公演を気にかける母親は息子に警告と訓戒の表現(3、5、7、9 行目)をしているが、息子はかえって自分のバンド活動の長点を持ち出して応答(4、6、8 行目)をし、順序通りにやりとりしている。カツは娘と孫との発話の間に割り込んで孫の立場に立って言う(10 行目)。娘はカツの割り込みに腹が立って話をやめさせようとしている

(11行目)。これに対し、カツは娘に12行目で「何言ってんだい。翼はあたしが育てたようなもんだろ。」と言う。カツはバンド公演に行く孫を応援し、孫にお小遣いをあげて見送る(15、17、19、21、23行目)。

このように、韓日の祖母は孫の方に立って応援するという点はほぼ同じであるが、息子を心配する母親の発話の差が明らかに示されている。韓国の母親は息子のために姑に遠慮して生きている様子が見える反面、日本の母親は将来について明確に自分の母親に反論をしながら説明している。つまり、自分の意見を述べている。

3.3 日本/韓国ドラマを原作としそれをリメイクした韓国/日本ドラマの隣接対

本節では日本ドラマ『派遣の品格(2007)』と韓国ドラマ『직장의 신:職場の神(2013)』、韓国ドラマ『미생:미센(2014)』と日本ドラマ『HOPE-期待ゼロの新入社員-(2014)』の類似した場面に現れている隣接対の総出現回数と各隣接対の頻度の順位、種類について述べる。その後、日韓の類似した場面における隣接対の差が見られる場面の例を見る。

その日韓の類似した場面におけるセリフを収集したデータを文字化し、隣接対の総出現回数と各隣接対の頻度を総合した。次の表4は日韓「隣接対」の種類別頻度の順位である。

表4 日韓ドラマ「隣接対」の種類別頻度の順位

区分	日本		区分	韓国	
順位	隣接対	頻度(%)	順位	隣接対	頻度(%)
1	質問/応答	241(23.6)	1	質問/応答	189(20.20)
2	説明/応答	71(6.9)	2	説明/応答	60(6.4)
3	問い返し/応答	57(5.6)	3	問い返し/応答	53(5.7)
4	意思伝達/応答	47(4.6)	4	意思伝達/応答	46(4.9)
5	呼びかけ/応答	46(4.5)	5	話しかけ/応答	42(4.5)
6	謝罪/応答	38(3.7)	6	挨拶/応答	32(3.4)
7	警告/応答	28(2.7)	7	呼びかけ/応答	30(3.2)
8	挨拶/応答	27(2.6)	8	勧誘/受諾・拒絶	28(3.0)

9	提案/受諾・拒絶	21(2.1)	9	質問/問い返し	26(2.8)
10	応答/なし	17(1.7)	10	応答/なし	24(2.6)
	小計	593(58.0)		小計	530(56.7)
	それ以外	430(42.0)		それ以外	405(43.3)
	総合計	1023(100)		総合計	935(100)

まず、日韓の隣接対の総出現回数を比べると、日本は1023回であり、韓国は935回であり、日本が韓国より88回多い。

日本の場合、「質問/応答」が241回(23.6%)で一番多く表れており、次に「説明/応答」が71回(6.9%)であり、続いて「問い返し/応答」が57回(5.6%)、「意思伝達/応答」が47回(4.6%)の順で表れている。

韓国の場合、日本と同じく「質問/応答」が189回(20.20%)で一番多く、1位から4位まで隣接対の項目別の順位がほぼ同じである。

しかし、5位から9位までは違いが見られる。日本では「呼びかけ/応答」が46回(4.5%)、続いて「謝罪/応答」が38回(3.7%)を占め、「警告/応答」が28回(2.7%)、「挨拶/応答」が27回(2.6%)、次に「提案/承諾・拒絶」21回(2.1%)の順で表れているのに対し、韓国では「話しかけ/応答」が42回(4.5%)、「挨拶/応答」が32回(3.4%)、続いて「呼びかけ/応答」が30回(3.2%)、「勧誘/承諾・拒絶」が28回(3.0%)、「質問/問い返し」が26回(2.8%)の順であった。また、日韓の「応答/なし」が同様に10位を占めているのも目立つ。

さらに、日韓の隣接対の相違を見ると、韓国の隣接対であまり現れず日本にしばしば現れている隣接対は「謝罪/応答」、「警告/応答」、「提案/受諾・拒絶」であるのに対し、日本の隣接対であまり現れず韓国にしばしば現れている隣接対は「話しかけ/応答」、「勧誘/受諾・拒絶」、「質問/問い返し」である。例を見ると、「話しかけ/応答」、「勧誘/受諾・拒絶」、「質問/問い返し」のように、韓国は話者中心に自分が知りたいことを問い、自分の感情とか意見を言う隣接対が現れているが、「謝罪/応答」、「警告/応答」、「提案/受諾・拒絶」のように、日本は相手との順番を取りながら意思疎通を行っている隣接対が現れる傾向がある。

以下の<例5>は日本ドラマ『派遣の品格』を原作とし、それをリメイクした韓国ドラマ『직』

장의 신：職場の神』の類似した場面において日本が韓国より相手との隣接対の連鎖が多く見られる場面である。

<例 5>

[J5-10]

1 里中：大前さん。聞きたいことがあるんです。

ちょっといいですか？

さっきどうしてわざと負けたんですか？

負けたでしょう。わざと…。

どうしてですか？ 教えてください。

2 大前：それは…私が派遣だからです。

大勢の人の前で正社員のブライトを

傷つけても私はひとつも嬉しくありません。

3 里中：東海林さんは大前さんのこと

180度誤解してますよ。

4 大前：平気でひとの心を

傷つける派遣だと思われてますね。

それが何か？

5 里中：誤解されたままでいいんですか？

いいわけないですよ。

6 大前：いいんです。

今日私はいいたいことがいえてとても

スッキリしました。

あの場を取める方法が他にありましたか？

7 里中：わざと負けて謝るなんておかしいですよ。

悔しくないんですか？

あなたにもブライトがあるでしょう。

8 大前：プライド…。そんなものより私にはもっと

大切なものがあります。

9 里中：プライドより大切なものって何ですか？

大前さんにとって大切なものって何ですか？

10 大前：それは…派遣として生きていくことです。

[K5-10]

1 미스김: 오늘 업무시간은 끝났습니다만.

(今日の業務時間はおわりましたが。)

2 무정한: 왜 그랬어요?

(どうしてなんですか?)

3 미스김: 뭘 말입니까?

(何ですか?)

4 무정한: 왜 일부러 저 주신 거예요?

미스김씨 처음부터 장팀장

이길 생각 없었던 거죠?

(なぜわざわざ負けてくださったんですか?)

김さんは最初からチャンチーム長

勝つつもりなかったんですよね?)

5 미스김: 똑같이 생겼지만 한 쪽이 똥이고

한 쪽이 된장이 되어야 한다면

피해가 적은 쪽이

똥이 되어야 맞는 거겠죠.

(そっくりだけど、一方が糞で、

相手が味噌にならなければならないとしたら、

被害の少ない方が糞になるのがいいと思います

。)

6 무정한: 그래서 일부러 저주신 거예요?

장팀장과 회사를 위해서?

(それでわざわざ負けてくれたんですか?

チャンチーム長と会社のために?)

7 미스김: 저는 누구를 위해서 일하지 않습니다.

그냥 제가 똥이라서 진 것뿐입니다.

(私は誰のためにも働きません。

そのためにはメンツやプライドを重んじる
正社員ともうまく共存して
いかなければなりません。
これからは質問は勤務時間内にしてください。

私が糞だから負けただけです。)

<例5>は、会社を退勤した後、バス停でバスを待っている日本：大前/韓国：ミス・キム(ミスギム)に近づいて里中/ム・ジョンハン(무정한)が東海林/ジャン・キュジク(장규직)との対決にわざと負けた理由を聞いてみる場面である。

日本の場合、里中が大前に話しかけ負けた理由を質問し(1行目)、大前は会社での派遣の位置を十分に知って率直に応答している(2行目)。続いて里中と大前の隣接対の連鎖が繋がっている(3~10行目)。

それに対して韓国は日本と会話の流れがほぼ同じであるが、ミス・キム(ミスギム)がム・ジョンハン(무정한)の振る舞いに気づいて彼に話しかけ(1行目)、それにム・ジョンハン(무정한)は直ちに質問している(2行目)。ミス・キム(ミスギム)はム・ジョンハン(무정한)の問いを理解せず問い返し(3行目)、ム・ジョンハン(무정한)はミス・キム(ミスギム)がわざと負けた理由を尋ねている(4行目)。ミス・キム(ミスギム)は正社員と派遣の違いについて皮肉を言うが(5行目)、ム・ジョンハン(무정한)はミス・キム(ミスギム)の応答についてまたしつこく繰り返している(6行目)。ミス・キム(ミスギム)は彼の問いについて単刀直入的に応答している(7行目)。

このように、日韓の里中/ム・ジョンハン(무정한)が大前/ミス・キム(ミスギム)にわざと負けた理由を尋ねるのは同じだが、日本の場合、彼女に順々にわざと負けた理由を尋ねて会話の展開が丁寧さと相手への配慮を示して進んでいる反面、韓国ではム・ジョンハン(무정한)がミス・キム(ミスギム)に唐突に3行目「왜 그랬어요? (どうしてなんですか?)」と相手の立場を理解せず単刀直入に要点だけ尋ねる傾向があると確認された。韓国は自分が知りたいことを問い連鎖の長さが短くなっているが、日本は相手との順番を取りながら連鎖を行っていると考えられる。このことから、日本の連鎖が長くなる傾向がある。韓国は相手との会話の中で自分の意図を早く達成させるために隣接対が用いられる。

次の<例 6>は韓国ドラマ『미생：ミセン』を原作とし、それをリメイクした日本ドラマ『HOPE－期待ゼロの新入社員－』からの例である。

<例 6>

[K6-23]

1 오과장: 니 파트너말이야. 한석울이.

내가 볼 때는

그 친구 성취동기가 분명한 부류야.

니가 실력이 없으면은

그걸 이용해서 자기가 돋보이려고 할꺼고

니가 실력이 좋아도

그걸 이용해서 자기가 돋보이게 할꺼고.

(君のパートナーハン・ソギョル。

僕が見ると、彼は達成動機が明らかな部類だ。

君に実力がなければ、それを利用して、

自分が目立とうとするだろうし、

君が実力があっても、それを利用して、自分が

目立つようにする。)

2 장그래: 네... (はい...)

3 오과장: 성취동기가 강한 사람은 토네이도 같아서

주변을 힘들게 하거나 피해를 주지.

하지만 그 중심은 고요하잖아.

중심을 차지해.

(成就動機が強い人はトルネードみたいで

周りを苦しめたり、被害を与えたりする。

しかし、その中は静かじゃないか。中心を占め。)

[J6-23]

1 織田課長：繊維 2 課の人見と組んだそうだな。

何でやつを選んだんだ？

2 一ノ瀬：彼はプレゼンが得意なんです。

僕は人前で話すのには慣れていないので。

3 織田課長：自分にはない武器を手にしたってわけか。

4 一ノ瀬：はい。

5 織田課長：少しは利口になってきたな。

6 一ノ瀬：ありがとうございます。

7 織田課長：おい、あの場の空気は独特だぞ。

普段、話し慣れてるやつでも頭が真っ白になって

失敗したっていう例はいつでも見えてくる。

プレゼンの出来で合否が決定すんだ。

本番同様 何度も声に出して練習しとけよ。

8 一ノ瀬：はい。

9 織田課長：あっ、それと時間も計っとけ。

10 一ノ瀬：はい。

<例 6>は、韓国：オ課長(오과장)/日本：織田課長が韓国：ジャン・グレ(장그래)/日本：一ノ瀬にプレゼンのパートナーについて助言する場面である。

韓国はオ課長が自分の新入社員ジャン・グレ(장그래)を心配して新入社員たちがパートナーと組んでプレゼン対決をすること、ジャン・グレ(장그래)にパートナー(ハン・ソギョル：한석울)の性

格と彼の長所について教えている(1と3行目)。

それに対し、日本は織田課長が一ノ瀬にどうしてプレゼンパートナーとして、人見を選んだか尋ねている(1行目)。一ノ瀬はパートナーの人見には自分の持っている短所(人前で話すことが苦手なこと)がないことを把握し、そのことを利用してプレゼンをする計画であることをちゃんと織田課長に説明している(2行目)。一ノ瀬と織田課長のやりとり連鎖が進んでいる(3～6行目)。ついで、織田課長は一ノ瀬にプレゼンする時、方法と技術(例えば、声に出して練習すること、時間を計かること)について教えている(7と9行目)。

このように、日本はお互いに意見をやりとりしながら隣接対が進行しているが、韓国はオ課長(오과장)が自分の考えをただジャン・グレ(장그래)に述べている。ジャン・グレ(장그래)がパートナー(ハン・ソギョル: 한석울)を選ぶ理由とか自分の意見を話す部分が見られない。

3.4 まとめ

本章は日韓リメイク映画とドラマにおけるその類似した場面の中で現れる隣接対の違いについて考察を行い、次のような結果を得た。

(1) 日本映画を原作としそれをリメイクした韓国映画の隣接対の類似した場面では日韓で一番多い隣接対が「質問/応答」であった。日韓ともに「質問/応答」が隣接対の頻度が一番多いことが分かる。

また、日韓の隣接対の相違を見ると、日本は「挨拶/応答」、「謝罪/応答」、「激励/応答」があるのに対し、韓国は「反問/応答」、「不満/応答」がある。韓国は相手の話に対して直接的に意見や感情を投げつけるような隣接対「反問/応答」、「不満/応答」があるのに対し、日本は相手との円満な会話を築いながら、話が進むような「挨拶/応答」、「謝罪/応答」、「激励/応答」の隣接対が表れていることが分かる。

次に、日本は一つの質問に一つの応答(質問と応答が同数)が現れて、話し手と聞き手のやり取り連鎖が順序づけられていて発せられる傾向にあるが、韓国は質問より応答の回数が多いことが確認される。

(2) 韓国映画を原作としそれをリメイクした日本映画の隣接対の類似した場面では韓日で一

番多い隣接対が「質問/応答」であった。韓国と日本ともに「質問/応答」が一番多く現れ、次に「意思伝達/応答」、「呼びかけ/応答」と「問い返し/応答」の順で隣接対を用いてやりとり連鎖が続いていることが同じであった。

また、韓日の隣接対の相違を見ると、韓国の隣接対であまり現れず日本にしばしば現れている隣接対は「応答/問い返し」、「提案/受諾・拒絶」、「質問/問い返し」があるのに対し、日本の隣接対であまり現れず韓国にしばしば現れている隣接対は「警告/応答」、「謝罪/応答」、「問い返し/質問」、「不満/応答」である。韓国は自分の感情を隠さずに言い、簡単に問答形式で順序通りに隣接対が用いられているが、日本は韓国より相手との隣接対をやり取りしながら、自分の意見を用いている連鎖が続いていることが多かった。

用例を見ると、高校時代の恩師を訪ねて話し合う韓日の類似した場面での会話では韓国は恩師が主体的に話を引っ張っているが、日本は恩師と奈美二人がやりとりをしながら連鎖が展開しているので韓国より日本が隣接対の回数が多い。また、母親がオーディションを受ける/バンド公演をするために出かける息子を見て文句を言う場面でも韓日の祖母は孫の方に立って応援するという点はほぼ同じであるが、息子を心配する母親の発話の差が明らかに示された。韓国の母親は息子のために姑に遠慮して生きている様子が見える反面、日本の母親は将来について明確に自分の母親に反論をしながら説明していると確認された。

(3) 日本/韓国ドラマを原作としそれをリメイクした韓国/日本ドラマの隣接対では日韓で一番多い隣接対が「質問/応答」であった。日本の場合、「質問/応答」が一番多く表れており、次に「説明/応答」、続いて「問い返し/応答」、「意思伝達/応答」の順で表れている。韓国の場合、日本と同じく「質問/応答」が一番多く、次に「説明/応答」、続いて「問い返し/応答」、「意思伝達/応答」の順であった。日本と韓国の1位から4位まで隣接対の項目別の順位がほぼ同じである。

しかし、日韓の隣接対の項目別の差が5位から9位までは違いが見られる。日本は「呼びかけ/応答」、続いて「話しかけ/応答」、「謝罪/応答」、「挨拶/応答」、「提案/承諾・拒絶」の順で表れているのに対し、韓国は「話しかけ/応答」、「挨拶/応答」、続いて「呼びかけ/応答」、「勧誘/承諾・拒絶」、「質問/問い返し」であった。また、「話しかけ/応答」、「勧誘/承諾・拒絶」、「質問

/問い返し」のように、韓国は話者中心に自分が知りたいことを問い、自分の感情とか意見を言う隣接対が現れているが、「謝罪/応答」、「警告/応答」、「提案/受諾・拒絶」のように、日本は相手との順番を取りながら意思疎通を行っている隣接対が現れている。

このことから、日本の連鎖が長くなる傾向がある。用例を見ると、韓国は相手との会話の中で自分の意図を早く達成させるために隣接対が用いられる。

また、課長が新入社員にプレゼンのパートナーについて助言する場面でも日韓の相違があった。日本は二人のやりとり連鎖が進んでいて、課長は新入社員にプレゼンする時、方法と技術（例えば、声に出して練習すること、時間を計かること）について教えているのが目立つ。それに対し、韓国は課長がリードして新入社員に助言しているだけである。社員が課長にパートナーをどうして選ぶ理由とか自分の意見を話す部分が見られない。韓国は課長が自分の新入社員を心配して彼にパートナーの性格と彼の長所について教えているが、日本は課長が新入社員にどうしてプレゼンパートナーを選んだか尋ね、彼はパートナーには自分の持っている短所(人前で話すことが苦手なこと)がないことを把握し、そのことを利用してプレゼンをする計画であることをちゃんと課長に説明することが確認された。

以上のことから、日韓の類似した場面で隣接対を比較した結果、日本語の方が韓国語より様々な隣接対が用いられることが分かる。日本は相手との順番をやり取りながら様々な隣接対を行ったりしている反面、韓国は話者が話し流れをリードしたり、話しの流れの中で、話題転換をしたり、割り込みを行っている傾向があった。

また、韓国は日本より話者が知りたいことを問い連鎖の長さが短くなっている傾向があった。韓国は相手との会話の中で応答を早く達成させ、会話を終結させようとする事が分かる。

第4章 【視点2】日韓の類似した場面における現れた好まれる応答形式と好まれない応答形式の比較

本章では、隣接対の分析を基に日韓の好まれる応答形式と好まれない応答形式に見られる差を比較し、日韓の会話に見られる相違点と類似点を明らかにする。隣接対は第1部分と第2部分からなるが、第2部分には「好まれる応答(preferred responses)」と「好まれない応答(dispreferred responses)」が存在する。Levinson(1983)では第2部分を好まれるものと好まれないものに分け、この2つの選択的な発話の選好性に対して論じた⁴。このことによって、日韓の応答形式の差を考察する。

4.1 日本映画を原作としそれをリメイクした韓国映画の応答形式

本節ではその第1部分の発話の期待に添う応答と期待に反する応答があり得ることについて述べる。相手の期待に添う場合、肯定的な応答が好まれる応答形式(preferred responses)とし、それに対し、相手の期待に反して断る場合、否定的な応答が好まれない応答形式(dispreferred responses)として区別する。

次の<例7>と<例8>は日本映画「リトル・フォレスト」とそれをリメイクした韓国映画「리틀 포레스트」の、話者の不満と評価に対して、日本では好まれる応答形式と韓国では好まれない応答形式が見られる発話場面である。

<例7>

[J2-5]

(キッコは薪割をする)

1 いち子：えらく気合い入ってんね。キッコ。

2 キッコ：うあっ。もうさあ。

うちの上司 最悪なのよ。

自分の周りの狭い人間関係しか

見えてなくて

仕事の打ち合わせだっのに

[K2-5]

1 은숙: 맨날 어딜 그렇게 밖에 어슬렁 어슬렁

다니는지 그래놓고 우리가 일 다 해 놓으면

늦게 나타나가지고 계산이 안 맞네.

뭐 이게 뻘 돌고, 맘에 안 드네.

아니 그럼 지가 같이 일을 하든가.

여기 계속 다니다가는 내가 그냥 암 걸러

죽을 것 같아 내가

⁴ Levinson(1983) Pragmatics. Cambridge: Cambridge University Press. pp.334-335

社長を延々と褒めあげんの。
社外の人もある席ですよ！
有能ぶってホイホイ仕事引き受けて
勝手に自分の首しめて
結局こなせないし
そのツケ全部周りの人間に押し付けて
当然って顔してんのよ。
アッタマくる。
失敗はみんな他人のせい成功は
自分のおかげ

3 いち子：薪ぶっ叩いて気晴らししたかったんだね。

(好まれる応答形式)

4 キッコ：その場限りの責任感全くまるでなし
男で
薄っぺらで
その上 その上 その上…

5 ミノオ：何だ。おめえ。
人の悪口ばかり語って！
人のずるいところがわかんのは
自分にも同じ心があっからだぞ。
図体ばかりでかくなって情けねえ！

6 キッコ：じいちゃんに怒られたの久しぶりだ。

7 いち子：うん。

8 キッコ：なんかスツキリしちゃった。ハハハ…

9 いち子：キッコでも春は情緒不安定なんだねえ。

(好まれる応答形式)

10 キッコ：そうかもねー。

割ったねー。割ったねえー。

2 혜원: 정 그러면 그만 두던가.

스트레스 받아 죽을 것 같으면은

그만 두는 게 낫지.

(本当にそうなら、やめて。

ストレスで死にそうだったらやめたほうがいいよ。)

(好まれる応答形式)

3 은숙: 어이없네.

4 혜원: 어?

5 은숙: 너 남일이라고 그렇게 쉽게 말해도 되냐?

니 일 아니니까 상관없다 이거지?

6 혜원: 아니… 내가 뭐라고.

7 은숙: 야, 아니 그만두고 말 거면

왜 고민을 하겠냐? 어?

너는 너는 그만두는 게 그렇게 쉽냐?

아니 그냥 친구 편 들어주고, 어?

토닥토닥 해주고 그러면 되지.

혼자만 잘난 척, 어?

아주 혼자만 다 아는 척.

야, 나 진짜 말이 안 통해.

너랑은 말이 안 통해.

아우, 이 단호박, 씨

아니, 이 고구마야!

<例7>は、彼女(日本：いち子/韓国：へウォン：혜원)の親友(日本：キッコ/韓国：ウンスク：은숙)が彼女(いち子/へウォン：혜원)に会社の上司について文句を言う場面である。

日韓とも彼女の親友が会社の上司について文句をいう話の流れの内容はほぼ同じである。し

かし、親友の文句に対して応答する彼女の表現に差がある。

日本の場合、いち子は相手の立場に立って配慮する好まれる応答(3行目と9行目)をしている。相手の期待に反する応答をすると、相手との間に摩擦が起こったり体面を傷つける。それゆえに、いち子はこのような好まれる応答で相手を理解し、配慮しながら人間関係を保持している。それは林(2008)によると、好まれる応答が社会的に優先される行為であるからであり、人はこのようなやりとりをデザインして協調と対人関係を最大に保ち、摩擦や衝突を最小にとどめようとする社会的な行為をシステムとして行うからである(Atkinson and Heritage,1984; Pomerantz, 1978,1984; Sacks, 1987,1992)⁵。

それに対し、韓国の場合、彼女(ヘウォン:혜원)は友達(ウンスク:은숙)の文句に好まれない応答(2行目)をしている。彼女は相手の期待に反して「정 그러면 그만 두던가. 스트레스 받아 죽을 것 같으면은 그만 두는 게 낫지. (本当にそうなら、やめて。ストレスで死にそうだったらやめたほうがいいよ。)」と応答している。彼女は深く考えずに自分の意見を率直に言うことで、かえって相手の立場を理解できず怒らせ、体面を傷つけている。これに対し、ウンスク(은숙)はヘウォン(혜원)を責める形で応答する(7行目)。このように、日本語の好まれる応答形式に韓国語では好まれない応答形式が対応していることが確認される。次の例を見る。

<例 8>

[J 2-4]

(いち子は登校準備をする)

1 いち子: 雪?

2 福子: あんたもっと早起したらどうなの。

雪かきしなくちゃなんんあいんだから。

3 いち子: バス来ちゃうから行くよー。

(好まれる応答形式)

あっ。キッコにね。

ばっけ味噌作って

やるって言っちゃったの。

雪だし 山の仕事休みでしょ。

[K 2-4]

(登校하는 혜원)

1 혜원: 학교 다녀오겠습니다!

2 엄마: 이거 먹고 가지?

3 혜원: 아, 엄마 나 늦었어.

진짜 서울 가면 내가 버스정류장

코 앞에 있는 집으로 얻을 거야!

하긴 서울은 여기만큼 안 춥겠지?

나 갔다 올게.

(あ、お母さん 私、遅れる。

本当にソウルに行ったら、バス停と鼻の先

⁵ 林宅男(2008)『談話分析のアプローチ-理論と実践』研究社、pp.116

お母さん 摘んどいてくれる？
摘むだけでいいから
行ってきまーす。

にある家を借りるからね！で、ソウルはこ
こほど寒くないよね？行ってくる。）

(好まれない応答形式)

<例 8>は、彼女(日本：いち子/韓国：ヘウォン)が学校に行く準備をしながら母親と話し合う場面である。日本では母親(福子)が雪のせいで娘(いち子)が学校に遅れるのではないかと心配している。これが2行目の「あんたもっと早起したらどうなの。」という提案表現で現れている。娘(いち子)は母親の心配するのを知って、好まれる応答「バス来ちゃうから行くよー。」をしている(3行目)。彼女の好まれる応答は比較的短めに行われて単純である。続いて娘は母親に味噌を作るのを頼んでいる。

これに対し、韓国では母親の提案「이거 먹고 가지? (これ食べて行きなさい?)」(2行目)に娘(ヘウォン：혜원)は好まれない応答形式「아, 엄마 나 늦었어. 진짜 서울 가면 내가 버스정류장 코 앞에 있는 집으로 얻을 거야! 하긴 서울은 여기만큼 안 춥겠지? 나 갔다 올게. (あ、お母さん 私、遅れる。本当にソウルに行ったら、バス停と鼻の先にある家を借りるからね！で、ソウルはここほど寒くないよね？行ってくる。)」という長めの表現をしている(3行目)。彼女(ヘウォン：혜원)の好まれない応答は長めになり彼女の本音を漏らしているが目立つ。このように、好まれる応答形式は簡単に示されているのに対し、好まれない応答形式は長めになり、複雑な理由を説明といった特徴が伴っていることが確認される。

以上のように、2つの類似した場面において、日本は好まれる応答形式が用いられるのに対し韓国は好まれない応答形式が用いられる。

4.2 韓国映画を原作としそれをリメイクした日本映画の応答形式

次の<例9>は韓国映画『수상한 그녀』と日本映画『怪しい彼女』の類似した場面の話者の不満に対し、日本では好まれる応答形式、韓国では好まれない応答形式が見られる発話場面である。

<例 9>

[K 4-1]

1박씨 딸: 또 말순 할머니지?

2박씨: 아니라니까.

3박씨 딸: 아빠는 왜 그렇게 그 할머니한테

 꼼짝을 못해?

 아무리 옛날에 주인집 아가씨였다고 해도

 지금 이 때가 어느 떤데?

 나 같으면 그냥 확!

4말순: 꼭, 뭐?

나잇살이나 먹은 년이 쩌 아버지한테

따박따박 반말짓거리 나 하고

넌 시집도 안 가고 죽을 때 까지

너 아버지 피 빨아먹고 살거여?

(何? いい歳をしてお父さんに

 ぶしつけにため口を叩いて

 あんたは嫁にも行かずに死ぬまでお前お父さん

 の血を吸って生きていくつもりなの?)

(好まれない応答形式)

5박씨: 오셨수?

6말순: 아따, 코가 커진께 인물 사는구만.

7박씨 딸: 사람을 이렇게 만들어 냈으면

 미안하단 말이 먼저죠?

8말순: 그라게 거기서 왜 끼어들고 지랄이여.

(말순은 박씨에게 복숭아가 든 비닐봉지를 놓고

가버린다)

9박씨: 아니 왜?

 좀 있으면 아현동 공주님 할텐데 보고

 가시지?

10박씨 딸: 무슨 노인네 성질이 저 모양이래?

 아주 태어났을 때부터 저 랐을 거야.

11박씨: 니가 뭘 안다고 그러!

 우리 아가씨가 얼마나 맘이 고운 사람인

[J 4-1]

1次郎: いてててっ。

2娘: 毎回毎回 お父さん。

 何か弱みでも握られてるわけ?

3次郎: 俺とカッチちゃんはな。

クズ鉄拾いから何から一緒に苦勞してきた

戦災孤児よ。

家族みてえなもんだ。

俺はカッチちゃんがいなかったらとっくに

野たれ死んでた。

(好まれる応答形式)

4娘: 今 殺されそうになってんでしょ。

 ああ~やっぱり私もお母さんみたいに

 婿養子とろう。

 嫁に行ったらあんな姑がいるかと思うと

 ハハハ。結婚するのも怖いんだよね。

5カツ: 怖いことないよ。

 あんたに姑は一生できないから。

6次郎: ああ かっちゃん。

7カツ: 何だ たいしたことないじゃないか。

(カツは次郎にりんごと花一輪をあげる)

8カツ: あんたに長生きしてもらわないとねえ

 何かと不便だから。

(次郎はオートバイを始動させる)

9次郎: このまま海にでも行こうか?

10カツ: 海? いいね。

(娘はリンゴを見ながら)

11娘: また りんごか。

지 알아?

12박씨 딸: 내가 이래서 시집을 안가는 거야.
저런 시어머니 만날까봐!

13박씨: 우라질 년...
그런 년이 돈까지 써가면서 맞선을 보러 다녀?
벌써 기어 들어온 거 보니까 이번 놈도 커
피 완샷 때리고 약속있다고 가버렸구 만.
니 나이도 꺾어진 칠십이여.
남의 집 애 키우고 싶지 않으면 정신 차려.
이년아. (好まれない応答形式)
(そんな女がお金まで使いながらお見合いをするのか。もう帰ったのを見ると、今度もコーヒーだけ飲んで、相手が約束があると言ってしまったんだ。お前の歳も若くなった70歳だ。他人の家の子供を育てたくなければ、しっかりしろ。)

14박씨 딸: 아, 또 어디가?

15박씨: 아가씨, 내가 태워다 드릴게.
(박씨는 오토바이를 가지고 나간다)
(말순이 놓고 간 비닐봉지 안을 보며)

16박씨 딸: 뭐야? 둘이 친한 거 맞아?
아니 근데 어떻게 우리 아빠 복숭아
알려지 있는 걸 몰라?

<例9>は、娘が怪我をした父親(韓国：박씨/日本：次郎)と話し合う場面である。

韓国では말순(マルスン)と客とのケンカをやめさせようとして怪我をして家に帰る父親(박씨:パクさん)に娘が話しかけながら会話が展開している。娘は怪我をした父親の姿に腹が立って말순(マルスン)について文句を言うが、その時、말순(マルスン)は娘に好まれない応答形式を用いている(4行目)。すなわち、말순(マルスン)は婚期が過ぎた娘の対面を傷つけている。また박씨(パクさん)も結婚せずに歳を取った娘の弱点に直接言及し、娘が父親を心配しているのを理解できずかえって怒らせ、体面を傷つけている(13行目)。

一方、日本ではカツと客との喧嘩をやめさせようとして怪我をして家に帰る次郎に娘が話しかけながら会話が展開しているのは韓国とほぼ同じである。しかしカツについて話す次郎と娘の応答方式が違っている。娘は怪我をした父親を心配し、結婚をしない自分の状態を正当化し(2と4行目)、カツについて文句を言わず責めていない。カツも次郎の娘と摩擦が起こったり彼女の体面を傷つける応答もしない(6行目)。次郎は娘にカツについて好まれる応答形式をしている(3行目)。また、カツと次郎は娘の体面を傷つけないし、摩擦が起こらない。このように相手の相互関係を維持するために了解し、協調的な態度、人間関係を保ち、摩擦と衝突を最小にとどめようとする社会的な行為を行っていると思われる。

次の<例10>は 韓国映画『씨니』と 日本映画『サニー』の類似した場面における相手のフェイス：体面に関わるような発話であるが、友人と親しい関係を結ぼうとして好まれる応答形式を行っている場面である。

<例 10>

[K3-13]

(포장마차에서)

- 1 나미: 너네 새엄마가 전라도 사람이라고
나까지 싫어하는 건 부조리한 일이야...
그건 지역감정을 조장해서 민주주의
정신을
- 2 수지: 야! 너 술도 못 마시냐?
(나미는 소주잔에 든 소주를 한번에 마신다)
- 3 나미: 야 나도 힘들어.
솔직히 우리 오빠 민주투사야.
언제 잡혀 들어갈지 몰라.
우리 할머니가 나보고 언니래.
응. 내가 우리가 중요하다는 거지.
솔직히 우리가 왜, 우리가 이게 중요하냐?
- 4 수지: 그래도. 난 너 싫어.
- 5 나미: 그래도 나는 니가 좋아.
(それでも私はあなたが好き。)

(好まれる応答形式)

[J3-13]

(屋台店で)

- 1 奈美: 新しいお母さんが関西の人だからあたしの
こと嫌うの?
- 2 奈々: うるさい。
- 3 奈美: でもどこで生まれて育つなんて
自分じゃ選べないし。
- 4 奈々: ねえ、飲めないの?
ママが死んで1年も経ってないのに
あんな大阪のホステスと…信じらんない。
あんたにあたしん家のことなんてわかんない
よ。
- 5 奈美: ウチかて大変なんよ。
父ちゃんは工場潰れて
もうてこっちで慣れへん仕事して
婆ちゃんはボケだっしょるし
兄ちゃんはアニメオタクの引きこもり
やしほやからな。
友達だけは大切にしようっっちゃうことを

6 수지: 왜?

7 나미: 니 이쁘잖아.

나 솔직히 너 처음 봤을 때 충격 먹었다.

나 전에 학교에서 젤루 이뻐거든.

근데 서울 오니까 다 이쁜거야.

가시나들이

근데 너는 그 애들 중에서도 너무

이뻐가지고...

내가 니를 얼마나 좋아하는디

니가 세상에서 젤루 이쁘디

(あんた、きれいじゃん。

私は正直、あなたを初めて見た時、
衝撃的だった。私前学校で一番きれいだった
の。でも、ソウルに来たら皆きれいだった。
でも、あなたはその子たちの中でもすごき
れいで。私はあなたが本当に好きなんだ。
あなたが世界で一番きれいなもの。)

(好まれる応答形式)

(나미와 수지는 부둥켜안고 운다)

8 수지: 내가 예뻐서 미안해. 내가 잘못했어.

9 나미: 아 뭐라냐. 내가 잘못했다니까.

10 수지: 나 이제 그만 이별 게. 이제 니가 이뻐.

11 나미: 나도 이뻐. 미안해. 용서해줘.

내가 널 위해서 서울 사람 될텐께.

야 나 잠깐만... 나 술 조까 먹고...

12 수지: 아줌마~ 여기 진로 한 병 더요.

13 나미: 야 근데, 니네 새엄마는 전라도 어디냐?

ウチは言いたいねん!

(奈美は酒を一息に飲む)

奈美: オヤジ、もう1杯。

屋台店の店主: ちょっと勘弁してよ。

お姉ちゃんたち、高校生でしょ?

奈美: うるさいなー! ついでよ。

6 奈々: あたしにも。

でもそれでもあたしはあんたが嫌い。

7 奈美: たとしてもあたしは奈々が好き!

8 奈々: はあ?

9 奈美: こっちにきて色々ビックリしたけど

一番驚いたのは奈々だよ。

信じられないほどきれいでカッコよくて

クールっていうんでしょ?

ね、クールっていうんでしょ?!

奈々に比べたらさ、

あたしなんか全然ブスじゃん。

だからあたしは奈々のことが大好きなの。

(奈々と奈美は泣く)

10 奈々: あたしだって! あたしだってね。

初めて奈美見た時、

何この子超かわいって

思ったんだから!

(好まれる応答形式)

11 奈美: えー。そうなの?

12 奈々: そうだよ。あたしもみんなみたいに奈美と

仲良くなりたかった!

13 奈美: 奈々!

14 奈々: 奈美!

15 奈美: 大好きだよ。

16 奈々: あたしも大好きだよ。

17 奈美: 奈々~

18 奈々: 奈美~

<例 10> は、韓国: 나미(ナミ)/日本: 奈美が高校時代に屋台でサニーのメンバー 韓国: 수지(日本: スジ)/奈々と話し合う場面である。

韓国では 나미(ナミ)가 수지(スジ)에 수지(스지)의 繼母と同じ地域出身だからと言って自分を

嫌うのは間違いだと言っている。수지(スジ)は나미(ナミ)を嫌う理由を言わず 2 行目で「야! 너 술도 못 마시냐? (ねえ! あなた、お酒も飲めないの?)」と話題転換をし、4 行目で「그래도. 난 너 싫어.(それでも、私はあなたが嫌い。)」とただ嫌いだと言っている。나미(ナミ)は수지(スジ)を理解し、配慮しながら関係を保持するために好まれる応答をしている(5、7 行目)。나미(ナミ)の好まれる応答に수지(スジ)の心が動く。수지(スジ)は 8 行目で「내가 예뻐서 미안해. 내가 잘못 했어. (私がきれいでごめんね。私が悪かった。)」、10 行目で「나 이제 그만 이별 게. 이제 니가 이빠. (私、もうきれいじゃないよ。今はあなたがきれい。)」と応答している。

それに対して、日本は奈々が奈美を嫌う理由について継母と同じ地域出身だからというのは韓国と同じである。奈美の問いに対して奈々が自分の家族史について奈美に話している(4 行目)のが、韓国の수지(スジ)の家族史に言及がない部分と対比される。奈美も自分の家族史について奈々に話す。しかし、奈々は 6 行目で「でもそれでもあたしはあんたが嫌い。」と言う。それについて奈美は奈々との間に関係を保ち、摩擦を最小にとどめようとする好まれる応答を行っている(7 行目)。奈美は奈々の容貌を褒めて友達関係を維持する表現を使っている。奈美の好まれる応答に奈々は 10 行目と 12 行目で見るとように奈美の容貌を褒めて、仲良くしたいと自分の心を見せている。このように、韓日の彼女(나미: ナミ/奈美)が、友だち(수지: スジ/奈々)と仲良く過ごしたいために友達の容貌を褒め、好きな気持ちを込めて「好まれる応答」をしている。この点、日本語と韓国語は変わらない。

4.3 日本/韓国ドラマを原作としそれをリメイクした韓国/日本ドラマの応答形式

次の<例 11>は、日本ドラマ『派遣の品格(2007)』と韓国ドラマ『직장의 신 : 職場の神(2013)』の類似した場面で、相手の評価に対し、日本語でも韓国語でも好まれない応答形式が見られる発話場面である。

<例 11>

[J5-7]

- 1 里中：すみません！あの昨夜はどうも。
2 大前：何がですか？
3 里中：大前…フラメンコお上手なんですね。
4 美雪：え？「フラメンコ」ってあの踊る？
5 大前：朝から意味の分からない話題を私には
振らないでください。
6 里中：すみません。東海林さん、
やっぱり俺たちの勘違いだって。
7 東海林：んなわけないだろ。
ほ～バックレるんだ。
なんかあれかな俺たちなんか
見ちゃいけないものでも見ちゃったのかな？
別にいいんじゃないの？
あんた正社員じゃないんだから
どんな夜のバイトをしようが勝手だし。
あんたスカートめくり上げてこうやって
踊ってたじゃない。オレ～！
(好まれない応答形式)
8 大前：楽しそうですね。
9 東海林：何だ。その冷ややかなリアクションは。
無視すんなっつってんだろ。
10 大前：そんなに構ってほしいんですか？
11 東海林：誰がお前なんか！
12 大前：大前春子です。

[K5-7]

- 1 무정한: 미스김씨. 어제 집에 잘 들어가셨나요?
2 미스김: 네 어제 잘 들어갔습니다. 무팀장님.
3 무정한: 아 예. 미스김씨!
그럼 집에 가셨다면 무엇을 하셨나요?
4 미스김: 발 닦고 잤습니다만… 무팀장님.
5 무정한: 아 예.
6 장규직: 그래 발을 아주 깨끗이 닦고 주무셨어야겠지~
그렇게 발바닥에 불이 나게 이리저리
요리요리 흔들어 대셨는데 안 그렇겠어?
이렇게 보니깐 뭐가 느껴지시나보지?
(そう。足をきれいに洗って寝なきゃね。
あんなに足の裏から火が出るように
あちこちと揺り動かしたのに、
そうじゃない？こうやって見ると、
何が感じてるみたいだね?)
(好まれない応答形式)
(장규직은 미스김 앞에서 살사댄스를 흥내낸다)
7 미스김: 더러움이 느껴집니다.
8 장규직: 당신 내가 다 봤어!
당신의 그 천박한 이중생활!
이렇게 남자들을 이런 모양새로 후리고
다니는 거 내가 다 봤다고!
당신의 그 음흉한 정체를 내가 반드시
밝혀내서 회사 만천하에 폭로하고 말꺼야!
(お前、僕が全部見た！
お前の下品な二重生活！
こうやって男たちをこういう姿で
誘惑して回るの僕が全部見た！
お前のその陰惨な正体を僕が必ず明らか
かにして会社に暴露してやる！)
(好まれない応答形式)

<例 11>は、日本：里中と東海林/韓国：ム・ジョンハン(무정한)とジャン・キュジク(장규직)が、昨夜見た彼女が日本：大前/韓国：ミス・キム(미스김)だと確信して聞いてみる場面である。

日本では里中が大前に話しかけ、昨夜大前がフラメンコを踊ったと思って声をかける(1行目)。大前は里中の話を理解せず問い返している(2行目)。続いて里中がさらに具体的に「大前…フラメンコお上手なんですね。」と大前の踊りについて褒め(3行目)、近くにいる契約社員美雪が二人の話題について割り込みしている(4行目)。大前は里中が話したことについて丁寧に応答し(5行目)、それに対して里中は大前に謝っている(6行目)。大前と里中の会話がお互いに発話をやりとりしながら展開しているが、その時、東海林が大前に好まれない応答形式を用いている(7行目)。東海林は昨夜見た彼女が大前だと断言し、「あんた正社員じゃないんだからどんな夜のバイトをしようが勝手だし。あんたスカートめくり上げてこうやって踊ってたじゃない。オレ〜！」と言って大前の体面を傷つける応答をしている。それに対して大前は落ち着いて対応している(8、10、12行目)。東海林は契約社員である大前に雇用形態に関する差別的な発言と彼女の服装に直接言及し、彼女の対面を傷つけている。

韓国ではム・ジョンハン(무정한)がミス・キム(미스김)に話しかけながら二人の会話が展開しているのは日本とほぼ同じである。ジャン・キュジク(장규직)がミス・キム(미스김)について好まれない応答形式をしている(6と8行目)。ジャン・キュジク(장규직)はミス・キム(미스김)の前で昨夜見た彼女のサルサダンスの真似をしながら皮肉を言うし、さらに私生活を暴露して彼女の体面を傷つけている。

次の<例12>は韓国ドラマ『미생：ミセン』と日本ドラマ『HOPE－期待ゼロの新入社員－』の類似した場面の話者の提案に対し、日本では好まれる応答形式と韓国では好まれない応答形式が見られる発話場面である。

<例 12>

[K6-42]

1 마부장: 야! 오상식이 미쳤어? 너 돌았니?

[J6-42]

1 織田課長：部長！

(おい！オ・サンシク！狂ったのか？

お前、いかれたのか？)

(好まれない応答形式)

2 오과장: 부장님 이견...

3 마부장: 그래! 그거 말이야.

누가 떡 먹다가 목에 콕 걸려 죽었는데

옆에 니가 있다가 흘랑 주워먹는거야!

그걸 주워서 쳐 먹어야겠니~ 어?

(そう！それな。誰かが餅を食べていて、

喉に引っかかって死んだんだけど、

そばにお前がいて拾って食べるんだ！

それを拾って食べなきゃならないのか～え？)

(好まれない応答形式)

4 오과장: 저희가 아니더라도 되살려야 하는 사업입니다.

5 마부장: 글쎄 그걸 왜 니가 판단해야하냐고?

사내 비리 캐서 여러 걸러 자빠뜨리고

이 팀 저 팀 서로 의심하게 만들어 놓고는

이 사업을 니가 흘랑 주워먹겠다고?

이러니깐 내가 널 싫어하는거야.

이 이기적인 새끼야~

당장 그만 뒤!

(それをどうしてお前が判断しなきゃならないん

だ？社内不正を暴いて、様々ひっかき回して、

このチーム、あのチームをお互いに疑わせておい

てこの事業をお前が独りしめする？

だから、俺はお前を嫌いなんだ。

このわがままな奴～今すぐやめてしまえ！)

(好まれない応答形式)

6 오과장: 부장님! 일단 저희가 준비한 자료 보시고

판단해주십시오.

7 마부장: 야! 이걸 전무님이 허락할 것 같니?

(おい！これを専務が許可すると思うのか？)

(好まれない応答形式)

2 営業部長: んっ？何だ？

3 織田課長: あの新規事業企画の件なんすけど…

4 営業部長: お～その話か うん。

あっ、何でも俺に言ってみろよ。うん。

5 織田課長: われわれとしてはイランの案件で

勝負をかけたいと思ってます。

6 営業部長: お～イランか。そうきたか～ハハハ…

イラン…バカ言うな！

そんなもん却下だ！

7 織田課長: いや、でもこの案件ならかなりの収益が

見込めます。

8 営業部長: 早過ぎるんだよ！

経済制裁されたばかりだろ！

専務からだってお前反対されるに

決まってる！

他に企画がないならバイオマスを考えて

みたらどうだ？

(好まれる応答形式)

9 織田課長: その企画なら何もうちがやる必要は…

10 営業部長: 織田～もう誰が専務にプレゼンすると

思ってるんだ？んっ？

あのな、俺が乗る企画じゃないと

通らないってこと忘れるなよ。

じゃあな。

(好まれる応答形式)

<例 12>は、韓国：オ課長(오과장)/日本：織田課長が部長に事業の企画案について話す場面である。

韓国では、部長がオ課長(오과장)に関する個人的な感情を表わしながら好まれない応答形式を用いている(1と3と5と7行目)。部長は오과장의事業の企画案について皮肉を言い、摩擦が起こる発言をしてオ課長(오과장)の体面を傷つけている。また、マ部長(마부장)はオ課長(오과장)の発話中に割り込み、オ課長(오과장)から発話権を取っている。オ課長(오과장)は落ち着いてマ部長(마부장)の話に応答している。

それに対して、日本では部長が織田課長の企画案について心配し、他の企画を提案しながら助言している。日本の部長は織田課長の摩擦を起こさないし、体面も傷つけない。また、部長は織田課長から発話権を取ろうとはしない。日韓の会社では同じ難しい上下関係があるが、日本は部下との摩擦と衝突を最小にしようとする事が分かる。日本の場合、相手との最小限な会話のルールを守っているが、韓国の場合、上司という理由で部下の体面を傷つける発話でも特別なこととは見なされないことが確認された。このように、日韓の好まれる応答形式と好まれない応答形式の相違が日本語と韓国語における会話表現、スタイルの違いを作り出す要因であると考えられる。

4.4 まとめ

本章では日韓リメイク映画とドラマにおけるその類似した場面の中で好まれる応答形式と好まれない応答形式について考察を行い、次のような結果が明らかになった。

(1) 日本映画を原作としそれをリメイクした韓国映画の類似した場面では日韓の親友が会社の上司について文句を言う場面の話の流れの内容はほぼ同じであるが、日本では好まれる応答形式が用いられるのに対し、韓国では好まれない応答形式が見られる。

日本の場合、親友の立場に立って配慮する好まれる応答形式をしている。親友を理解し、配慮しながら人間関係を保持している。それに対し、韓国は親友の期待に反する好まれない応答形式をしている。親友の期待に反する応答をして相手との摩擦が起こったり体面を傷つけてい

る。

また、彼女が学校に行く準備をしながら母親と話し合う場面でも日本の場合、娘は母親が雪のせいで娘が学校に遅れるのではないかと心配する気持ちを察し、母親が安心するよう好まれる応答形式を使っている。彼女の好まれる応答は比較的短めに行われて単純である。これに対し、韓国の場合、娘は何も食べないし急いで登校準備していることを心配する母親の気持ちを理解せず、好まれない応答形式を用いている。彼女の好まれない応答は長めになり彼女の本音を漏らしていることが確認される。

(2) 韓国映画を原作としそれをリメイクした日本映画の好まれる応答形式と好まれない応答形式では、韓国の方に相手の体面に関わる発話について好まれない応答形式が用いられている。韓日とも娘が怪我をした父親と話し合う場面の話の流れの内容はほぼ同じであるが、韓国は父親が婚期が過ぎた娘の短所を直接に言及し、娘が父親を心配しているのを理解できずかえって怒らせ、彼女の対面を傷つけている。それに対し、日本は父親は娘と間に摩擦が起こったり体面を傷つける応答もしない。ただ、娘は怪我をした父親を心配し、結婚をしない自分の状態を正当化しているだけである。このように日本は相手の相互関係を維持するために了解し、協調的な態度、人間関係を保ち、摩擦と衝突を最小にとどめようとする社会的な行為を行っていると考えられた。

また、相手の体面に関わるような発話であるが、友人と親しい関係を結ぼうするために好まれる応答形式を言う場面は、韓日とも彼女(ナミ/奈美)は友だち(スジ/奈々)を理解し、配慮しながら仲良く過ごしたい意向を友達の容貌を褒め、好きな気持ちを込めて「好まれる応答」を述べていることが確認された。

(3) 日本/韓国ドラマを原作としそれをリメイクした韓国/日本ドラマの好まれる応答形式と好まれない応答形式ではまず、二人の上司が昨夜見た彼女が大前/ミス・キム(미스김)だと確信して聞いてみる場面の流れの内容はほぼ同じであった。

上司は彼女の前で昨夜見た彼女のダンスの真似をしながら皮肉を言い、さらに彼女の体面を傷つける好まれない応答形式が日韓のどちらにもあるが、韓国の上司は他の社員の前で彼女の私生活を暴露して彼女の体面を傷つけている。

次に、課長が部長に事業の企画案を提出し、そのことについて話す場面では日韓の好まれる応答形式と好まれない応答形式が確かに違いがあった。韓国は部長が課長に関する個人的な感情を表わしながら好まれない応答形式を使い、皮肉を言って、摩擦が起こる発言をして体面を傷つけている。また、部長は課の発話中に割り込み、課長から発話権を取っている。それに対して、日本は部長が課長の企画案について心配し、他の企画を提案しながら助言している。日本の部長は課長の摩擦を起こさないし、体面も傷つけない。また、部長は課長から発話権を取ろうとはしない。

日韓の会社では同じ難しい上下関係があるが、日本は部下との摩擦と衝突を最小にしようとするのが際立つ。日本の場合、相手との最小限な会話のルールを守っているが、韓国の場合、上司という理由で部下の体面を傷つける発話をしていても特別なこととは見なされないことが確認された。

以上のことから、日韓の類似した場面で好まれる応答形式と好まれない応答形式を比較した結果、韓国が日本より好まれない応答形式を用いる傾向が多く見て取れる。

親友が自分の会社の上司について文句を言う場面、父親が婚期が過ぎた娘の弱点について話す場面、会社の上司が部下に言う場面での日韓の話し流れがほぼ同じであるが、日本の場合、相手との関係を配慮し、維持しながら最小限の相手での体面を傷つけないように好まれる応答形式を用いられる傾向があった。それに対し、韓国の場合、親友が会社の上司について文句を言うことについて聞き手の彼女が友だちの気持ちを理解せず、好まれない応答形式を使って、かえって友だちの腹を立てる結果をもたらした。

また、親と子、上司と部下の関係の場合、目上の人を目下の人に体面を傷つける好まれない応答形式を行っていても、特別なこととは見なされないことが確認された。人との相対的な関係を維持する日本と比べて、韓国は目上の人の場合、絶対的な上下関係が見られる。

第5章 [視点3] 日韓の類似した場面に現れた連鎖組織の拡張の比較

本章では、日韓の連鎖組織の拡張として前置き連鎖、挿入連鎖、後方連鎖がどのような形で現れているのか、その実例を検討する。このことによって、日韓の連鎖拡張に相違があるのかについて明らかにする。

5.1 前置き連鎖

5.1.1 日本映画を原作としそれをリメイクした韓国映画の前置き組織

まず、前置き連鎖(pre-sequence)とはベース隣接対の前に置かれ、ベース隣接対に進むための前提条件を行う連鎖のことである。前置きの連鎖の第1部分と第2成分のことは「前置き連鎖 FPP」「前置き連鎖 SPP」と呼び、「pre-FPP」「pre-SPP」と表記する。

次の<例 13>は、日本映画『リトル・フォレスト』を原作としリメイクした韓国映画『리틀 포레스트』の類似した場面の中で前置き連鎖が見られる発話場面である。

<例 13>

[J2-2]

1 郵便屋さん：郵便でーす。(呼びかけ)

2 いち子：はい。おはようございます。

(pre-FPP)

3 郵便屋さん：さんびいね。(pre-SPP)

4 いち子：寒いですね。(pre-FPP)

5 郵便屋さん：今日は昼から雪になるって言ってたよ。

(pre-SPP)

(*6行目からベース隣接対が始まる)

6 いち子：へえー また請求書だけ？

7 郵便屋さん：手紙も1通来てるよ。

8 いち子：え？

(いち子は手紙を見る)

9 郵便屋さん：じゃあね。

[K2-2]

(혜원의 집 앞에 집배원의 오토바이가 선다)

1 집배원: 야... 나 이 집에 아주 오랜만에 편지 들고 온다, 야. 혜원이 맞지?

(おい、俺この家に久しぶりに手紙を

もってくるぞ。ヘウオンだね?)

2 혜원: 예 안녕하세요. (pre-FPP)

(はい。こんにちは。)

3 집배원: 응. (うん。) (pre-SPP)

(*4行目からベース隣接対が始まる)

4 혜원: 저기 아저씨!

이거 반송처리해주시면 안 돼요?

(あの、おじさん!

これ返送処理してくれませんか?)

いち子のナレーション：秋に母から手紙が来た。

5 집배원: 왜? (どうして?)

6 혜원: 그냥요... 아, 저 곧 올라 가는데 내가

여기 있는 줄 알고 계속 편지 보낼까 봐서요.

(ただ…あ、私もうすぐソウルに行くんですけど、
ここにいて思っずと手紙を送るかもしれ
ないの。)

7 집배원: 안 되는데 야, 이거 주소도 없는데

이걸 어떻게 반송을 하니?

그리고 혜원아 이거를 읽지 않는 건

니 자유지만 이걸 배달하지 않는 건

내 자유가 아니란다, 어

아, 그게 우체부의 숙명이라는 거지, 그럼

(ダメだね。これ住所もないのにどうやって
返送するんだ?そして、これを読まないのは
お前の自由だけど、これを配達しないのは
俺の自由じゃない。)

あ、それが郵便屋の宿命だってことだよ。

じゃあね。)

<例13>は、彼女(日本：いち子/韓国：へウォン혜원)の家に母親の手紙を配達する郵便屋さんと話し合う場面である。

まず日本では1つめの前置き連鎖を用いている。郵便屋さんの呼びかけ「郵便で一す。」に対していち子の応答と挨拶表現「はい。おはようございます。」が1~2行目に見られる。続いて2つめの前置き連鎖として、郵便屋さんの「さんびいね。」という表現とそれに対する彼女(いち子)の応答「寒いですね。」が3~4行目に現れている。5行目で郵便屋さんはいち子に天気の状態について説明を付け加えている。その後はベース隣接対が進んでいる。いち子と郵便屋さんは質問と応答のやりとりをしている(6~9行目)。

それに対し、韓国の場合、始めの部分が郵便屋さんの呼びかけで、その後、へウォン(혜원)の応答と挨拶は日本とほぼ同じで前置き連鎖を用いている(1~3行目)が天気の状態についての言及がなく短い。つまり、「呼びかけと応答」は前置き連鎖として使われている。前置き連鎖

はベース隣接対に進むように促すものとして、役に立っている。また、ベースの隣接対では韓国はヘウォン(혜원)の提案に対して郵便屋さんは好まれない応答形式を用いている。郵便屋さんは7行目で「안 되는데 야, 이거 주소도 없는데 이걸 어떻게 반송을 하니? 그리고 혜원 아 이거를 읽지 않는 건 니 자유지만 이걸 배달하지 않는 건 내 자유가 아니란다, 어 아, 그게 우체부의 숙명이라는 거지, 그럼(ダメだね。これ住所もないのにどうやって返送するんだ?そして、これを読まないのはお前の自由だけど、これを配達しないのは俺の自由じゃない。あ、それが郵便屋の宿命だってことだよ。じゃあね。)」という否定的な返事をしているが、同時に和らげる表現を用いるため長めの応答となっている。ヘウォン(혜원)の期待に反する応答であるが、持って回った言い方(郵便を配達しなければならない理由を述べているだけ)を使い相手の体面を傷つけないようにしている。

5.1.2 韓国映画を原作としそれをリメイクした日本映画の前置き組織

次は韓国映画『수상한 그녀』とそれをリメイクした日本映画『怪しい彼女』の類似した場面の中で前置き連鎖が見られる発話場面として<例14>を見る。

<例14>

[K 4-12]

(말순은 박씨에게 복숭아를 건넨다)

1말순: 제철이라 겁나게 달어. (pre-FPP)

(旬だから、桃が甘いよ。)

2박씨: 고맙네. (pre-SPP)

(ありがとう。)

*3行目からベース隣接対が始まる

3말순: 아 저 그나저나 옥자...

그 붙여시는 어찌 안 보인데? 예?

아이고 하루라도 미국 코피를 안 마시면

입안에 가시가 돋힌다던 그 할 망구가...

(ところで、オクジャ...

[J 4-12]

(カツは次郎にリンゴをあげる)

1カツ: ん. (pre-FPP)

2次郎: ありがとう. (pre-SPP)

3カツ: 妙な人形だね. (pre-FPP)

4次郎: ハワイ土産だよ. (pre-SPP)

*5行目からベース隣接対が始まる

5カツ: 相変わらず、厚化粧シニアか?

6次郎: それがさ。この間、倒れたんだって。

脳梗塞だって。

7カツ: えっ?

8次郎: まあ、いつ何があっても

彼女は どうして 見えないの？
一日でも アメリカ コーヒー を 飲まなければ
口の中にとげが生えると言っていた
あのばあちゃんが…)

4박씨: 며칠 전에 쓰러졌어. 뇌졸중이라.
(数日前、倒れたの。脳卒中で)

5말순: 아니… 어째서?
(どうして?)

6박씨: 당장 내일 일도 모르는 게 우리 나이 아녀.
아가씨는 이제 상관없겠지만…
(明日のことも分からないのが、私たちの歳で
はないの。お嬢さんにはもう関係ないけど…)

おかしくない歳だからな。
今のカッチちゃんには関係ない話だ。
へへへ…

<例14>は、韓国：말순(マルスン)/日本：カツが韓国：박씨(パクさん)/日本：次郎に桃/リンゴを渡しながらか韓国：옥자/日本：みどりさんについて聞いてみる場面である。

韓国では말순(マルスン)が박씨(パクさん)に桃を渡しながらか話しかけ(1行目)、桃をもらった박씨(パクさん)は말순(マルスン)に感謝の応答をする(2行目)。このように、말순(マルスン)の最初の「話しかけ」とそれに対する박씨(パクさん)の応答が前置き連鎖となっている。

日本の場合、カツが次郎にリンゴを渡して呼びかけ(1行目)、次郎はカツに感謝の応答(2行目)し最小の前置き連鎖となっている。続いてカツは次郎に人形を見ながらか話しかけ(3行目)、次郎はカツに応答(4行目)しながら2番目の前置き連鎖が進んでいる。上の例でみたように、韓国は1～2行目で1つの前置き連鎖を行っている反面、日本は1～4行目で2つの前置き連鎖を用いているのが確認された。

5.1.3 日本/韓国ドラマを原作としそれをリメイクした韓国/日本ドラマの前置き組織

次は日本ドラマ『派遣の品格』とそれをリメイクした韓国ドラマ『직장의 신 : 職場の神』の類似した場面の中で前置き連鎖が見られる発話場面として<例 15>を見る。

<例 15>

[J5-16]

1 部長：大前君。ちょっと来て。(pre-FPP)

2 大前：お呼びでしょうか？ (pre-SPP)

*3 行目からベース隣接対が始まる。

3 部長：この間のマグロの解体ショーのことね。

重役達の耳に入って「3 カ月で手放すには
惜しい人材だ」って。

私も君にはもっともっとここで働いてほしい
と思ってるしね。

4 大前：最初の面談で申し上げたように

私は契約の延長はいたしません。

5 部長：まあまあ、そういわずに考えてくれないか？

いずれ正社員への登用も考えるし

これは君にとって悪い話じゃないだろ？

6 大前：お断わりします。

7 部長：は？

8 大前：私は会社の縛られるような奴隷には

なりたくありません。

ご用件は以上でしょうか？

9 部長：ああ。

10 大前：失礼いたします。

[K5-16]

1 부장: 미스김! 이번에도 자네 덕이 컸다며?

정말 수고 많았네. (pre-FPP)

(ミス・キム! 今回もあなたのおかげだったん
だって? お疲れ様。)

2 미스김: 별말씀을요. 부장님. (pre-SPP)

(どんでもないです。部長。)

3 부장: 그래서 말인데 미스김에게 한 가지 제안을

할까 하는데. (pre-FPP)

(だからさ、ミス・キムに一つ提案を
しようと思うけど)

4 미스김: 네 말씀하십시오. 부장님 (pre-SPP)

(はい、どうぞ。部長。)

*5 行目からベース隣接対が始まる。

5 부장: 저번 간장게장소 사건 말이야.

그게 이사진들 귀에까지 들어갔나봐.

오늘 간부회의에서도 미스김의 이야기가

나오고 말이야.

3 개월하고 보내기는 가까운 인재야.

그래서 정규직으로 채용하는게 어떠냐고

하시는데. 어떤가?

이번기회에 우리회사에 정규직으로 들어오는 게.

(この前、醤油カニのショー事件ね。

それが、理事たちの耳にまで入ったらしい。

今日 理事たち会議でもミス・キムの話が出て

きた。3 か月だけで送り出すにはもったいない人

材だ。それで、正社員として採用したらどうかと。

どう? この機会にうちの会社に正社員として

入社すること。)

6 미스김: 하지만 부장님 제 계약서에 계약연장은

없다고 명시되어 있습니다만.
 (でも、部長。私の契約書に契約延長はないと
 明示されていますが。)

7 부장: 하하하. 이제 계약서 필요없다니깐.
 정규직이야! 그것도 전례없는 특채로.
 (ㅋㅋㅋ. もう契約書はいらないんだ。
 正社員だ! それも前列のない特別採用。)

8 미스김: 죄송합니다. 부장님. 그 제안은
 거절하겠습니다. 저는 회사에 속박된 노예가
 될 생각이 없습니다. 부장님.
 (すみません。部長。その提案はお断ります。
 私は会社の縛られるような奴隷には
 なりたくありません。部長。)

9 부장: 노예? (奴隷?)

10 미스김: 죄송합니다. 부장님
 (すみません、部長。)

11 부장: 어. 알았네.
 (あ、分かった。)

<例 15>は、部長が日本：大前/韓国：ミス・キム(미스김)に契約を延長し正社員として採用したいと打診する場面である。

日本では部長が大前に呼びかけ(1行目)、それに対して大前が部長に応答をし(2行目)前置き連鎖が成立している。その後は3行目からベース隣接対が進んでいる。韓国の場合、部長がミス・キム(미스김)に感謝の気持ちを伝え(1行目)、ミス・キム(미스김)は部長に応答(2行目)し最小の前置き連鎖になっている。続いて部長がミス・キム(미스김)に話しかけ(3行目)、ミス・キム(미스김)は部長に応答(4行目)しながら2番目の前置き連鎖が進んでいる。日本は1つの前置き連鎖(1~2行目)を行っている反面、韓国では1~4行目で2つの前置き連鎖を用いているのが確認される。

このように、日韓の前置き連鎖は部長が大前/ミス・キム(미스김)に打診のために用いられていると見られる。また日韓のベース隣接対では部長の提案に対して大前/ミス・キム(미스김)が

拒絶しながら話し流れが同様に進んでいる。

次の<例 16>は韓国ドラマ『미생：ミセン』とそれをリメイクした日本ドラマ『HOPE－期待ゼロ新入社員－』の類似した場面の中で前置き連鎖を見る。

<例 16>

[K6-50]

(장백기는 물건을 팔러 선배회사에 간다)

1 장백기: 선배님 안녕하세요.

(先輩、こんにちは。)

2 선배: 어~ 장백기! 오랜만이다.

(あ、ジャン・ベッキ！久しぶり。)

3 장백기: 잘 지내셨어요?

(お元気ですか?)

4 선배: 백기야 너 얼굴이 좋아졌다.

(ベッキ、お前の顔がよくなった。)

5 장그래: 윈인터내셔널 영업 3 팀 장그래입니다.

(ウオンインターナショナル営業 3 チーム
ジャン・グレです。)

6 선배: 반가워요. 우리 백기 잘 부탁해요. 앉아!

(お会いできてうれしいです。ベッキのこと
よろしくお願いします。どうぞ。)

7 장백기: 저번에 입사 턱 싸주신 거요.

지금도 죄송해요.

백만원도 넘게 나와가지고…(pre-FPP)

(この前、入社の時おごってくださったことです。

今でもすみません。100万ウォン以上払って…)

8 선배: 야! 무슨 너희들 입에 들어가는 거

하나도 안 아까워.

무슨 일이야? 부탁이 있다면서? (pre-SPP)

(おい！お前たちの口に入るの全然惜しくない。

どうしたんだ？頼みがあるんだって?)

[J6-50]

(桐明は知り合い人の会社に一ノ瀬を連れて行く)

1 桐明: この間はごちそうさまでした。

ホントにおいしかったです。

すいません。みんなしてごちそうになっちゃって

(pre-FPP)

2 中山: 気にするなって。またいつでも連れてやるよ。

(pre-SPP)

3 桐明: ありがとうございます。みんな感謝してました。

ゼミの先輩で今でもよくしてくれるのは

中山さんだけだって。(pre-FPP)

4 中山: ハハハ…もうよく言うよ。フフフ…

で どうした?今日は。(pre-SPP)

*5 行目からベース隣接対が始まる。

5 桐明: あっ…実は会社の研修の課題で物を

売らなきゃいけないくて。

これなんですけど…。

(桐明はハンドタオルを渡す)

6 中山: 俺に売りたいって買ったのか?

7 桐明: いえ、そういうわけでは…。

8 中山: なら、どうしてうちに売りに来た?

先輩の俺なら無条件で買ってくれるとでも

思ったのか?

9 桐明: いえ。

10 中山: 悪いけど断る。

後輩のためにおごることとこれを買うことでは

*9 行目からベース隣接対が始まる。

9 장백기: 아...

회사에서 뭘 좀 팔아오라고 해 가지고요.

실습이죠. 실습

(아... 회사で何かを売ってこいと言われて。

実習です。実習。)

10 선배: 뭔데? (何?)

(장백기는 선배에게 시장에서 산 양말과 팬티를 건넨다)

(ジャン・ベッキは先輩に市場で買った靴下と

パンツを渡す。)

11 장백기: 음... 뭐 이런 거?

비싸게 사주시면 더 좋고요.

(うん...なんかこういうもの?

高くかってくだされば、もっといいです。)

12 선배: 음... 이거 너희 회사제품이야?

(これお前の会社の製品なの?)

13 장백기: 아 아니요. 아까 오다가 산 거예요.

(いいえ、さっき来る途中で買ったものです。)

14 선배: 어디 제품이야? 중국 OEM?

(どこの製品? 中国 OEM?)

15 장백기: 아... 아마 중국일 걸요.

(あ...たぶん中国ものだと思います。)

16 선배: 얼마에 팔건데?

(いくら売る?)

17 장백기: 선배님께 좋은 가격에 드...

(先輩に手頃な価格で...)

18 선배: 왜 좋은 가격에? 나라서?

아니면 딱 품질이 그 정도 인가?

(どうしていい価格に? 僕だからか?

それとも品質がそれぐらいか?)

19 장백기: 아... 그러니깐...

(아...だから...)

20 선배: 안 산다. 내가 너한테 술도 사고 더 한 것도

意味が違う。

これは俺には必要ない物だ。

살 수 있지만 이걸 안 산다. 왜 줄 알아?
이건 나한테 필요가 없는 물건이니깐.
백기야! 이거 나한테 팔려고 산 물건 맞아?
그럼 실망인데...

(買わない。僕がお前にお酒もおごって
やれるしそれ以上も買えるけど、
これは買わない。なぜか分かる？
これは私にいらぬ物だから。ベッキ！
これ私に売ろうと思って買ったもの？
それでは、がっかりだ。)

<例 16>は、韓国：ジャン·베ッキ(장백기)/日本：桐明が物を売りに先輩の会社を訪ねる場面である。

まず、韓国は大学卒業後、久しぶりに先輩の会社を訪ねるジャン·베ッキ(장백기)が先輩に挨拶し、それに先輩が応答している(1~4行目)。ジャン·그레(장그래)も初対面のジャン·베ッキの先輩に自己紹介し、先輩はジャン·그레(장그래)に応答をする(5~6行目)。ここから前置き連鎖が始まる。ジャン·베ッキ(장백기)が先輩にごちそうになることについて感謝の気持ちを伝え、それに対する先輩の応答があって前置き連鎖が成立している(7~8行目)。その後はベース隣接対が進んでいる。

それに対し、日本は桐明が先輩にごちそうになることについて感謝の気持ちを伝え、それに対する先輩が応答しながら前置き連鎖が進んでいる(1~4行目)。5行目から桐明が先輩の会社に訪ねた理由についてベース隣接対が始まる。日韓の前置き連鎖の流れがほぼ同じである。

このように、前置き連鎖は何か本題となるベース隣接対に進むように促すものとして役割を果たし、また、ベース隣接対に進むように発話の準備段階として作り出しているのが確認された。

5.2 挿入連鎖

5.2.1 日本映画を原作としそれをリメイクした韓国映画の挿入連鎖

この節では開始された連鎖の直後に対応するSPPではなく、別の連鎖タイプが生起し、対応するSPPがこの挿入された連鎖の終了後に生起するという連鎖パターン、挿入連鎖(insertion sequence)について述べる。つまりQ1-(Q2-A2)-A1という構造について述べる。挿入連鎖のFP PとSPPは「挿入連鎖FPP」「挿入連鎖SPP」と呼び、「Ins-FPP」「Ins-SPP」と表記する。

次の<例17>は 日本映画『いま、会いにゆきます』と韓国映画『지금 만나러 갑니다』の類似した場面の中で挿入連鎖が見られる発話場面である。

<例 17>

[J1-8]

1 滯：佑司 ママの言うこと よく聞いて いい？

ママは… お別れなの。

さよならしなきゃならないの。

(佑司は泣いている)

(滯は佑司を抱く)

(森を走る巧)

2 巧：滯！

(*3行目から6行目まで挿入連鎖が挟まっている)

3 佑司：ママ ごめんなさい。 (Ins-FPP)

4 滯：え？ (Ins-SPP)

5 佑司：ママは僕のせいで死んじゃったんでしょ？

(Ins-FPP)

6 滯：バカねえ。そんなふうに乗ってたの？

(Ins-SPP)

7 佑司：だって…

8 滯：そんなことない。これっぽっちもない。

ママが信じられない？

佑司は一望まれて望まれて生まれてきたの。

パパとママは

そのために出会ったのかもしれない。

[K1-8]

(수아는 지호를 바라보며)

1 수아: 지호야 엄마가 하는 말 잘 들어.

그럴 수 있지?

(지호! 엄마의言うことよく聞いて.

できるよね?)

(지호는 고덕인다)

2 수아: 엄마는... 이제 가야 할 시간이 된 거 같애

(ママは…もう行かないといけない時間になったみたい。)

(수아는 지호를 안는다)

3 수아: 엄마가...

우리 지호 더 빨리 못 알아봐서 미안해

(ママが...

지호に早く気付かなくてごめんね。)

(*4行目から14行目まで挿入連鎖が挟まっている)

4 지호: 엄마... 미안해... (Ins-FPP)

(ママ…ごめんね…)

5 수아: 응? 지호가 왜? (Ins-SPP)

(うん?何が?)

6 지호: 엄마 나 때문이지 나 땀에 죽은 거지?

佑司に会うためにね。
佑司は幸せを運んできたの。
ママを幸せにしてくれたの。
分かる? 佑司 素敵な大人になってね。
パパのことお願いね。

(Ins-FPP)

(ママ、ぼくのせいだ。

ぼくのせいで死んだんでしょ?)

7 수아: 그게 무슨 소리야? 누가 그런 소리를 해?

(Ins-SPP)

(どういう意味?誰がそんなこと言うの?)

8 지호: 친척들이 얘기하는 거 들었어.

엄마 나 땀에 아파졌다구 미안해

알았으면 더 말 잘 들었을 텐데

(Ins-FPP)

(親戚たちが話すの聞いた。

ママ、私のせいで病気になった。ごめんね。

知っていたら、ママの言うことをもっとよく

聞いたのに。)

9 수아: 말도 안 돼. 지호가 있어서 엄마가 얼마나

행복했는데 (Ins-SPP)

(何言っているの。

지호가いてママ가どれだけ

幸せだった。)

10 지호: 그래도 내가 안 태어났으면

아빠랑 더 오래 살 수 있었잖아

(Ins-FPP)

(でも、僕が生まれてなかったら、

パパともっと長く生きられたじゃん。)

11 수아: 지호야 절대 그렇지 않아. 엄마는 지호를

낳지 않았어도 분명히 똑같이 됐을 거야

(지호、絶対にそうじゃないよ。

ママは지호를産まなくても同じになった

はずよ。)

(수아는 지호의 두 손을 잡으며)

그리고 우리 지호가 없는 세상에서는

백년을 살아도 하나도 안 행복했을 거야

(Ins-SPP)

(そしてジホがいない世の中は100年
生きても幸せじゃなかったでしょう。)

12 지호: 정말? (本当?) (Ins-FPP)

13 수아: 그럼 엄마랑 아빠는
(じゃあ、ママとパパは)

(지호의 얼굴을 만지며)

우리 지호를 세상에 태어나게 하려고

만난 거야 그래서 엄마는 지호가

너무너무 고마워 (Ins-SPP)

(ジホを世の中に生かせるために会ったんだ。

それでママはジホに本当に感謝してるわ。)

14 지호: 그런 거야? (Ins-FPP)

(そうなの?)

15 수아: 그럼 지호야 엄마는... 음...

구름나라에 가서 지호 계속 보고 있을게.

멋진 어른이 되어야 해.

약속한 것처럼 아빠도 잘 지켜주고

(じゃ、ジホ。ママは…雲の国に行って

ジホをずっと見ている。かっこいい大人にな

らなきゃ。約束したようにパパも守ってちょ

うだい。)

16 지호: 나도... 엄마 절대 안 잊어버릴게

(ぼくも…ママ絶対忘れない。)

17 수아: 그래 고마워

(ありがとう。)

(수아는 지호를 안는다)

<例17>は、母親(日本：澁/韓国：스아수아)が息子(日本：佑司/韓国：ジホ지호)に最後の挨拶をし、父親のことを頼む場面である。その場面では母親が息子を心配する気持ちと愛する心が表現されている。

日韓は同じ意味の表現を持ち、ほぼ同じニュアンスが見られる。日本は1行目と8行目からなるベース隣接対の間に、3~7行目の発話がはさまっている。挿入された連鎖を見ると、息子(佑

司)が母親(滯)に謝罪表現「ママ ごめんなさい」(3行目)を使うのに続き、自分のせいで母親が死んだことについての問い「ママは 僕のせいで死んじゃったんでしょ？」(5行目)に対して母親の聞き返しと応答「え？」(4行目)、「バカねえ。そんなふうに思ってたの？」(6行目)が使われている。母親(滯)は去る前に息子(佑司)の誤解を解こうとしている。

その反面、韓国は1行目と17行目のからなるベース接続対の間に、4~14行目の発話が挿入されている。挿入された連鎖を見ると、まず、母親(スア：수아)が息子(ジホ：지호)に謝る表現「엄마가... 우리 지호 더 빨리 못 알아봐서 미안해(お母さんが…ジホに早く気付かなくてごめんね。）」(3行目)が現れ、それに応答する息子(ジホ：지호)も母親(スア：수아)が自分のせいで病気で死んだことについて謝罪表現「엄마... 미안해... (お母さん…ごめんね…）」(4行目)を使っている。続いて、母親(スア：수아)は息子(ジホ：지호)を産んだのが原因で死んだのではないということを説明しながら息子と話をやりとりをしている(5~14行目)。

このことから、日韓の挿入連鎖はベース隣接対の後で挿入されることによって連鎖を拡張していることがほぼ同じであることが分かる。

5.2.2 韓国映画を原作としそれをリメイクした日本映画の挿入組織

次の<例18>は 韓国映画『써니』とそれをリメイクした日本映画『サニー』の類似した場面の中で挿入連鎖が見られる発話場面である。

<例18>

[K 3-14]

(춘화병실. 나미는 누워있는 춘화를 본다)

1춘화: 나미야.

왜... 그저 바라만 보고 있어?

(ナミ、なんで…ただ見てるだけなの?)

2나미: 안 잤어? (寝てないの?)

3춘화: 일루와. (こっちおいで。)

4나미: 춘화야. (チュンハ!)

[J 3-14]

(奈美は芹香のお見舞いして寝ている姿を見る)

1芹香：奈美…黙って帰るなんて冷たいじゃん。

こっち来て…

(奈美は芹香の手を握って横になっている)

2芹香：そっか。辛いね。

あんなにハッチャけてた心が…

3奈美：芹香は？

5춘화: 왜. (何?)
(*6行目から9行目まで挿入連鎖が挟まっている)

6나미: 고마워. (Ins-FPP)
(ありがとう。)

7춘화: 뭐가? (Ins-SPP)
(何が?)

8나미: 나 꽤 오랫동안 엄마, 집사람으로만
살았거든. 인간 임나미.
아득한 기억 저 편이었는데
나도 역사가 있는 적어도 내 인생은
주인공이 더라고. (Ins-FPP)

(私、長い間、お母さん、奥さんだけで
生きていた。人間のイム・ナミ。
遙かな記憶の向こう側だったけど私も歴史があ
るせめて私の人生は主人公だったよ。)

9춘화: 너는 얼굴이 주인공 얼굴이야. (Ins-SPP)
수지도 주인공 얼굴이었는데...

(あんたの顔は主人公の顔だよ。
スジも主人公の顔だったのに...)

10나미: 찾아 줄게. (探してあげる。)
(춘화는 나미에게 동영상 CD를 건넨다)

4芹香: ん?

5奈美:辛い?

6芹香: うーん。
そろそろエンディングって感じかな...

7奈美: そんなこと言わないの。

(*8行目から11行目まで挿入連鎖が挟まっている)

8芹香: でもさ、伊藤芹香物語の主役としては
悪くなかったかなあって...

奈美は? (Ins-FPP)

9奈美: ん? (Ins-SPP)

10芹香: 阿部奈美物語の主役として...
(Ins-FPP)

11奈美: うん...何か変だけどさ、
結婚して娘が生まれて母親になって

ずっと自分がどこにいるか

わかんなくなってた。

でも芹香に会って

みんなを探しているうちにね。

何か久しぶりに自分を取り戻せたっていうか。

高校の時、芹香があたしのこと

変えてくれたじゃん。

今またそれなんだなって... (Ins-SPP)

12芹香: 奈美は主役の顔してるよ。

奈々もそうだった。

13奈美: 絶対に捜すからね。

14芹香: これ。(芹香は奈美にCDを渡す)

<例18>は、韓国: 나미(ナミ)/日本: 奈美が夜遅く韓国: 춘화(チュンハ)/日本: 芹香のお見舞いをし、춘화/芹香と一緒に横になって話し合う場面である。

韓国では横になっている춘화(チュンハ)は나미(ナミ)を見て話しかけ(1行目)、나미(ナミ)は춘화가寝ていると思って問い(2行目)、춘화(チュンハ)は나미(ナミ)と一緒に横になるよう誘っている(3行目)。そして나미(ナミ)가춘화(チュンハ)に呼びかけ、춘화(チュンハ)は応答しながら

ら1～5行目からなるベース隣接対を形成し、次に6行目から8行目の発話が挟まって挿入連鎖が進んでいる。挿入された連鎖を見ると、나미(ナミ)は춘화(チュンハ)の頼みで高校時代の同級生サニーのメンバーを探すことで無駄な人生を振り返るきっかけをくれた춘화(チュンハ)に感謝の表現を用いている(6と8行目)。춘화(チュンハ)は나미(ナミ)の感謝の気持ちについて応答しているが、最後のサニーのメンバー수지(スジ)のことを思い起している。

それに対して日本は、奈美が芹香の病室にお見舞いに来て会話が始まるのは韓国とほぼ同じである。芹香は黙って自分を見つめる奈美を見て1行目で「こっち来て」と誘っている。二人は一緒に横になり、まず、芹香が奈美に入院して治療を受けて疲れてしまったという心情を打ち明けている(2行目)。奈美は芹香の発話に3行目で「芹香は？」と繰り返して、芹香は4行目で「ん？」問い、奈美はまた5行目で「辛い？」と質問し、それについて芹香が応答している(6行目)。芹香の応答に奈美は慰めの言葉を言っている(7行目)。1～7行目のからなるベース隣接対の後に、8行目から芹香が奈美に人生について問う発話が挿入されている。挿入された連鎖を見ると、芹香は自分の人生について評価をし、奈美の人生について問い、奈美は芹香の質問に自分の人生について応答している(11行目)。奈美の応答に芹香も共感をして最後のサニーのメンバー奈々のことを思い起している。

このように、韓日の挿入連鎖はベース隣接対の途中で挿入されることによって連鎖を拡張している。韓日の挿入連鎖の内容を見ると、韓国の나미(ナミ)は춘화(チュンハ)に直接に感謝の気持ちを現しているが、日本の奈美は芹香に高校時代に取り戻るきっかけの時間をくれる芹香に間接的に心を伝えている。また、韓国の춘화(チュンハ)は나미(ナミ)に自分の人生について言及することは特になく、日本の芹香は自分の人生を話して、奈美の人生について考えるきっかけを引き出していると思われる。

5.2.3 日本/韓国ドラマを原作としそれをリメイクした韓国/日本ドラマの挿入組織

次の<例 19>と<例 20>は、韓国ドラマ『미생：ミセン』とそれをリメイクした日本ドラマ『HOPE－期待ゼロ新入社員－』の類似した場面の中で挿入連鎖が見られる発話場面である。

<例 19>

[J6-8]

(안영이는 혼자 잔업을 마치고 회사에 돌아온 장그래를 본다)

1 안영이: 장그래씨.

2 장그래: 안녕하세요.

(안영이에게 전화가 온다)

3 안영이: 네. 여보세요.

4 장백기: 영이씨. 아직 안 끝났어요? 빨리 와요.

5 안영이: 저기... 장그래씨 왔는데요.

6 장백기: 아 좀 바뀌줘요.

7 안영이: 받아보세요.

(*8행目から11행目まで挿入連鎖が挟まっている)

8 장그래: 여보세요. (Ins-FPP)

(もしもし。)

9 장백기: 장그래씨. 왜 그렇게 전화가 안되요?

(Ins-SPP)

(ジャン・グレさん。どうしてそんなに連絡が
できないんですか。)

10 장그래: 네. 그렇게 되었습니니다. (Ins-FPP)

11 장백기: 공장장님에게 들었죠?

저 이상현씨가 장난을 좀 친 모양이에요.

안영이씨랑 같이 와요. 좀 바꿔 줄래요?

(Ins-SPP)

(はい、そうになりました。工場長から聞いたんです
か?私、イ・サンヒョンさんがちょっといたずらをし
たみたいです。アン・ヨンイさんと一緒に来てくださ
い。ちょっと、代わってくれませんか?)

12 안영이: 네. 여보세요. 네. 알아요.

(안영이는 전화를 끊는다)

13 안영이: 같이 오라는데... 갈꺼예요?

14 장그래: 네. 끝은 봐야죠.

[K6-8]

(香月は夜遅く、一ノ瀬が一人で残業を終わって会社に
戻ることを見る)

1 香月: どうしたの?

(香月は電話に出る)

2 香月: はい。

3 桐明: 香月さん、まだ会社?

4 香月: うん。そうだけど。

5 桐明: 織田課長が昨行を手伝ったインターンに
ごちそうしてくれるんだって。

他に來れるインターンがいたら呼んでいいって。

6 香月: ごめん。これから契約取れたお祝いで

鉄鋼課の人たちと飲みに行くの。

7 桐明: あっ、そっか。

8 香月: それより何かあった?

今一ノ瀬君が戻ってきたんだけど。

7 桐明: えっ、彼が?ごめん。代わって。

8 香月: 代わってだって。桐明君から。

(*9行目から10行目まで挿入連鎖が挟まっている)

9 一ノ瀬: もしもし. (Ins-FPP)

10 桐明: あっ...大変だったみたいだね.

新村から話は聞いたよ。悪ふざけしたって。

織田課長がおごってくれるっていうから

君も来なよ。待ってるから. (Ins-SPP)

11 香月: 行くの?

12 一ノ瀬: 行くよ。

<例 19> は、退勤する韓国:アン・ヨンイ(안영이)/日本:香月が残業を終わって会社に戻る韓国:ジャン・グレ(장그래)/日本:一ノ瀬を見かけたときに、韓国:アン・ヨンイ(안영이)/日本:香月の携帯に同僚のジャン・ベッキ(장백기)/桐明から連絡が入り、2人で同僚たちの集まりに行く場面である。

韓国はアン・ヨンイ(안영이)がジャン・グレ(장그래)を見て呼びかけ、それに対してジャン・グレ(장그래)は挨拶をしている(1~2行目)。続いて、折よくアン・ヨンイ(안영이)の携帯に同僚ジャン・ベッキ(장백기)から連絡がきて、ジャン・ベッキ(장백기)がアン・ヨンイ(안영이)に同僚の集まりにくるように誘っているが、アン・ヨンイ(안영이)はジャン・ベッキ(장백기)の誘いに対し応答せず、会社に戻ったジャン・グレ(장그래)の便りを伝えている。ジャン・ベッキ(장백기)はアン・ヨンイ(안영이)にジャン・グレ(장그래)とかわってくれるように言う(3~7行目)。8行目から挿入連鎖が始まる。挿入された連鎖を見ると、電話をもらったジャン・グレ(장그래)とジャン・ベッキ(장백기)とのやり取り連鎖が進んでいる(8~11行目)。ジャン・ベッキ(장백기)はジャン・グレ(장그래)に連絡ができず、同僚のいたずらに言及して同僚の集まりにくるように言っている。電話をかわったアン・ヨンイ(안영이)はジャン・ベッキ(장백기)の誘いに対してついに受諾している(12行目)。

それに対し、日本は香月が一人で残業を終わって会社に戻る一ノ瀬を見て「どうしたの？」で問うが(1行目)、一ノ瀬は応じない。折よく香月の携帯に桐明の連絡がきて、二人の連鎖が進んでいる(2~7行目)。桐明が香月にインターンの集まりに来よう誘うが、香月は「鉄鋼課の人たちと飲みに行くの」と拒絶する。続いて、香月は桐明に一ノ瀬が会社に戻ったのを伝え、男子インターンの間に何があるのかを聞いてみる(8行目)。9行目から挿入連鎖が始まる。挿入された連鎖を見ると、香月が一ノ瀬に電話を代わって一ノ瀬と桐明の挿入連鎖が進んでいる。桐明は一ノ瀬に他のインターンが悪ふざけをしたことに言及して、課長がおごる会食にくるように言っている(10行目)。

このことから、日韓の挿入連鎖の話の流れはほぼ同じである。このように、挿入連鎖はベース隣接対の間に別の発話の連鎖が生じることが分かる。

<例 20>

[K6-46]

- 1 사장: 준비가 상당히 잘 된 보고인데
영업 3 팀 자체로 감당이 되던가?
- 2 오차장: 네. 요르단 현지팀의 도움도 컸습니다.
- 3 사장: 어 근데, 이 사업 다시 하자고 제안한 한 사람이
그 팀 막내라면서?
- 4 오차장: 네. 신입사원 장그래입니다.
(*5행目から10行目まで挿入連鎖が挟まっている)
- 5 장그래: 안녕하십니까. (Ins-FPP)
(こんにちは。)
- 6 사장: 겉이 없구만. 그래?
어 근데 왜 이런 제안을 하게 됐지? (Ins-SPP)
(物怖じないね. そう?
でも、どうしてこんな提案をすることになっ
たんだ?)
- 7 장그래: 그건... 그건 그건 우리회사이기 때문입니다.
(Ins-FPP)
(それは...それはうちの会社だからです。)
- 8 사장: 우리회사? (Ins-SPP)
(うちの会社?)
- 9 장그래: 네. 우리회사요. (Ins-FPP)
(はい、うちの会社です。)
- 10 사장: 하하하. 우리회사지 남의 회사인가? (Ins-SPP)
(ハハハ。うちの会社で、他の会社か?)
(전임원들은 장그래의 답변에 웃는다)
- 11 임원 1: 뻘한 말인데 우리가 염치없게 느껴지네요.
- 12 임원 2: 그러게 말이야.
- 13 사장: 그래. 고맙네.
- 14 장그래: 감사합니다.
- 15 사장: 어... 요르단 중고차 수출사업은 꼭 성과를

[J6-46]

- 1 専務: この事業を提案したのは新人の彼だと聞いたが。
- 2 織田課長: はい。一ノ瀬です。一ノ瀬、ほら。
- 3 一ノ瀬: えっ? えっ? あっ、はい。
(*4行目から11行目まで挿入連鎖が挟まっている)
- 4 専務: どうしてこの提案をした? (Ins-FPP)
- 5 一ノ瀬: はい。あの...分かったんです。
物売るのは大変だけど、
仲間と一緒にうれば楽しいことだって。
それに買ってくれた人たちが喜んでくれる
その顔を見れることが
すごくうれしいことなんだって。 (Ins-SPP)
- 6 専務: あの研修をやったのか? (Ins-FPP)
- 7 一ノ瀬: はい。 (Ins-SPP)
- 8 専務: そうか。それでこんな大胆な提案をするとは
怖いもの知らずだな。 (Ins-FPP)
- 9 一ノ瀬: あっ、いえ。あの... (Ins-SPP)
- 10 専務: 他にもまだ何か理由が? (Ins-FPP)
- 11 一ノ瀬: それはわが社だからです。
わが社だから何だってできると思ったんです。
(Ins-SPP)
- 12 専務: わが社か...フフフ...悪くない響きだな。
- 13 役員: ええ、改めて聞くといいもんですね。
- 14 専務: フフフ... この案件、進めよう。
これから忙しくなる。
3課にも新しい人員が必要だろう。
早速 手配しよう。
- 15 織田課長: はい。ありがとうございます。
- 16 専務: 社長には私から話を通しておく。
- 17 織田課長: はい。ありがとうございます。

낼 수 있도록.

16 오차장: 감사합니다.

<例 20>は、プレゼンの日、社長/専務が営業 3 課の韓国：オ次長(오차장)/日本：織田課長との話の途中でジャン・グレ(장그레)/一ノ瀬に尋ねる場面である。

韓国では社長がプレゼンの発表者であるオ次長(오차장)に質問し、それに対するオ次長(오차장)が応答しながら 1~4 行目からなるベース隣接対を形成し、次に 5 行目から 14 行目の発話が挟まって挿入連鎖が進んでいる。挿入された連鎖を見ると、社長がジャン・グレ(장그레)にこのプロジェクトに提案した理由を問い、それに対して応答している(6~10 行目)。契約社員の彼の応答は 7 行目で「그건... 그건 그건 우리회사이기 때문입니다 (それは...それはうちの会社だからです。)」と 9 行目で「네. 우리 회사요. (はい、うちの会社です。)」の表現を用いて社長と役員たちに暖かい響きを感じさせている(11~12 行目)。社長はジャン・グレ(장그레)に感謝の気持ちを表し、ジャン・グレ(장그레)はそれに対する感謝で応答している(13~14 行目)。

日本の場合も韓国とほぼ同じである。専務が織田課長にこの事業を提案した人について質問し(1 行目)、織田課長は応答している(2 行目)。1~2 行目のからなるベース隣接対の後に、3 行目から専務が一ノ瀬に尋ねる会話が挿入されている。挿入された連鎖を見ると、専務が一ノ瀬にこの事業を提案した理由について問い(4 行目)、一ノ瀬は専務の質問に自分が経験しながら感じることにについて応答している(5 と 11 行目)。一ノ瀬の応答に専務と役員も共感し(12~13 行目)、専務は案件を承知にしている。このことから、日韓の挿入連鎖はベース隣接対の後で挿入されることによって連鎖が拡張されていることが分かる。

5.3 後方連鎖

5.3.1 日本映画を原作としそれをリメイクした韓国映画の後方連鎖

この節では連鎖がさらに後方に拡張される後方連鎖(post-expansion)について述べる。

後方連鎖には 2 つの種類がある。1 つは連鎖を終わらせるように働く「最小限の(minimal)」

後方連鎖とさらに連鎖を続けるように働く「最小限でない(non-minimal)」後方連鎖がある。最小限の後方連鎖とは「連鎖を閉じる第3要素(sequence closing third)」(以下、SCTと表記する)と称され、その連鎖を閉じようとする働きを持つ。(Schegloff 2007a: 118-148)⁶。このようにSCTが使われる場合、FPP+SPP+SCTの3つの連鎖が構成されることになる。

次の<例21>は日本映画『リトル・フォレスト』を原作としリメイクした韓国映画『리틀 포레스트』の類似した場面の中で後方連鎖が見られる発話場面である。

<例 21>

[J2-6]

(キッコはしゃがんで畑に玉ねぎを取る)

(ユウ太はキッコに近づいて来る)

1 ユウ太：うっす。

2 キッコ：おっす。

3 キッコ：いち子に玉ねぎ頼まれたからさ。

もう苗植えちゃったからって。

4 ユウ太：一人分にしちゃ多くない？

5 キッコ：フフフ…

玉ねぎ豪快に使うの好きだったからね。

油たらしてオーブンで焼いて

山椒塩とか玉ねぎ丸ごと使った

スープとか。

6 ユウ太：決めたら とつとつと出てっちゃったな。

7 キッコ：そうね。

8 ユウ太：でも実はオレ ちょっと見直した。

9 キッコ：うん？

10 ユウ太：いち子ちゃんちょっとぐずぐずしたところ

あるじゃない。

11 キッコ：まあね。

[K2-6]

(은숙과 재하는 양파 아주심기를 하고 있다)

1 은숙: 생각하면 할수록 알미워 죽겠네.

연락 한번 없고…

통장에 스쳐 지나가는 월급 같은 년…

오래 남을 줄 알았더니 눈 깜박 할 사이에

도망쳐 버렸어.

(考えれば考えるほど憎たらしくてたまらない。

一度も連絡もなし…

通帳をかすめていく給料のような女…

長くいると思ったのにあつという間に

逃げってしまった。)

2 재하: 도망친 거 아닐 걸.

(逃げたわけじゃないと思う)

(*ここから後方連鎖が始まる)

3 은숙: 뭐야,

혹시 나만 빼고 둘이 연락하는 거 아니지?

(Post-FPP)

(何だよ、もしかして私だけ除いて二人で連絡

しているじゃないの?)

⁶ Schegloff(2007a) Sequence organization in interaction: A primer in conversation analysis: 1. Cambridge, UK; New York: Cambridge University Press. pp. 118-148

(*ここから後方連鎖が始まる)

いち子 何て言ってた? (Post-FPP)

12ユウ太: このまま小森にいるんじゃないに

納得できないってさ。

ほら いち子ちゃん

初めは他に逃げ場がなくて

しかたなく戻ってきた形じゃない。

そうじゃなくて

ちゃんと前向きな気持ちで

住む場所 選びたいんだって。

街でも自分の居場所作れるぐらいに

ならないと

その上で選らばないと

小森に失礼な気がするってさ。

(Post-SPP)

13キッコ: ふーん。

まあ 私にも同じようなこと言ってたけどさ。

あの子はホント

ええかっこしいで負けず嫌いで

考えすぎて融通きかない子ね。

ここが好きなら住んでりゃいいのよ。

ここに。 (Post-FPP)

14ユウ太: 回り道もいいと思うけど…

(Post-SPP)

15キッコ: “薄辛のお姫様”気分なのよ。 (Post-FPP)

16ユウ太: キッツイなあ。 (Post-SCT)

4 재하: 그냥… 난 웬지 혜원이가 금방 돌아올 것

같은 기분이 들어. (Post-SPP)

(ただ…俺なんかへウォンがすぐ帰って

きそうな気がする)

5 은숙: 그래? 왜? (Post-FPP)

(そうなの?なんで?)

6 재하: 아주심기. 지금 혜원은 아주심기를

준비하고 있는 걸 지도 몰라.

(Post-SCT)

(植え付け. 今へウォンは植え付けを準備し

ているかもしれない。)

<例21>は、彼女(日本:いち子/韓国:へウォン혜원)が家を出た後、二人の友達(日本:キッコとユウ太/韓国:ウンスク은숙と제하재하)が彼女に頼まれた玉ねぎ栽培をしながら彼女について話し合う場面である。

日本の場合、キッコがいち子に玉ねぎを頼まれたことについてユウ太に状況説明(3行目)をしている。続いて、キッコとユウ太は彼女が玉ねぎを料理に使うことについて話している(4~

5行目)。ベース隣接対はこれから始まっている。ユウ太はこれまで彼女を見守ってきた自分の意見「でも実はオレちょっと見直した。」と述べ(8行目)、キッコは「うん？」(9行目)と問い返している。それに対してユウ太は「いち子ちゃんちょっとぐずぐずしたところあるじゃない。」(10行目)と述べている。それに対しキッコは「まあね。」(11行目)と答え隣接対の連鎖が終わっている。しかし続けてキッコは「いち子 何て言ってた？」(11行目)と述べ新しい連鎖即ち、後方連鎖が開始されている。

それに対し、韓国の場合、まずウンスク(은숙)は彼女(へウォン:혜원)に対する非難をする(1行目)。それに対してゼハ(재하)は彼女(へウォン:혜원)が家を出た行動を理解し自分の意見を述べる「도망친 거 아닐 걸 (逃げたわけじゃないと思う)」(2行目)。ゼハ(재하)はこれで連鎖を終わらせるつもりだったと思われる。ところが、ウンスク(은숙)は疑いを挟んで質問をする「뭐야, 혹시 나만 빼고 둘이 연락하는 거 아니지? (何よ、もしかして私だけ除いて二人で連絡しているんじゃないの?)」(3行目)。ここから後方連鎖が始まる。それに対しゼハ(재하)は彼女(へウォン:혜원)の疑いを否定している「그냥…난 왠지 혜원이가 금방 돌아올 것 같은 기분이 들어 (ただ…俺なんかへウォンがすぐ帰ってきそうな気がする)」(4行目)。これに対し、ウンスク(은숙)は「그래? 왜? (そうなの?なんで?)」(5行目)と質問をし、ゼハ(재하)は「아주심기. 지금 혜원이는 아주심기를 준비하고 있는 걸 지도 몰라. (植え付け。今へウォンは植え付けを準備しているかもしれない。)」(6行目)と答え、連鎖が続いている。

日韓の後方連鎖の部分を見ると、キッコ/ウンスク(은숙)の会話を続けようとする質問に対するユウ太の反応に違いがある。日本の場合、ユウ太はそれまでいち子を見て感じることについてキッコに話し、理解してもらおうとし、それを基にして隣接対が続いているのが見られる。それに対し、韓国の場合、ゼハ(재하)がウンスク(은숙)の質問によって開始された連鎖を自分の意見を言って即完結させていることが見られる。

以上のように、日韓とも同じように会話を終わらせないようにするため、隣接対は後方に拡張されやすいと見られる。

5.3.2 韓国映画を原作としそれをリメイクした日本映画の後方連鎖

次の<例 22>は、韓国映画『씨니』とそれをリメイクした日本映画『サニー』の類似した場面の類似した場面の中で後方連鎖が見られる発話場面である。

<例22>

[K3-2]

1 나미: 계세요? 안 계시나요…

(すみません。いらっしゃいませんか。)

(나미는 병실의 사진을 본다)

2 춘화: 그저~바라만 보고 있지~

그저~눈치만 보고 있지.

(ただ~見てるだけで~)

ただ、顔色ばかり見てるだけで~)

(나미와 춘화는 서로를 알아보고 미소 짓는다)

3 나미: 뭐래 병원에선?

(何だって? 病院では?)

4 춘화: 어… 한 두 달 남았대나?

(あと2ヶ月だっけ?)

5 나미: 많이 아파?

(かなり痛い?)

6 춘화: 글썩. 한 바늘 천개 정도가 동시에 그냥 흑!

이렇게 찌르는 느낌?

(そうだね。一針千本ぐらいが、

一度にこうやって刺す感じ?)

임나미. 나이 값도 못하고

아직까지도 누가 이렇게 이쁘래? 어?

(イムナミ。歳がいもなく

まだこんなにきれいな人いる?)

7 나미: 하춘화. 너도 암 환자 치곤 이뻐.

(ハチュンハ、あなたもがん患者にしてもきれい。)

(나미의 스마트 폰 벨소리가 울린다)

(남편과 통화를 마치고, 춘화를 보고)

[J3-2]

1 奈美: すいません。失礼します。

2 芹香: おい。転校生。阿部奈美。久しぶりじゃん。

3 奈美: 芹香?

(二人はソファーに座っている)

4 奈美: 長いの?

5 芹香: ん? まあ、かれこれ半年ぐらいなあ。

うん… 何かもう疲れちゃった。

6 奈美: そう…

7 芹香: ガン。

8 奈美: え?

9 芹香: 家族もいないし結婚もしてないからさ。

直接告知されちゃった。

イケメン先生がさ、

“若いから進行も早く…”って。フフフ…

ベタだよねえ。

ていうか若くないっつうーの。

10 奈美: 治療…大変なの?

11 芹香: ああ…うん。まあまあかな。奈美は?

12 奈美: へ?

13 芹香: 子供は?

14 奈美: ああ…もう高校生。

갑자기 출장 간다네. 남편.
8 춘화: 어, 가 봐야지.
(아,帰って。)
9 나미: 자주 올게.
내가 뭐 도와줄 거 없어?
(度々来るからね。
私が何か手伝えることない?)
10 춘화: 얼른 가. (早く帰って。)
(*ここから後方連鎖が始まる)
도와줄 거 생각 했는데. (Post -FPP)
(手伝えること思い出した。)
11 나미: 어, 얘기해. (Post -SPP)
(話して。)
12 춘화: 너 보니까, 보고 싶다. (Post -FPP)
(あなた見ると、会いたい)
13 나미: 누구? (誰?) (Post -SPP)
14 춘화: 씨니. 죽기 전에 꼭 한 번 보고 싶어.
(Post-SCT)
(サニー。死ぬ前に一度会いたい。)

15 芹香: ええっ!マジで!
あんたいくつで産ん だのよ?
16 奈美: いや。でき婚だったからさ…
17 芹香: ウン えー?!マジかあ。
あの奈美が。ああそお。
そりゃあたしたちも年とるわねえ。
で?旦那さん。何してる人?
18 奈美: うん…
(奈美の着信音が鳴る)
19 奈美: ちょっと待って。
(奈美は電話をとる) (奈美は芹香に)
奈美: 何か旦那が明日から急に
海外出張なんだって。しかも1ヶ月も。
だからごめん。
また来るから何か必要なもの…
20 芹香: 私も。
21 奈美: え?
22 芹香: 1ヶ月… あと1ヶ月。
今さっきイケメン先生に言われちゃった。
(*ここから後方連鎖が始まる)
奈美にさあ、1つお願いがあるんだよね。
(Post -FPP)
23 奈美: 何? (Post -SPP)
24 芹香: みんなに会いたいの。 (Post -FPP)
25 奈美: みんなって? (Post -SPP)
26 芹香: サニーのバカたちだよ。 (Post-SCT)

<例22>は、韓国：나미(ナミ)/日本：奈美が病院で偶然に高校の友達(춘화:チュンハ/芹香)の病室に立ちよって話し合う場面である。

まず、韓国では나미(ナミ)가춘화(チュンハ)に呼びかけ(1行目)、彼女の病気の状態について聞いてみる(3、5行目)。춘화(チュンハ)は나미(ナミ)の質問に自分の余命について応答し(4行目)、病気の痛みについて6行目で「글쎄. 한 바늘 천개 정도가 동시에 그냥 흑! 이렇게 찌르는 느낌? (そうだね。一針千本ぐらいが、一度にこうやって刺す感じ?)」と語るが、直後に나미(ナミ)の容貌を褒めて話題転換をしている(4、6行目)。その後、나미(ナミ)の旦那の電話の後で、二人の会話はいったん終わりかけるものの、実際にはさらに続いている。10行目で춘화(チュンハ)가나미(ナミ)に早く家に戻るよう言ったところで、会話は終わるはずだったところ、同じ行で춘화(チュンハ)が続けて手伝ってほしいことがあると言ったので、会話の連鎖がさらに後方に拡張されている。춘화(チュンハ)は나미(ナミ)の質問(13行目)に死ぬ前に高校の友達に会いたいと依頼している(14行目)。

それに対して日本の場合、奈美が病室に入って呼びかけ(1行目)、芹香は奈美を見て応答する(2行目)。続いて奈美は芹香の病気の状態について問い、二人は順序通りに話が進んでいる(3~8行目)。芹香は医者言葉をひいて自分の病状や余命について述べている(9行目)。続いて、久しぶりに会った奈美に芹香は奈美のプライバシーについて聞いてみる(13、15、17行目)。韓国にはこれに対応する部分が見られない。奈美の旦那の電話の後、二人の会話は終わるはずだったものの、22行目で芹香が奈美に「お願いがあるんだよね。」と言って会話の連鎖が後方に拡張されている。つまり、韓日の友達(춘화:チュンハ)/芹香が久しぶりに会う友人나미(ナミ)/奈美に死ぬ前にサニーのメンバーに会いたいと頼むことで連鎖が後方に拡張されるという点は同じである。

以上のように、後方連鎖は隣接対の直後に位置し、SPPによって発話された連鎖を終わらせず、さらに引き伸ばしている。後方連鎖によって基になる隣接対が拡張されていることが見られる。

5.3.3 日本/韓国ドラマを原作としそれをリメイクした韓国/日本ドラマの後方連鎖

次は日本ドラマ『派遣の品格』とそれをリメイクした韓国ドラマ『직장의 신 : 職場の神』の類似した場面の中で後方連鎖が見られる発話場面として<例 23>を見る。

<例 23>

[J5-19]

1 東海林：その大前さんなんだけどさ。

ロシア語ってできんの？

2 一ツ木：少々お待ちください。

あ〜ロシア語の資格まだ持ってない
ですね。

3 東海林：あ、そう。だったらいいんだ。

4 一ツ木：え？

5 東海林：いや。ほら彼女得意分野だとその場を

仕切っちゃうでしょ。

正社員を立てないし。

6 一ツ木：すいません。

(東海林はケータイを確認して)

7 東海林：かかってこねえな…。

8 一ツ木：え？

(*ここから後方連鎖が始まる)

9 東海林：大前さんのケータイ教えといてもらおうかな。

商談のことで連絡取りたいから。

(Post -FPP)

10 一ツ木：いや…それちょっと勘弁してください。

派遣の個人情報ですから。

何か緊急の時は私通していただければ。

今、かけますか？

(Post -SPP)

11 東海林：ああ…だったらいい。 (Post SCT)

12 一ツ木：はい？ (Post -FPP)

13 東海林：大前さんっていくつなんですか？

[K5-19]

1 장규직: 근데 혹시 그 여자 말이야?

혹시… 러시아어 자격증도 있나?

2 안중철: 어 글썬요… 잠 잠시만요. 어디보자.

(잡매니저는 서류파일에 계약직의 경력사항을
찾아본다)

3 안중철: 러시아어 자격증은 없는데 어찌죠?

4 장규직: 없어? 그럼 됐어~ 아주 좋아!

근데 그 여자 전화번호가 뭐야?

(でも、あの女連絡先は何?) (Post -FPP)

(장규직은 잡매니저가 가지고 있는 서류파일을 보려고
한다)

5 안중철: 개인신상공개는 계약 위반이라서…

(*ここから後方連鎖が始まる)

근데 갑자기 왜 그러세요?

저희 미스김 전화번호는 왜? (Post -SPP)

(ところで、急にどうしたんですか?

미스·김의連絡先はなんで?)

6 장규직: 갑… 갑자기 결근이나 지각이라도 할 때를

대비해서 비상연락망의 차원으로.

(急に欠勤したり遅刻したりする時に

備えて非常連絡先で。) (Post -FPP)

7 안중철: 그런 일 절대 없습니다.

언젠가 단 한번도 지각 결근 조퇴를 하신

적이 없는 분이시니깐요. (Post SCT)

(そんなことは絶対ありません。

一度も遅刻とか欠勤、早退をしたことが

(Post -SPP)

ありません。)

8 장규직: 근데 그 여자 몇 살이야? (Post -FPP)

(ところで、その女何歳なの?)

<例 23> は、日本：東海林/韓国：ジャン・キュジク(장규직)が派遣会社のマネージャー(日本：一ツ木/韓国：アン・ジョンチョル안종철)に日本：大前/韓国：ミス・キム(미스김)について尋ねる場面である。

日本では東海林が一ツ木に大前のロシア語の資格があるかどうかについて質問(1行目)し、一ツ木は東海林の質問に回答している(2行目)。続いて東海林は一ツ木に彼女の連絡先について問い(9行目)、さらに彼女の歳について尋ねている(13行目)。二人の会話の連鎖が後方に拡張されている。

それに対して韓国の場合、日本と同じようにジャン・キュジク(장규직)がアン・ジョンチョル(안종철)にミス・キム(미스김)のロシア語の資格を持っているかどうかについて質問し(1行目)、続いて彼女の連絡先と歳について問い(4、6、8行目)、二人の連鎖が後方に拡張して進んでいるという点は同じである。

このように、日韓の後方連鎖はベース隣接対の直後に位置し、連鎖を終わらせずさらに伸ばしていることが見られる。後方連鎖は隣接対の後に位置し、直前の SPP について、さらなる応答を要請するものであることが分かる。

次の<例 24>は韓国ドラマ『미생：ミセン』とそれをリメイクした日本ドラマ『HOPE－期待ゼロ新入社員－』の類似した場面の中で後方連鎖が見られる発話場面である。

<例 24>

[K6-5]

1 장그래: 저기...

2 안영아: 네?

3 장그래: 전화 줘...

4 안영아: 네?

[J6-5]

1 一ノ瀬: すいません。来てください。

2 香月: 何?

3 一ノ瀬: ちょっとこっちへ。

4 香月: 何なんですか?

5 장그래: 전화가 왔는데 제가 못 알아들어서요.

6 안영이: 저도 영업 3 팀의 일은 잘 몰라요.
다른 분께 말씀하세요.

7 장그래: 저기... 부탁해요.
(러시아 거래처에서 온 전화를 받은 안영이는 장그래에게)

8 안영이: 오시면 전해드리세요.

9 장그래: 저... 감사합니다.
(장그래는 영업 3 팀에 걸려온 전화를 받는다)

10 장그래: 감사합니다. 영업 3 팀입니다.
저스트 모먼트 플리즈.
(장그래는 안영이를 찾아가 영업 3 팀에 걸려온 외국거래처 전화를 부탁한다)

(*ここから後方連鎖が始まる)

11 장그래: 죄송합니다. 이번엔 영어... (Post -FPP)
(すみません、今度は英語...)

12 안영이: 장그래씨. 이젠 그만하시죠.
제 업무도 바쁘고요. (Post -SPP)
(ジャン・グレさん。もうやめてください。
私の業務も忙しいですし。)

13 장그래: 죄송합니다. (Post -FPP)
(すみません。)

14 안영이: 전화가 오면요. 그...전부 외근중이라고 하고
이름하고 연락처만 받아주세요.
(Post -SPP)
(連絡がきたら、その...全部外勤中だと言って
お名前と連絡先だけメモしてください。)

15 장그래: 그렇게만... (Post -FPP)
(それだけ...)

16 안영이: 네. 그렇게만 해도 되요. (Post -SPP)
(はい、それでいいです。)

17 장그래: 외국에서 온 전화는... (Post -FPP)
(外国からの連絡は...)

5 一ノ瀬:電話が英語で何言ってるのか分かんないんです。

6 香月:は?

7 一ノ瀬:あっ、お願いします。
(一ノ瀬は香月あかねに電話を渡す)
(電話を終わった香月あかねが一ノ瀬に)

8 香月:現地のスタッフからでした。

9 一ノ瀬:ありがとうございます。
(電話の呼び出し音)

10 一ノ瀬:はい。与一物産です。
(*ここから後方連鎖が始まる)
あっ あの...電話お願いします。(Post -FPP)

11 香月:ハア...私も忙しいんだけど。(Post -SPP)

12 一ノ瀬:お願いします。(Post -SCT)

18 안영이: <u>외국에서 온 전화는… 끊어요.</u> (Post -SPP)	
	(外国からきた連絡は…切ります。)
19 장그래: <u>끊어요?</u> (Post -FPP)	
	(切りますか?)
20 안영이: <u>네. 그냥 끊어요.</u> (Post -SCT)	
	(はい、そのまま切ります。)

<例 24> は、韓国：ジャン・グレ(장그래)/日本：一ノ瀬が韓国：アン・ヨンイ(안영이)/日本：香月に外国の取引先の電話に出てくれと頼む場面である。

韓国ではジャン・グレ(장그래)がアン・ヨンイ(안영이)に話しかけ(1 と 3 行目)、アン・ヨンイ(안영이)はジャン・グレ(장그래)に応答している(2 と 4 行目)。続いてジャン・グレ(장그래)はアン・ヨンイ(안영이)に自分が外国語が聞き取れないと言い(5 行目)、それに対しアン・ヨンイ(안영이)は断固として拒絶している(6 行目)。しかしながら、ジャン・グレ(장그래)の続け様の依頼にアン・ヨンイ(안영이)は応じ、二人の会話はいったん終わりかけるものの、実際にはさらに続いている。11 行目「죄송합니다. 이번엔 영어… (すみません。今度は英語…)」でジャン・グレ(장그래)は他の外国の取引先の電話に出てくれるようアン・ヨンイ(안영이)に依頼し、会話の連鎖がさらに後方に拡張されている(11~20 行目)。

それに対して日本の場合、一ノ瀬が香月に話しかけ(1 行目)、香月は問い返し(2 行目)し、二人は順序通りに話が進んでいる(3~9 行目)。一ノ瀬の頼みに香月が応じて二人の会話がいったん終わるはずだったものの、10 行目で一ノ瀬が香月に「あっ あの…電話お願いします。」と言って会話の連鎖が後方に拡張されている。つまり、日韓の一ノ瀬/ジャン・グレ(장그래)が香月/アン・ヨンイ(안영이)に外国の取引先の電話に出てくれと頼むことで連鎖が後方に拡張されるという点は同じである。

5.4 まとめ

本章は日韓リメイク映画とドラマにおける、その類似した場面の中で連鎖組織(前置き連鎖、挿入連鎖、後方連鎖)の様相について考察を行い、次のような結果を明らかにした。

(1) 日本映画を原作としそれをリメイクした韓国映画の前置き連鎖の場合、ほぼ同じように用いられている。

彼女の家に母親の手紙を配達する郵便屋さんと話合う場面は日本の場合、1～4行目で2つの前置き連鎖を用いているのが確認される。始めの部分が郵便さんの呼びかけでその後、彼女の応答と挨拶、続いて郵便さんは彼女に天気の状態について説明を付け加えてその後ベース隣接対が進んでいる。

韓国の場合、1～2行目で1つの前置き連鎖を行っている。郵便さんの呼びかけと彼女の応答と挨拶表現が使われている。日韓の前置き連鎖はベース隣接対に進むように促すものとして役に立っている。

次に、韓国映画を原作としそれをリメイクした日本映画の前置き組織はベース隣接対に進むことを促すために用いられている。

말순(マルスン)/カツ가박씨(パクさん)/次郎に桃/リンゴを渡しながらか옥자/みどりさんについて聞いてみる場面では、韓国の場合、1～2行目で1つの前置き連鎖を行っている反面、日本は1～4行目で2つの前置き連鎖を用いているのが確認され、韓日とも何か本題となる連鎖の前に準備発話として生み出されていることが見られた。

日本/韓国ドラマを原作としそれをリメイクした韓国/日本ドラマの前置き連鎖は、日本ドラマが原作の場合、部長が彼女に契約の延長/正社員として採用したいと打診する場面では、日本は1つの前置き連鎖を行っている反面、韓国は2つの前置き連鎖を用いていることが確認される。日韓の前置き連鎖はほぼ同じで、部長が彼女に打診するために用いられていると見られる。また日韓のベース隣接対では部長の提案に対して彼女が拒絶しながら話し流れが同様に進んでいた。韓国ドラマが原作の場合、ジャン・ベッキ(장백기)/桐明が大学の先輩に物を売りに訪ねている場面では、韓日の前置き連鎖はほぼ同じで後輩が先輩の会社に物を売るために用いられていることが分かる。このように、前置き連鎖は何か本題となるベース隣接対に進むように促すものとして役割を果たし、また、ベース隣接対に進むように発話の準備段階として作り出されているのが確認された。

(2) 日本映画を原作としそれをリメイクした韓国映画の挿入連鎖の場合、ほぼ同じように用

いられている。母親が息子に最後の挨拶をし父親のことを頼む場面で使われている。日韓は同じ意味の表現を持ち、母親は去る前に息子の誤解を解こうとして挿入連鎖をしている。日韓の挿入連鎖では、息子と母親の心をお互いに確認して結び付く形で隣接対が用いられている。

次に、韓国映画を原作としそれをリメイクした日本映画の挿入組織は、ベース隣接対の後で挿入されることによって連鎖を拡張している。나미(ナミ)/奈美が病院で偶然に高校の友達(춘화:チュンハ/芹香)の病室に立ちよって話し合う場面の韓日の挿入連鎖を見ると、韓国のナミは友だちチュンハに自分の人生を振り返るきっかけをくれたチュンハに直接に感謝の気持ちを現しているが、日本の奈美は芹香に高校時代に取り戻るきっかけの時間をくれる芹香に間接的に心を伝えている。また、韓国のチュンハはナミの話に対して再び問い返しを現し自分の人生について言及することは特にないが、日本の場合、芹香は奈美の意図を確認しながら、二人会話が進んでいることが分かる。つまり、挿入連鎖はベース連鎖の間に差し挟まれるため、会話を遅延し延長するという働き待つと考えられる。

日本/韓国ドラマを原作としそれをリメイクした韓国/日本ドラマの挿入連鎖は、韓国ドラマが原作の場合、アン・ヨンイ(안영이)が一人で残業を終わって会社に戻るジャン・グレ(장그래)に呼びかけ、それに対してジャン・グレ(장그래)が応答しながらベース隣接対が続いている間、折よくアン・ヨンイ(안영이)の携帯にジャン・ベッキ(장백기)の連絡がきて、ジャン・グレ(장그래)とジャン・ベッキ(장백기)の発話が挟まって挿入連鎖が進んでいる。日本の場合、香月が一人で残業を終わって会社に戻る一ノ瀬を見て話しかけることは同じであるが、一ノ瀬は応答せず、折よく香月の携帯に桐明の連絡がきて、香月が一ノ瀬に電話を代わって一ノ瀬と桐明の二人の発話が挟まって挿入連鎖が進んでいる。このように、挿入連鎖はベース隣接対の間に生じる別の発話の連鎖であることが分かる。また、プレゼンの日、社長/専務が営業3課の次長/課長との話の途中で新入社員に尋ねる場面でも、韓国の場合、社長がプレゼンの発表者である次長に質問し、それに対して次長が応答しながら進むベース隣接対の次に発話が挟まって挿入連鎖が進んでいる。日本の場合も韓国とほぼ同じである。専務が課長にこの事業を提案した人について質問し、課長が応答するというベース隣接対の後に専務が新入社員に尋ねる会話が挿入されることが確認された。

(3) 日本映画を原作としそれをリメイクした韓国映画の後方連鎖の場合、彼女が家を出た後、二人の友達が彼女について話し合う場面で見られる。日本の場合、まず、男の友達がその間、彼女を見て感じることに自分の意見を女の友達に述べている。二人が問い返しと応答しながら彼女の評価をする後方連鎖が続いている。それに対し、韓国の場合、黙って家を出た彼女に対して彼女の女友だちは彼女を非難するが、男の友達は彼女が家に出た行動を理解し自分の意見を述べながら会話が続いている。女の友達はこれに疑いを挟んで質問をし、男の友達はそれに応答することで後方連鎖が続いている。日本の方が会話を終わらせないように隣接対は最小限以上に後方に拡張されやすい。

次に、韓国映画を原作としそれをリメイクした日本映画の後方組織は、彼女が病院で偶然に高校の友達の病室に立ちよって話し合う場面で見られる。後方連鎖はベース隣接対の直後に位置し、SPPによって発話された連鎖を終わらせず、さらに引き伸ばしていた。友達が久しぶりに会う友人に死ぬ前にサニーのメンバーに会いたいと頼むことで連鎖が後方に拡張されるという点は同じである。後方連鎖によって基になる隣接対が拡張されていることが確認された。

日本ドラマが原作としそれをリメイクした韓国ドラマの後方連鎖の場合、東海林/ジャン・キュジク(장규직)が派遣会社のマネージャー(一ツ木/アン・ジョンチョル:안중철)に大前/ミス・キム(미스김)について尋ねる場面でも、彼女の連絡先と歳について問い、二人の連鎖が後方に拡張して進んでいるという点は同じであった。日韓の後方連鎖を見ると、日本の場合、東海林が派遣会社のマネージャー(一ツ木)に再び話しかけ、一ツ木が問い返し、大前の連絡先と歳について質問しながら、その後連鎖が拡張して進んでいる。これに対し、韓国の場合、ジャン・キュジクが派遣会社のマネージャー(アン・ジョンチョル)にミス・キムの連絡先とか歳、相手の評価することが続き、質問とか問い返しが頻繁に表れ、連鎖が拡張する傾向があることが分かる。韓国のジャン・キュジクが日本の東海林より絶えず彼女の個人情報を派遣会社のマネージャーに尋ねて連鎖が終わらずに続いていることが確認された。このように、後方連鎖は、ベース隣接対の直後に位置し、連鎖を終わらせずさらに伸ばしていることが見られた。

韓国ドラマが原作としそれをリメイクした日本ドラマの後方連鎖の場合、韓日のジャン・グレ(장그래)/一ノ瀬がアンヨンイ(안영이)/香月に外国の取引先の電話に出てくれと頼む場面で

も連鎖が後方に拡張されるという点はほぼ同じであった。韓日とも、ジャン・グレ/一ノ瀬がアン・ヨンイ/香月に話しかけて彼女が応答、ジャン・グレ/一ノ瀬の続け様の依頼にアン・ヨンイ/香月は応じ、二人の会話はいったん終わりかけるものの、実際にはさらに続いていることが確認された。このように、日韓の後方連鎖はベース隣接対の直後に位置し、連鎖を終わらせずさらに伸ばしていることが見られる。隣接対の後の位置で、直前のSPPについて、さらなる応答を要請するものであることが分かる。つまり、連鎖は会話を終わらせないように最小限以上に後方に拡張されやすいと確認された。

以上のことから、日韓の類似した場面で連鎖組織の拡張を比較した結果、日韓の前置き連鎖は主に「話しかけ/応答」と「呼びかけ/応答」を使って、ベース隣接対のFPPに先だって置かれ、ベースFPPに進むために行っていることが分かる。また、日韓の共通していない前置き連鎖は「説明/応答」があった。日本の場合、挨拶、天気の状態について説明を付け加えた後でベース隣接対が進むためのものがあった。

挿入連鎖は、日韓とも「話しかけ/応答」のように、相手とのベース隣接対を形成して、次の発話が挟まっていることが同じであるが、日韓の共通していない挿入連鎖があった。日本語の場合、「挨拶/応答」と「意思伝達/応答」のように、話者が相手に挨拶とか間接的に自分の気持ちを伝え、相手が話者の意図を確認しながら、会話のやりとりしている反面、韓国は「感謝/問い返し」、「意思伝達/問い返し」のように、話者の挨拶とか相手に直接的に気持ちを伝え、相手が話者に再び問い返しを現れていることが確認された。

後方連鎖は、相手に頼むことで連鎖が後方に拡張されるという点は日韓とも同じであるが、日韓の共通していない後方連鎖があった。日本の場合、「話しかけ/応答」、「問い返し/質問」のように、相手に対して再び尋ねている反面、韓国は「質問/質問」、「呼びかけ/応答」、「勧誘/問い返し」、「質問/不満」、「質問/問い返し」のように相手の歳とか連絡先、相手を評価することが続き、質問とか問い返しが頻繁に表れ、連鎖が拡張する傾向があることが分かる。

第6章 [視点4] それ以外に見られる日韓表現の比較

それ以外に見られる日韓の表現の差(例えば、相手との上下関係や歳の差による呼称、敬語など)を探る。どのような類似した場面に現れているのか、その実例を検討し、それ以外に見られる日韓の表現の違いを明らかにしたい。

6.1 日本映画を原作としそれをリメイクした韓国映画に見られる表現の違い

次の<例 25>と<例 26>は日本映画「今、会いにゆきます」とそれをリメイクした韓国映画「지금 만나러 갑니다」の中で気まずい雰囲気の日韓の男女の会話の連鎖による相違と「勧誘/受諾」の直接性・間接性の差が示されている場面である。

<例 25>

[J 1-5]	[K 1-5]
1 滯：秋穂君。 (呼びかけ) (滯は巧に近づく。そしてペンを渡す)	(수아는 볼펜을 건넨다) 1 우진: ...고마워 (感謝) (…ありがと。)
2 滯：はい。 (応答)	2 수아: 아니야 (応答) (ううん)
3 巧：ありがと。 (感謝)	3 우진: 더운데... 잘 가 (暑いのに…じゃあ。)
4 滯：ごめんなさい。大事なペンを (謝罪)	4 수아: 응, 안녕! (うん、じゃあ。)
5 巧：ううん いや…いいんだ。 ありがとう。 (感謝)	(가려는 수아를 부르는 우진) 5 우진: <u>야! 임수아! 목... 안 말라?</u> (おい! イム・スア! 喉…渴かない?) (直接的な勧誘)
6 巧：久しぶりだね。元気だった?	6 수아: 말라 (うん、渴く。)
7 滯：ええ。	
8 巧：は…そう。	
9 滯：あ じゃ…	
10 巧：じゃあ。 (巧は振り返って行く滯を呼び)	
11 巧： <u>あのう…コーヒーとか飲む時間ない?</u> (間接的な勧誘)	
12 滯：ある。	

<例25>は、大学生になって久しぶりに会う彼(日本：巧/韓国：ウジン우진)と彼女(日本：漣/韓国：スア수아)が気まずい雰囲気の中で会話をし、彼が彼女を初デートに誘ったりする場面である。

日本は彼女(漣)が彼(巧)に呼びかけ(1行目)で「はい」と言いながらペンを渡し(2行目)、彼(巧)が彼女(漣)に感謝(3行目)を言った後、彼女(漣)は彼(巧)に謝罪の応答(4行目)をして順序通りにやりとりしている。続いて彼(巧)は彼女(漣)に感謝を繰り返して(5行目)彼女と話を進めている。

それに対し、韓国は彼(ウジン：우진)は彼女(スア：수아)に呼びかけをしないし、ペンを渡すときも何も言わない。ただ感謝の表現(1行目)と彼女の応答(2行目)が述べられている。

以上の連鎖から考えると、日韓の発話のスタイルはかなり相違している。どちらも気まずい雰囲気であるが、日本の場合、連鎖が順序通りに進んでいる。それに対し、韓国の場合、要点だけが述べられている。また、日韓の彼が勇気を持って初めて彼女に初デートを誘う表現でも日韓の直接・間接的な温度の差が表れている。日本では「あのう…コーヒーとか飲む時間ない？」(11行目)という柔らかくて丁寧な勧誘表現であるが、韓国では「야! 이수아! 목... 안 말라?(おい! イム・スア! 喉…渴かない?)」(5行目)と単刀直入に言っている。

このように日本は久しぶりに会う気まずい人間関係においてお礼をもって丁寧に発話をする傾向が強い反面、韓国は気まずい人間関係において要点だけ言って挨拶や話しかけに応答しなくても許されると考えられる。このような違いは日韓の言語文化的な視点の違いから来るものと見られる。

<例 26>

[J1-6]

1 漣：秋穂君？ごめんなさい。

突然 迷惑だった？

大学やめたって聞いて。

2 巧：いろいろ計画があるんだ。

[K1-6]

1 수아: 잘 지냈어?

(元気だった?)

2 우진: 어

(うん。)

だから…もう会えないんだ。

3 滯：どうして？

4 巧：いつかまた会えるといいね。
同窓会とかでさ。
お互いに結婚してたりして
幸せになってもらいたいな。
榎田さんには。 (間接的な表現)

5 滯：私の…

6 巧：じゃあ。

3 수아: 좀 말랐네
(少し痩せてるね。)

4 우진: 아닌데
(違う。)

5 수아: 운동... 그만 뒀다며
(운동...야めたんでしょ)

6 우진: 어 나름 계획이 있어서
(それなりに計画があつて。)

7 수아: 무슨 일 있는 거야?
(何かあつたの?)

8 우진: 그런 거 없는데, 그냥 그렇게 됐어
(そういうのはないんだけど、ただそうなんだ。)

9 수아: 부탁이야 숨기지 말고
(お願いだから隠さないで)

10 우진: 숨기는 거 없어
그냥 이제... 니가 싫어졌어
(ただもう...君が嫌になつた。)

11 수아: 정말이지? 그냥 내가 싫어진거지?
너한테 무슨 일 있는 거 아니지?
(本当?ただ私が嫌になつたんだね?
君に何かあつたんじゃないよね?)

12 우진: 없어, 그런 거
(ない、そんなこと。)

13 수아: 다행이다
(よかつた。)

14 우진: 이제 우리 다시 보지 말자
(もう私たち、また会うのはやめよう。)
(直接的な表現)

<例 26>は、彼女が連絡もなく彼を訪れるが、彼が彼女に突然別れを告げる場面である。

日本の場合、彼女(滯)は突然連絡もなしに行方をくらませてしまう彼(巧)を心配し、訪れた理由「突然 迷惑だった? 大学やめたって聞いて。」という表現(1行目)が現れている。彼(巧)

が彼女(滯)にどうして会えないか具体的な話がない。ただ彼は彼女に遠回しに「いろいろ計画があるんだ。だから…もう会えないんだ。」という表現(2行目)を用いて話を進めている。

それに対し、韓国の場合、彼女(スア:수아)が突然連絡もなしに行方をくらませてしまう彼(ウジン:우진)を心配して彼を訪れているのは日本とほぼ同様である。しかし、彼女(スア:수아)は彼(ウジン:우진)を訪ねて気まずい雰囲気の中で話しかけ、彼の痩せた姿を見て心配し、話の流れをリードしている(1、3行目)。続いて彼女(スア:수아)が彼(ウジン:우진)を訪ねる理由「운동... 그만 됐다며 (運動…やめたんでしょ)」という表現(5行目)が使われている。彼女(スア:수아)の問いに対して彼(ウジン:우진)は彼女にどうして会えないかについて具体的な話がない。彼は彼女に向かって理由も言わずただ彼女に直接的に「그냥 이제... 니가 싫어졌어(ただもう…君が嫌になった。)」と言っている(10行目)。ただ本心ではないし理由もない。

さらに、別れを受け入れる日韓の彼女の様子に相違がある。日本の彼女は別れの受け入れについて曖昧模糊であるが、韓国の彼女は彼の本心を確認するとともに彼の健康を気づかっている。「무슨 일 있는 거야?(どうしたの?)」「부탁이야 숨기지 말고(お願いだから隠さないで)」「정말이지? 그냥 내가 싫어 진 거지? (本当?ただ私が嫌になったんだね?)」「너한테 무슨 일 있는 거 아니지? (君に何かあったんじゃないよね?)」と積極的に話の流れをリードして進めているのが見られる。

6.2 韓国映画を原作としそれをリメイクした日本映画に見られる表現の違い

本節では、それ以外に見られる韓日の類似した場面における呼称と、新しい学校の同級生が身に着けているものをほしがっている娘に対する母親の相違について述べる。

まず、以下の<例27>では韓国:말순/日本:カツの歳を知らずにバンドのメンバーが彼女の歳を尋ねるが、彼女の答えに対するバンドのメンバーの反応が韓日で異なっている。

<例 27>

[K 4-6]

(말순과 손자밴드는 거리공연으로 번 돈으로 고깃

[J 4-6]

(孫とメンバーはピザを食べる)

집에서 식사를 한다.)

1밴드멤버A: 두리씨는 나이가 어떻게 되세요?
(도우리さんはおいくつですか?)

2말순: 스... 스무살...
(二十歳...)

3밴드멤버A: 뭐야 그럼 우리보다 어리네.
(何だ、じゃあ、俺たちより若いね。)

4밴드멤버B: 난 또 씨... 초면부터 말 까길래
누난 줄 알았잖아.
(初対面からタメ口を使って
姉ちゃんと思った。)

5손자: 완전 애기네. 이거.
야, 핏덩어리! 오빠라고 해봐. 빨리!
(完全に赤ちゃんだね。これ。おい!
兄ちゃんって言ってみな。早く!)

6손자와 밴드멤버들: 오빠! 오빠! 오빠!
(兄ちゃん!兄ちゃん!兄ちゃん!)

7말순: 오... 오빠!
(兄...兄ちゃん!)

8손자와 밴드멤버들: 오빠! 오빠! 오빠, 오빠~
(兄ちゃん!兄ちゃん!兄ちゃん!)

1孫: 節子さんっていくつなの?
2カツ: え?二十歳?
3メンバA: 난다. 1個上じゃん.
4メンバB: やったら偉そうだから
もっと年上かと思った。
5カツ: バレたか。
6孫: え?
7カツ: そ、そう?マジで?
こりゃまた失礼しました。
8メンバA: 何それ?
9孫: せっちゃん、うける~!
10カツ: せっちゃん?
(孫とメンバーは拍手を打つ)
11孫とメンバー: せっちゃん!せっちゃん!
せっちゃん!せっちゃん!

<例27>は、初めての路上ライブを終えた後、韓国：말순(マルスン)/日本：カツと孫のバンドが食堂で말순(マルスン)/カツの年齢について聞く場面である。

韓国は孫のバンドメンバーが말순(マルスン)の歳について質問し(1行目)、말순(マルスン)は応答する(2行目)。バンドメンバーは말순(マルスン)が自分たちより年下で安心している(3と4行目)。孫とバンドメンバーは自分より年下の말순(マルスン)に「오빠!」と呼ぶのを強く求めている(5、6、8行目)。

それに対して日本は孫がカツに歳を問い(1行目)、自分たちより年上だが、1歳しか変わらないことに安心する(3と4行目)。続いてカツが思わず本心で応答して(5行目)、孫が問い返し(6行目)たので、カツは4行目に対する確認と謝りの表現をして、5行目の反応を誤魔化している(7

行目)。メンバーAはカツのギャグが分からず問いかけ(8行目)、孫はカツのギャグが気に入っている(9行目)。홍민표(2017)は呼称使用の主要な要因として年齢、家族、先輩と後輩関係などの人間関係があると述べている⁷。このように、韓国は相手の年齢を知って人間関係の上下を区別する傾向があると同時に親族名称を使うことで人間関係を維持している反面、日本は1歳ぐらゐの差は上下関係の区別に影響せず、気楽に彼女に愛称で呼びかけ、親密感を表していると考えられる。

次の<例28>は娘が新しい学校の同級生の身に着けているものをほしがっていることに対する母親の反応の相違が見られる場面である。

<例28>

[K 3-4]

(나미집. 나미가족은 저녁식사를 한다)

1 나미엄마: 어째 그리 말이 없을까?

우리 딸래미는?

아빠네 부장님이 특별히 거시기해가고.

이대 많이 간다는 학교로 어렵게

그거 했는디 친구들은 많이 사겼는가?

(どうして口数が少ないのかな。

うちの娘は？お父さんの部長が特別に

梨花女子大学にたくさん進学するという

高校に苦労してあれしたのに、

友だちはたくさんできた?)

2 나미: 아따 자꾸 말 시키지 말랑께요.

사투리 교정해야 썩게로.

(何度も話しかけないで。

方言矯正しないと。)

3 나미엄마: 너 사투리 하나도 안 써. 서울애 같다.

(お前、方言全然使わないよ。

[J 3-4]

(奈美の家。奈美の家族は食事する)

1 奈美の母：なへ～よ。急にお金お金ばゆうてや。

この子は？！

2 奈美の父：ちゃんと小遣いやりよんでーか。

3 奈美：ほやから足らんねん！

ねえ、ちょうだいや。

ルーズソックスとかカーディガンとか

買いたいよ。

ほんでなかったら学校で恥ずかしいでーかぁ。

4 奈美の母：寒いんか？

ほんならオカンのセーター貸したるわ。

5 奈美：ほんなんいらんわ！

6 奈美の父：なんじゃそれでええやないかい。

7 奈美の母：ええか奈美。震災で工場めげてやな。

オトンの知っとる人のツテでようやく

仕事見つかって

ここ借りんのがやっとや辛抱せえよ。

⁷ 홍민표(2017)「지인 호칭에 대한 한일 대조고찰」외국학 연구 제 40 집, 중앙대 외국학연구소, pp.103-122

ソウルっ子のような。))

4 나미: 아, 어머니.

서울 애기들은 다 스펙스 신는 담서.

우리 반 애기들은 다 나이키 아니면

프로스펙스만 신더라고.

아, 금께 바지도 죠다쉬...

(お母さん、ソウルの子たちは皆スペックスを

履いている。うちのクラスは皆ナイキとか

プロスペックスだけを履いているんだ。

あ、ズボンもジョーダシュ...)

8 奈美の父：ありがたいんやで感謝なんやで。

<例28>は、夕食中、韓国：나미(ナミ)/日本：奈美が転校した学校の同級生の身なりについて両親に話す場面である。

韓国は나미(ナミ)の母親が娘の転校した学校に関心を持ってナミに話しかける(1行目)。しかし나미(ナミ)は自分と比較して新しい学校の同級生の言い方とブランドの靴、服が気になって母親に言っている(2、4行目)。

それに対して日本は奈美が両親にお金をせがんでいる(3行目)。奈美の母親は娘がどうしてそういうのかを理解できない(1、4行目)。続いて母親は奈美に家族の経済状況を説明している(7行目)。奈美の父親は奈美の母親の発話を追認する表現を用いる(2、6、8行目)。

韓日の彼女は新しい学校の同級生が身に着けているものをほしがっているし、韓日の母親が父の知り合い人のおかげで、娘が転校できたことを話す流れはほぼ同じである。しかし、韓日の母親は娘の悩みに対する反応が違っている。韓国の母親はいい教育環境を備えた新しい学校に娘がなれたかどうかについて関心を持ち、重視している。それに対して日本の母親は娘の不満を理解せず、娘を説得するのに今の家庭状況でもままだと述べている。

6.3 日本/韓国ドラマを原作としそれをリメイクした韓国/日本ドラマに見られる表現の違い

本節ではそれ以外に見られる日本/韓国ドラマの類似した場面における初対面の挨拶についての相違について述べる。

まず、以下の<例29>は地方の営業所に異動発令を受けた彼の初挨拶に対する地方の職員の反応に日韓の表現の差が見られる場面である。

<例29>

[J 5-38]

1 東海林：本社の営業部からやって来た

私が東海林武です。どうぞよろしく。

まあ、私みたいな本社の人間がやって来て
君達もビビってるかもしれないけども

まあ、とりあえず仲良くやっていこう。

2 土屋：よろしく。

3 東海林：おう、よろしく。

(二人は握手している)

4 東海林：痛い…。

5 土屋：すいません。

本社の人間と喋るの初めてなんで
つい力入っちゃいました。

[K 5-38]

1 장규직: 장규직입니다.

(ジャン・キュジクです。)

오늘부터 제가 여기 물류운영팀 관리를
맡게 될 겁니다. 잘 부탁드립니다.

(今日から私がこちらの物流運営チーム
の管理を引き受けることになりました。
よろしくお願いします。)

2 물류직원 1: 잘 부탁해. 형씨.

딱 봐도 한참 동생뻘 될 것 같은데
말 놔도 되지?

(よろしく。兄さん。

見てもかなり年下みたいだけど。
タメ口で話してもいい?)

3 장규직: 형씨가 아니고 장규직 주임입니다.

(兄さんじゃなくて、ジャン・キュジク主任です。)

4 물류직원 2: 아이고 갑갑하다.

(ああ、焦ったい。)

5 물류직원 1: 그건 그렇고

뭐 아무튼 열심히 잘 해봐.

(さて、とにかく頑張ってみて。)

<例 29> は、地方の営業所に異動発令を受けた東海林/ジャン・キュジク(장규직)が職員に挨拶する場面である。

日本では東海林と職員土屋がお互いに挨拶し、握手している(1~3行目)。続いて職員土屋が東海林に何気なく手に力を入れて機先を制している(5行目)。

それに対して韓国の場合、ジャン・キュジク(장규직)が職員に挨拶し、職員はジャン・キュジク(장규직)が自分たちより年下だと確認して楽に応答している(1~2行目)。続いてジャン・キュジク(장규직)が丁寧に職員に「형씨가 아니고 장규직 주임입니다. (兄さんじゃなくて、ジャン・キュジク主任です。)」と 応答しているが、職員たちは地方の営業所の職位の上下関係に関わらず、ジャン・キュジク(장규직)を目下の者として応答している(5行目)。「~씨」は相手を高く待遇する呼称ではなく、相手と同等な関係を表す待遇機能と相手を低く待遇する機能を持っているとする(한원형 2015)⁸。また、韓国では知らない相手を呼ぶ時、親族名称がしばしば使われていると述べている。例えば、형님、형씨、이모、언니などと呼んでいる傾向があると指摘している(박경래 2005)⁹。

このように、韓国は会社の職位と上下関係より年齢が人間関係における位置をより強く規定する傾向がある反面、日本は会社の職位を承知しているが、相手との握手の仕方を通じて暗黙に自分の存在を知らせることが見られる。

次の<例 30>は会社の上司が初出勤したジャン・グレ(장그래)/一ノ瀬に履歴について尋ねる場面である。

<例30>

[K 6 -2]

1 김대리: 이름이...

(名前が...)

[J 6 -2]

1 一ノ瀬歩: あの今日からお世話になります。

一ノ瀬です。

⁸ 한원형(2015) 「韓日呼称接尾辞対照研究—~さん、~さまと ~씨、~님を中心に—」『アジア文化研究』嘉泉大学校アジア文化研究所 vol.37、pp.191-217

⁹ 박경래(2005) 「한국사회와 호칭어」 『사회언어학』 vol.13, 1、한국사회언어학회 pp.229-247

2 장그래: 장그래 입니다.
(ジャン・グレです。)

3 김대리: 빙그레할 때?
(にっこり笑う時?)

4 장그래: 아~ 그래 할 때.
(あ、そうだと言う時。)

5 김대리: 그 나이가...
(おいかつ...)

6 장그래: 26 살입니다.
(26歳です。)

7 김대리: 그니깐 고졸검정고시가 끝이던데?
(だから、高卒検定試験が終わり?)

8 장그래: 네...
(はい...)

9 김대리: 그 고등학교 그만 둔거야? 안 간거야?
뭐 어떻게 된 거야?
(高校辞めた?行ってない?
どういうこと?)

10 장그래: 안 갔습니다.
(行っていません。)

11 김대리: 왜? 직장생활 경험은?
영어 제 2 외국어 뭐 이런 거
할 줄 아는 거 뭐 있나?
(どうして?社会生活の経験は?
英語とか第2外国語なんか
できることある?)

12 장그래: 없습니다. 컴활 자격증 있습니다.
(ありません。パソコン資格があります。)

13 김대리: 컴퓨터 활용능력? 잘 했네. 끝?
(パソコン資格?そりゃ、よかった。
それだけ?)

14 장그래: 네. (はい。)

15 김대리: 네? 네? 알았어요.

(安芸主任は一ノ瀬の姿を見て)

2 安芸主任: ああ、ごめん。渋いスーツだな~。
えっ、今のはやりか?

3 一ノ瀬: あっ、いや。これは...

4 安芸主任: あっ、主任の安芸公介だ。よろしくな。

5 一ノ瀬: よろしくお願ひします。

6 安芸主任: あの早速なんだけど、
これコピー取ってきてくれる?

7 一ノ瀬: あっ、はい。

8 安芸主任: トラブル対応中で
今手が離せないんだよ。

나 영업 3 팀 대리 김동식이야. 대리!
내려와요. 아 근데 26 개 먹었다는데
도대체 뭘 하고 살았길래
할 줄 아는 게 하나도 없네.
아주 요즘 보기드문 청년이네.
내려와요.

(え?え?了解。

私、営業3チームキム・ドンシク代理だ。

代理!降りてきてください。

あ、でも26歳になるまでに、

いったい何をして暮らしてたんだ。

できることが一つもないね。

最近、珍しい青年だ。

降りてきてください。)

<例 30>は、韓国：キム代理(김대리)/日本：安芸主任が初出勤したジャン・グレ(장그래)/一ノ瀬に履歴について尋ねる場面である。韓国ではキム代理(김대리)がジャン・グレ(장그래)を呼んで名前の意味を問い(1~4行目)、歳(5~6行目)、最終の学歴(7~10行目)、他の仕事の経験と外国語の能力有無と他の資格について質問している(11~14行目)。続いてキム代理(김대리)は自分の職位と自己紹介をし、ジャン・グレ(장그래)について皮肉を言っている(15行目)。

それに反して日本では安芸主任は一ノ瀬のスーツを見て「渋いスーツだな～。えっ、今のはやりか?」と皮肉を言っている(2行目)が、その後一ノ瀬と安芸主任がお互い挨拶している(4~5行目)。続いて安芸主任は一ノ瀬に仕事を依頼し(6行目)、それについて一ノ瀬は応答している(7行目)。安芸主任は初出勤する一ノ瀬との挨拶後、仕事をさせることにすまなさをもって説明をしている(8行目)。日本人は相手との共感的な会話をする傾向があるが、これに対し、韓国人は時として一方的で相手への質問など続ける傾向が見えると述べている(任榮哲 2005)¹⁰。このように日韓の新入社員に対応する様相が対照的である。韓国は新入社員の履歴についてた

¹⁰ 任榮哲(2005)「韓国語における配慮表現－日本語と比較して－」『社会言語学』vol.13.1 pp.229-247

めらわずに尋ねる反面、日本は相手の履歴について問わず、すぐに働かせるのが見られる。

6.4 まとめ

本章は日韓リメイク映画とドラマにおけるその類似した場面でそれ以外に見られる日韓の表現の様相(例えば、相手との上下関係や歳の違いによる呼称、敬語など)について考察を行い、次のような結果が明らかになった。

(1) 日本映画を原作としそれをリメイクした韓国映画におけるそれ以外に見られる日韓表現において、日本は久しぶりに会う気まずい男女関係においてお礼をもって丁寧に発話をする傾向が強い反面、韓国は気まずい男女関係において要点だけ言って挨拶や話しかけに応答しなくても許されるという認識があると見られる。また、別れを受け入れる日韓の彼女の様子に相違がある。日本の彼女は別れを受け入れについて黙々と曖昧な感情を見せるが、韓国の彼女は気まずい雰囲気の中で先に彼に話しかけ、彼の痩せた姿を見て心配し、話の流れをリードしている。さらに、彼の本心を確認するとともに積極的に話し流れをリードして進めている。このように別れを受け入れる日韓の彼女の反応と表現に確かに違いがあることが確認される。

(2) 韓国映画を原作としそれをリメイクした日本映画におけるそれ以外に見られる韓日表現では、呼称と新しい学校の同級生が身に着けているものをほしがっている娘に対する母親の相違にあった。韓国は相手の年齢を知って人間関係の上下を区別する傾向があると同時に親族名称を使うことで人間関係を維持しているが、日本は1歳ぐらいの差は上下関係の区別に影響せず、気楽に彼女に愛称で呼びかけ、親密感を表している傾向が見られる。また、韓日の母親は娘の悩みに対する反応が違っている。韓国の母親はいい教育環境を備えた新しい学校に娘がなれたかどうかについて関心を持ち、重視している反面、日本の母親は娘の不満を理解せず、娘を説得するのに今の家庭状況でもまだと述べていることが分かる。

(3) 日本/韓国ドラマを原作としそれをリメイクした韓国/日本ドラマにおけるそれ以外に見られる日韓表現において差が確かにあった。まず、地方の営業所に異動発令を受けた彼の初挨拶に対する地方の職員の反応を比較して見ると、韓国は会社の職位と上下関係より年齢が人間関係における位置をより強く規定する傾向がある反面、日本は会社の職位を承知しているが、

相手との握手のしかたを通じて何気なく手に力を入れて機先を制していることが見られる。次に、会社の上司が初出勤した新入社員に履歴について尋ねる日韓の表現が対比される。韓国は新入社員の履歴についてためらわずに尋ねる反面、日本は相手の履歴について問わず、すぐに働かせるのが見られた。

以上のことから、日韓の類似した場面でそれ以外に見られる表現を比較した結果、韓国が日本より相手との年齢を重視し、人間関係の上下関係を区別する傾向があった。韓国は先に、相手の歳を確認し、自分の位置が目上か目下かによって、上下関係の秩序を定めて人間関係を始めようとするのが確認された。それに対し、日本は相手との年齢の差が人間関係を維持し、上下関係の区別に大きな影響に及ばさないことが分かる。相手の職位を承知しているが、相手との握手のしかたを通じて何気なく手に力を入れて機先を制していることがあるし、相手との1歳の違いは気楽に受け入れ、愛称で呼びかけ、親密感を表している傾向があった。また、久しぶりに会う気まずい男女関係において日韓の表現の違いがあった。日本は相手のお礼をもって丁寧に話しかけているが、韓国は要点だけ言い、挨拶とか話しかけに応答しないことが分かる。別れを受け入れる彼女の様子にも相違がある。日本は別れの受け入れについて黙々と曖昧な感情を見せるし、応答も確かにしない。それに対し、韓国は別れの受け入れについて彼女は再び別れを確認し、はっきり応答して話の流れもリードしていることが分かる。

第7章 分析結果

7.1 本研究のまとめ

本研究では、日韓リメイク映画とドラマにおける類似した場面の中で現れる会話構造（隣接対、好まれる応答形式と好まれない応答形式、連鎖組織、それ以外に見られる表現）を比較分析し、両会話に見られる相違を探ることを目指し、そこから日韓の言語文化的な視点の差を特徴付ける上で、どのようなことが導き出されるのかを明らかにしようとした。

3章から6章にかけて比較分析し考察した結果をまとめる。

7.1.1 [視点1] 隣接対の違い

第3章では日韓の類似した場面に現れた日本語と韓国語の隣接対について考察したが、本節では、その全体的な出現回数と各頻度の比較を通じて、日韓の隣接対の差異、その実例に現れている表現についての検討も行い、一括してまとめる。

次の表5は全ての日韓の隣接対に占める各隣接対の出現回数と頻度である。

表5 日本語と韓国語「隣接対」の全体的な出現回数と各頻度(割合)

区分	日本語		区分	韓国語	
順位	隣接対	頻度(%)	順位	隣接対	頻度(%)
1	質問/応答	343(21.5)	1	質問/応答	300(21.2)
2	意思伝達/応答	105(6.6)	2	意思伝達/応答	86(6.1)
3	説明/応答	81(5.1)	3	問い返し/応答	79(5.6)
4	問い返し/応答	79(4.9)	4	説明/応答	60(4.2)
5	呼びかけ/応答	74(4.6)	5	話しかけ/応答	58(4.1)
6	挨拶/応答	49(3.1)	6	呼びかけ/応答	56(4.0)
7	謝罪/応答	44(2.8)	7	挨拶/応答	44(3.1)
8	提案/受諾・拒絶	35(2.2)	8	勧誘/受諾・拒絶	44(3.1)
9	警告/応答	28(1.8)	9	質問/問い返し	26(1.8)
10	意思伝達/問い返し	18(1.1)	10	応答/なし	24(1.7)

11	応答/なし	17(1.06)	11	不満/応答	10(0.7)
12	話しかけ/応答	16(1.0)	12	反問/応答	10(0.7)
13	勧誘/受諾・拒絶	10(0.6)	13	提案/受諾・拒絶	8(0.6)
14	質問/問い返し	10(0.6)	14	警告/応答	8(0.6)
15	応答/問い返し	10(0.6)	15	謝罪/応答	7(0.5)
16	激励/応答	4(0.3)	16	問い返し/質問	6(0.4)
	小計	923(57.8)		小計	826(58.4)
	それ以外	675(42.2)		それ以外	588(41.6)
	総会計	1598(100)		総会計	1414(100)

日韓の隣接対に占める各隣接対の出現回数を比較して見ると、日本語は全体 1598 個のうち、「質問/応答」が 343(21.5%)で一番多く占めている。次に「意思伝達/応答」が 105(6.6%)、「説明/応答」が 81(5.1%)、「問い返し/応答」が 79(4.9%)、「呼びかけ/応答」が 74(4.6%)、「挨拶/応答」が 49(3.1%)の順となっている。それに対し、韓国語は全体 1414 個のうち、「質問/応答」が 300(21.2%)で一番多い、続いて「意思伝達/応答」が 86(6.1%)、「問い返し/応答」が 79(5.6%)、「説明/応答」が 60(4.2%)、「話しかけ/応答」が 58(4.1%)の順で占めている。

日本語と韓国語の隣接対の 1 位と 2 位は、日韓ともに「質問/応答」と「意思伝達/応答」であった。続いて「説明/応答」と「問い返し/応答」が 3 位と 4 位であった。1 位から 4 位は日韓間に類似した傾向が見られる。しかし、5 位から日本語と韓国語の隣接対の種類の相違が目立つ。日本語の場合、「呼びかけ/応答」が 74(4.6%)、「挨拶/応答」が 49(3.1%)、「謝罪/応答」が 44(2.8%)、「提案/受諾・拒絶」が 35(2.2%)、「警告/応答」が 28(1.8%)の順になっているが、それに対し、韓国語の場合、「話しかけ/応答」が 58(4.1%)、「呼びかけ/応答」が 56(4.0%)、「挨拶/応答」と「勧誘/受諾・拒絶」が 44(3.1%)、「質問/問い返し」が 26(1.8%)で、これらのうちで日本語で上位に現れているものが韓国語では下位に、日本語で下位に現れているものが韓国語では上位に現れている。このように、日韓の類似した場面における隣接対の相違点として日本語と韓国語の隣接対の種類の頻度には一部偏りがあることが分かる。

日韓の隣接対の差異を見ると、まず、日本語の隣接対であまり現れず韓国語にしばしば現れている隣接対では、「不満/応答」と「反問/応答」が 10(0.7%)、「問い返し/質問」が 6(0.4%)

である反面、韓国語の隣接対であり現れず日本語にしばしば現れている隣接対は、「意思伝達/問い返し」が18(1.1%)、「応答/問い返し」が10(0.6%)、「激励/応答」が4(0.3%)である。

韓国語の隣接対に見られる「不満/応答」と「反問/応答」は相手の話に対して直接的に感情を投げつけるような表現が頻繁に使われている。例えば、韓国映画『리틀 포레스트: 리틀·フォレスト』の[K2-5] 場面の中でウンスク(은숙)がヘウォン(혜원)に会社の上司について文句を言う場面で使われている。また、「問い返し/質問」は話し手の問い返しに対してまた意図を把握するために再び質問をする傾向がある。韓国ドラマ『직장의 신: 職場の神』の[K5-10] 場面の中でム・ジョンハン(무정한)がミス・キム(미스김)にジャン・キュジク(장규직)との対決にわざと負けた理由を聞いてみる場面¹¹で使われている。

それに対し、日本語は「意思伝達/問い返し」、「応答/問い返し」、「激励/応答」がよく現れている。「意思伝達/問い返し」は相手の反応や意向を見ながら、自分の意見を慎重に述べていることが分かる。また、「応答/問い返し」は相手についてもう一度意図を確認するために問い返し表現が用いられている。日本ドラマ『HOPE: 期待ゼロの新入社員』の[J6-54] 場面の中で桐明が一ノ瀬に織田課長が新しい事業をしようとする理由を話す場面で使われている。

「激励/応答」は相手について励まし、応援する表現が用いられている。日本ドラマ『派遣の品格』の場面の中で[J5-33] 派遣のマネージャーが美雪に契約を打ち切ることについて話す場面と[J5-40] 大前の最後の勤務の日、美雪が退勤する大前に感謝の気持ちを伝える場面で使われている。日本人は相手と視点を共有しながら話をやりとりしている(熊谷 2011)¹²。

このように、日本語が相手との相互関係を中心に共感的な表現を用いているのが見られる。このような結果が日本語と韓国語の会話構造に一般的に適用されると言い切ることにはできないが、少なくとも資料からは日韓リメイク映画とドラマの類似した場面に現れる日韓の隣接対の種類の違いが浮き彫りになり、それが日韓の言語文化的な視点から表現の相違と考えられる。

¹¹ 日韓リメイク映画とドラマにおける場面は付録にある。

¹² 熊谷高幸(2011)『日本語は映像的である』新曜社、東京 pp.129-130

7.1.2 [視点2] 好まれる応答形式と好まれない応答形式に見られる違い

第4章では日韓の類似した場面に表れている好まれる応答形式と好まれない応答形式を比較し、その実例に現れている表現について考察したが、本節では、日本語と韓国語の好まれる応答形式と好まれない応答形式の実例を通じて確認された結果を一括してまとめる。

第1部分に対しては第2部分として好まれる応答形式(+)と好まれない応答形式(-)が存在している。まず、日本語と韓国語の好まれる応答形式と好まれない応答形式を比較して見ると、日本語が韓国語より好まれる応答形式を用いていると見られる。それに対し、韓国語は好まれない応答形式が使われていることが確認される。日韓の応答形式の相違は、以下の通りである。

日本語の場合、1) 友たちが会社の上司について不満を言う場面で好まれる応答形式を見ると、相手の気持ちを十分に理解し、共感的、協調的に、相手の体面を傷つけないようにデザインをしていると思われる。2) 娘が学校に行く準備をしながら母親と話し合う場面では客観的かつ簡潔で、それだけで十分とみなされる。また、友だちと親しい関係を結ぼうとする場面で、相手の評価に対する好まれる応答形式を見ると、相手の長所を浮き彫りにして自分の感情をアピールし、できるだけ、相手との相互友好関係を結ぼうとしていると見られる。

3) 会社の上司が使った、派遣社員の評価に対する好まれない応答形式を見ると説明が長めになり相手を皮肉っている。4) 会社の部長が使った、部下職員の提案に対する好まれる応答形式を見ると、相手を心配し、他の提案について助言していることが確認される。

それに対し、韓国語の場合、1) 相手の不満に対する好まれない応答形式は相手の立場を理解せず、率直に自分の意見を述べ、相手の欠点を暴露している。2) 相手の評価に対する好まれない応答形式は説明が長めになり自分の本音を濡らしている。3) 相手の評価に対する好まれる応答形式は日本語と同じで友達の容貌を褒めて相手と仲良くしたいと自分の本音を見せている。4) 相手の提案に対する好まれない応答形式は直線的、非同意的に現れ、相手の体面を傷つけ、摩擦を起こす発言をしている。

このように、日韓の類似した場面における好まれる応答形式と好まれない応答形式が確か

に違いがあることが分かる。池上・守也(2009)は自分と相手に関係づけ、絶えずやりとりをしながら共同性を築こうとしようとするのが日本語的な配慮の特徴と言う¹³。このことは、日本語が韓国語より相手とのいい人間関係を維持するための好まれる応答形式を用いられることが分かる。

次の表 6 は日本語と韓国語の好まれる応答形式と好まれない応答形式の比較をまとめて示したものである。

表 6 日本語と韓国語「好まれる応答形式と好まれない応答形式」の比較

応答形式	日本語	韓国語
1) 不満/応答 (+/-)	[J2-5] いち子：薪ぶっ叩いて気晴らししたかったんだね。キッコでも春は情緒不安定なんだねえ。	[K2-5] 혜원: 정 그러면 그만 두던가. 스트레스 받아 죽을 것 같으면은 그만 두는 게 낫지. (本当にそうなら、やめて。ストレスで死にそうだったらやめたほうがいいよ。)
2) 評価/応答 (+/-)	[J2-4] いち子：バス来ちゃうから行くよー。	[K2-4] 혜원: 아, 엄마 나 늦었어. 진짜 서울 가면 내가 버스정류장 코 앞에 있는 집으로 얻을거야! 하긴 서울은 여기만큼 안 춥겠지? 나 갔다 올게. (あ、お母さん 私、遅れる。本当にソウルに行ったら、バス停と鼻の先にある家を借りるからね！で、ソウルはここほど寒くないよね？行ってくる。)
評価/応答 (+/+)	[J3-13] 奈美：だとしてもあたしは奈々が好き！ こっちにきて色々ビックリしたけど一番驚いたのは奈々だよ。信っじられないほどきれいでカッコよくてクールっていうんでしょ？ね、クールっていうんで	[K3-13] 나미: 니 이쁘잖아. 나 솔직히 너 처음 봤을 때 충격 먹었다. 나 전에 학교에서 젤루 이뻐거든. 근데 서울 오니까 다이쁜거야. 근데 너는 그 애들 중에서도 너무 이뻐가지고...내가 니를 열매나

¹³ 池上嘉彦・守屋三千代(2009) 『自然な日本語を教えるために』 ひつじ書房 pp.168-169

	<p>しょ?! 奈々に比べたらさ、あたしなんか全然ブスじゃん。だからあたしは奈々のことが大好きなの。</p>	<p>좋아하는디. 니가 세상에서 젤루 이쁘디 (あんた、きれいじゃん。私は正直、あなたを初めて見た時、衝撃的だった。私前学校で一番きれいだったよ。でも、ソウルに来たら皆きれいだった。でも、あなたはその子たちの中でもすごきれいで。私はあなたを本当に好きなんだ。あなたが世界で一番きれいな。)</p>
<p>3) 評価/応答 (-/-)</p>	<p>[J5-7] 東海林：んなわけないだろ。ほ～バックレるんだ。なんかあれかな俺たちなんか見ちゃいけないものでも見ちゃったのかな? 別にいいんじゃないの? あんた正社員じゃないんだからどんな夜のバイトをしようが勝手だし。あんたスカートめくり上げてこうやって踊ってたじゃない。オレ～!</p>	<p>[K5-7] 장규직: 그레 발을 아주 깨끗이 닦고 주무셨어야겠지~ 그렇게 발바닥에 불이 나게 이리저리 요리요리 흔들어 대셨는데 안 그렇겠어? 이렇게 보니깐 뭐가 느껴지시나보지? (そう。足をきれいに洗って寝なきゃね。あんなに足の裏から火が出るようにあちこちと揺り動かしたのに、そうじゃない? こうやって見ると、何が感じてみたいだね?)</p>
<p>4) 提案/応答 (+/-)</p>	<p>[J6-42] 部長：他に企画がないならバイオマスを考えてみたらどうだ?</p>	<p>[K6-42] 마부장: 그레! 그거 말이야. 누가 떡 먹다가 목에 딱 걸려 죽었는데 옆에 니가 있다가 흘랑 주워 먹는거야! 그걸 주워서 쳐 먹어야겠니~ 어? (そう! それな。誰かが餅を食べていて、喉に引っかかって死んだんだけど、そばにお前がいて拾って食べるんだ! それを拾って食べなきゃならないのか～え?)</p>

7.1.3 [視点3] 連鎖組織の違い

第5章では日韓の類似した場面に現れる連鎖組織を比較し、その実例に現れている表現について考察したが、本節では、その連鎖組織の全体的な出現回数の比較を通じて、日韓の連鎖組織の差異についての検討も行い、一括してまとめる。前置き連鎖、挿入連鎖、後方連鎖に現れた隣接対を全て数えた。個々の作品で前置き連鎖などがいくつの隣接対でできているのかは考察していない。

次の表7は日本語と韓国語の連鎖組織の拡張の比較である。

表7 日本語と韓国語「連鎖組織の拡張」の比較

前置き連鎖		挿入連鎖		後方連鎖	
日本語	韓国語	日本語	韓国語	日本語	韓国語
話しかけ/応答(5)	話しかけ/応答(10)	話しかけ/応答(5)	話しかけ/応答(6)	質問/応答(9)	質問/応答(8)
呼びかけ/応答(4)	呼びかけ/応答(2)	呼びかけ/応答(2)	質問/応答(2)	不満/応答(2)	不満/応答(1)
挨拶/応答(3)	挨拶/応答(1)	質問/応答(2)	説明/応答(2)	問い返し/応答(2)	問い返し/応答(1)
説明/応答(1) ¹⁴		質問/問い返し(2)	呼びかけ/応答(1)	依頼/拒絶(1)	依頼/拒絶(1)
		説明/応答(1)	質問/問い返し(1)	警告/問い返し(1)	警告/問い返し(1)
		謝罪/問い返し(1)	謝罪/問い返し(1)	話しかけ/応答(1)	質問/質問(1)
		挨拶/応答(1)	感謝/問い返し(1)	問い返し/質問(1)	呼びかけ/応答(1)
		意思伝達/応答(1)	意思伝達/問い返し(1)		勧誘/問い返し(1)
					質問/不満(1)
					質問/問い返し(1)

¹⁴ は日韓の連鎖組織に共通していないものを印す。

まず、日韓の類似した場面において現れている連鎖組織の拡張(前置き連鎖、挿入連鎖、後方連鎖)を比べると、前置き連鎖は日本の場合、「話しかけ/応答」が5回で一番多く現れており、次に「呼びかけ/応答」4回、「挨拶/応答」3回、「説明/応答」1回の順で用いられている。それに対し、韓国は日本と同じく「話しかけ/応答」が10回で一番多く、「呼びかけ/応答」2回、「挨拶/応答」1回の順になっている。日韓の前置き連鎖は主に「話しかけ/応答」と「呼びかけ/応答」を使って、ベース隣接対のFPPに先だって置かれ、ベースFPPに進むために行っていることが分かる。また、日韓の共通していない前置き連鎖は「説明/応答」がある。日本の場合、「挨拶/応答」表現、相手に対する「呼びかけ」や相手が好きなものを渡しての「話しかけ」や、天気の状態、相手に感謝の気持ちを伝えたり「説明」を付け加えた後などでベース隣接対が進んでいることが分かる。それに対し、韓国の場合、ベース隣接対を始める前に、相手に「挨拶」や「呼びかけ」をし、相手に感謝の気持ちを伝えたり話しかけた後、話しを進行していることが確認された。韓国語は相手に話しかけ、別の説明を付け加えず、すぐベース隣接対に進んでいる傾向があった。

挿入連鎖は日本の場合、「話しかけ/応答」が5回、「呼びかけ/応答」と「質問/応答」と「質問/問い返し」が2回、「説明/応答」、「謝罪/問い返し」、「挨拶/応答」、「意思伝達/応答」が1回であった。それに対し、韓国の場合、「話しかけ/応答」が6回、「質問/応答」と「説明/応答」が2回、「呼びかけ/応答」と「質問/問い返し」、「謝罪/問い返し」、「感謝/問い返し」、「意思伝達/問い返し」が1回である。日韓とも「話しかけ/応答」が一番多く使われているのが同じようであるが、違いもあった。日韓の共通していない挿入連鎖を見ると、日本語は「挨拶/応答」と「意思伝達/応答」がある反面、韓国語は「感謝/問い返し」、「意思伝達/問い返し」が現れている。日韓の挿入連鎖は、相手とのベース隣接対を形成して、次の発話が挟まっていることが日本と韓国が同じであるが、その実例に現れている挿入連鎖の表現の違いがあった。日本語の場合、まず、話者が相手に挨拶とか間接的に自分の気持ちを伝え、相手が話者の意図を確認しながら、会話のやりとりをしている反面、韓国は話者の挨拶とか相手に直接的に気持ちを伝え、相手が話者に再び問い返しを現れていることが確認された。

後方連鎖は日本の場合、「質問/応答」が9回で一番多く現れており、続いて「不満/応答」と「問い返し/応答」が2回、「話しかけ/応答」と「依頼/拒絶」、「問い返し/質問」、「警告/問い返し」が1回になっている。それに対し、韓国の場合、日本と同じく「質問/応答」が8回で一番多く使われているが、1回表れている後方連鎖が9種類（「不満/応答」、「問い返し/応答」、「依頼/拒絶」、「警告/問い返し」、「質問/質問」、「呼びかけ/応答」、「勧誘/問い返し」、「質問/不満」、「質問/問い返し」）で様々な連鎖を使っているのが見られる。また、日韓の共通していない後方連鎖を見ると、日本語は「話しかけ/応答」、「問い返し/質問」があるのに対し、韓国語は「質問/質問」、「呼びかけ/応答」、「勧誘/問い返し」、「質問/不満」、「質問/問い返し」があった。日韓の後方連鎖は、相手に頼むことで連鎖が後方に拡張されるという点は日韓とも同じであるが、韓国語が日本語より相手の歳とか連絡先、相手进行评估することが続き、質問とか問い返しが頻繁に表れ、連鎖が拡張する傾向があることが分かる。日韓の後方連鎖はベース連鎖のSPPの後に開始され、さらに連鎖が続いていることがほぼ同じであった。

日本語と韓国語の連鎖組織に現れている表現の類似点と相違点の比較を通じて、基本的なまともりは同じようであるが、日韓の連鎖の違いが明らかになった。このように、日韓の連鎖組織の違いから、両語の会話構造の形式を比較することでその相違を明らかにできたという点で意義がある。

7.1.4 [視点4] それ以外に見られる表現の違い

第6章で日韓の類似した場面に現れているそれ以外に見られる表現の比較し、それ実際に現れている表現について考察したが、本節では、日本語と韓国語のそれ以外に見られる表現の実例を通じて確認された結果を一括してまとめる。

6つの特徴で日本語と韓国語の表現の相違を見ると、

1) 気まずい雰囲気の中での日本語と韓国語の勧誘表現の場合、日本語は久しぶりに会う気まずい男女関係においてお礼をもって丁寧に発話をする傾向が強い反面、韓国語は気まずい男女関係において要点だけ言って挨拶や話しかけに回答しなくても許されると認識があると見られる。

2) 別れを告げそれを受け入れる日韓の男女の様子を見ると、日本の彼は彼女を傷つけないように遠回しに別れを言い、彼女は別れの受け入れについて黙々と曖昧な感情を見せるが、韓国の彼は彼女を傷つけるのに構わず直接的に別れを告げ、彼女は彼の姿を見て心配している。さらに、彼の本心を確認するとともに積極的に話しの流れをリードしている。このように別れを告げそれを受け入れる日韓の男女の反応と表現が確かに違いがある。

3) 年齢と呼称に関する反応の違いを見ると、韓国語は相手の年齢を知って人間関係の上下を区別する傾向があると同時に親族名称「오빠：兄ちゃん」を使うことで人間関係を維持しているが、日本語は1歳ぐらいの差は上下関係の区別に影響せず、気楽に彼女に愛称で「せっちゃん」で呼びかけ、親密感を表している傾向が見られる。

4) 母親の新しい学校に転校した娘の悩み（新しい学校の同級生が身に着けているものをほしがっている）に対する表現と反応の違いを見ると、韓国の母親はいい教育環境を備えた新しい学校に娘がなれたかどうかについて関心を持ち、重視している反面、日本の母親は娘の不満を理解せず、娘を説得するのに今の家庭状況でもまじだと述べている。

5) 地方の営業所に異動発令を受けた上司の初挨拶に対する職員の反応と表現の違いを見ると、日本の場合、職員が上司の職位を承知しているが、上司との握手のしかたを通じて暗黙に自分の存在を知らせることが見られる。それに対し、韓国は会社の職位と上下関係より相手の年齢が人間関係の位置をより強く定める傾向があった。

6) 上司が初出勤した新入社員に対する表現の違いを見ると、韓国は新入社員の歳、学歴、履歴についてためらわずに尋ねる反面、日本は新入社員の履歴について問わず、ただ流行が遅れのスーツを着た新入社員の服装について言及している。このように、会社の上司が初出勤した新入社員に対する日韓の表現が対比されることが確認される。

以上のことをまとめると表8のようになる。

表8 それ以外に見られる日本語と韓国語の比較

特徴	日本語 (例)	韓国語 (例)
1) 気まずい雰囲気の中で 勧誘表現の違い	巧: あのうち…コーヒとか飲む時間ない? 滯: ある。	우진: 야! 임수아! 목... 안 말라? (おい! イム・スア! 喉…渴かない?) 수아: 말라. (渴く)
2) 別れを言う受けいれる 男女の表現の違い	巧: いろいろ計画があるんだ。 だから…もう会えないんだ。 滯: どうして? 巧: いつかまた会えるといいね。 同窓会とかでさ。お互いに結婚してたり して幸せになってもらいたいな。 榎田さんには。 滯: 私の… 巧: じゃあ。	우진: 숨기는 거 없어. 그냥 이제... 니가 싫어졌어 (ただもう… あなたが嫌になった。) 수아: 정말이지? 그냥 내가 싫어진거지? 너한테 무슨 일 있는 거 아니지? (本当?ただ私が嫌になったんだ ね?君に何かあったんじゃないよ ね?) 우진: 없어, 그런 거 (ない.そんなこと。) 수아: 다행이다 (よかった。) 우진: 이제 우리 다시 보지 말자 (もう私たち、また会うのはやめよ。)
3) 相手の歳を知り、 呼称と反応の違い	孫: 節子さんっていくつなの? カツ: え?二十歳? メンバA: なんだ。1個上じゃん。 メンバB: やったら偉そうだから もっと年上かと思った。 (省略) メンバA: 何それ? 孫: せっちゃん、うける～! カツ: せっちゃん?	밴드멤버A: 두리씨는 나이가 어떻 게 되세요? (ドゥリさんはおいくつですか?) 말순: 스... 스무살... (二十歳…) 손자: 완전 애기네. 이거. 야, 핏덩어리! 오빠라고 해봐. 빨리! (完全に赤ちゃんだね。これ。おい! 兄ちゃんって言ってみな。早く!) 손자와 밴드멤버들: 오빠! 오빠!

		(兄ちゃん!兄ちゃん!) 말순: 오... 오빠! (兄ちゃん!)
4) 母親が新しい学校に 転校した娘の悩むこと に対する表現と反応の 違い	奈美の母: なへ〜よ。急にお金お金ばゆうて や。この子は?! (省略) 奈美: ほやから足らんねん! ねえ、ちょうだいや。ルーズソックスとか カーディガンとか買いたいよ。 ほんでなかったら 学校で恥ずかしいでー かあ。 (省略) 奈美の母: ええか奈美。震災で工場めげて やな。オトンの知っとる人のツテでよう やく仕事見つかってここ借りんのがやっ とや辛抱せえよ。	나미엄마: 어째 그리 말이 없을까? 우리 딸래미는? 아빠네 부장님이 특별히 거시기해가고. 이대 많이 간다는 학교로 어렵게 그거 했는디 친구들은 많이 사겼는가? (省略) (どうして口数が少ないのかな。 うちの娘は?お父さんの部長が特別 に梨花女子大学にたくさん進学する という高校に苦勞してあれしたの に、友だちはたくさんできた?) 나미: 아, 엄니. 서울 애기들은 다 스펙스 신는 담서. 우리 반 애기들은 다 나이키 아니면 프로스펙스만 신더라고. 아, 금께 바지도 조다쉬... (お母さん、ソウルの子たちは皆 スペックスを履いている。うちのク ラスは皆ナイキとかプロスペックス だけを履いているんだ。あ、ズボンも ジョーダシュ...)
5) 地方の営業所に移動発 令を受けた上司の初挨拶 に対する職員の反応 と表現の違い	東海林: 本社の営業部からやって来た私が 東海林武です。どうぞよろしく。(省略) 土屋: よろしく。 東海林: おう、よろしく。 (二人は握手している) 東海林: 痛い...。 土屋: すいません。本社の人間と喋るの 初めてなんでつい力入っちゃいました。	장규직: 장규직입니다. 오늘부터 제가 여기 물류운영팀 관리를 맡게 될 겁니다. 잘 부탁드립니다. (ジャン・キュジクです。今日から私 がこちらの物流運営チームの管理を 引き受けることになりました。 よろしくお願いします。) 직원: 잘 부탁해. 형씨. 딱 봐도 한참 동생뻘 될 것 같은데 말 놔도 되지? (省略) 그건 그렇고

		<p>뭐 아무튼 열심히 잘 해봐. (よろしく。兄さん。見てもかなり年下みたいけど。タメ口で話してもいい?)</p>
<p>6) 上司が初出勤した 新入社員に対する表現 の違い</p>	<p>(安芸主任は一ノ瀬の姿を見て) 安芸主任：ああ、ごめん。 渋いスーツだな～。 えっ、今のはやりか? 一ノ瀬：あっ、いや。これは… 安芸主任：あっ、主任の安芸公介だ。 よろしくな。 一ノ瀬：よろしくお願いします。 (省略)</p>	<p>김대리: 이름이... (名前は...) 장그래: 장그래 입니다. (ジャン・グレです。) (省略) 김대리: 그 나이가... (歳は...) 장그래: 26 살입니다. (26 歳です。) 김대리: 그니깐 고졸검정고시가 끝이던데? (だから、高卒検定 試験が終わり?) 장그래: 네... (はい...) 김대리: 그 고등학교 그만 둔거야? 안 간거야? 뭐 어떻게 된 거야? (高校辞めた? 行ってない? どういうこと?) 장그래: 안 갔습니다. (行っていません。) 김대리: 왜? 직장생활 경험은? 영어 제 2 외국어 뭐 이런 거 할 줄 아는 거 뭐 있나? (どうして? 社会生活の経験は? 英語とか第2外国語なんかできるこ とある?) 장그래: 없습니다. 컴활 자격증 있습니다. (ないです。パソコン資格が あります。) 김대리: 컴퓨터 활용능력? 잘 했네. 끝? (パソコン資格? 上手。終わり?)</p>

		<p>장그래: 네. (はい。)</p> <p>김대리: 네? 네? 알았어요.</p> <p>나 영업 3 팀 대리 김동식이야.</p> <p>(え?え?了解。私、営業3チームキム・ドンシク代理だ。</p> <p>(省略)</p>
--	--	---

第8章 結論

本研究では日韓リメイク映画とドラマの中で類似した場面に現れている隣接対、連鎖組織を中心に日韓会話構造を比較することを目的に、日本語と韓国語の表現の類似点と相違点、好まれる応答形式と好まれない応答形式の違い、それ以外に見られる表現の差を日韓の会話分析をもとに考察した。

これまで研究した1、2、3、4の分析を通じて、日韓の会話における全体的な隣接対と連鎖組織の相違と好まれる応答形式と好まれない応答形式の差、それ以外に見られる日韓の会話を特徴づける要因の一部が明らかになった。そういう意味で、本研究は日韓の言語文化的な視点を関連付けて日韓の言語表現を探り、それをリメイク映画とドラマの類似した場面を通じて、会話分析を把握する研究として位置付けるという点に研究の意味があるといえよう。

以下、これまでの研究結果と今後の課題について述べる。

まず、日韓で一番多い隣接対は「質問/応答」であった。次に、日本の連鎖が韓国より長く、様々な隣接対が用いられた。日本の場合、相手と順番どおりにやりとりしながら、様々な連鎖が続いていることが確認された。すなわち、日本は相手との円満な会話を築きながら、話が進んでいた。それに対し、韓国の場合、話者中心に自分の感情を隠さずに言ったり、自分が知りたいことを尋ねたり、早く知りたいことを達成するために短い問答形式で連鎖が用いられた。また、日本は好まれる応答形式が多く用いられるが、韓国は好まれない応答形式が多用された。日本の場合、最小限相手の体面を傷けないように、摩擦とか衝突を避け、円満な人間関係を維持しようとする好まれる応答を使っていることが分かる。それに対し、韓国の場合、相手の体面より自分の感情を率直に投げるような好まれない応答形式が多かった。特に、韓国は職位に関わらず、絶対的な上下関係が影響を与えて、目上の方が目下の人に好まれない応答形式を使っても特別なことはみなされないことがあった。また、日韓とも相手と良い関係を結ぼうとするために好まれる応答形式を使っている場合は同じであった。

連鎖組織の拡張として前置き連鎖は、日韓はベース隣接対の前に「話しかけ/応答」、「呼びかけ/応答」を使って、ベース隣接対に進むことが確認された。日本の場合、「挨拶/応答」表現、相手に「呼びかけ」とか相手が好きなものを渡して「話しかけ」とか、天気の状態、相手に感

謝の気持ちを伝えたり「説明」を付け加えた後でベース隣接対が進んでいることが分かる。それに対し、韓国の場合、ベース隣接対が始まる前に、相手に「挨拶」や「呼びかけ」をし、相手に感謝の気持ちを伝えたり話しかけた後、話を進行していることが確認された。

挿入連鎖は、「話しかけ/応答」が挟まっていることが共通点であるが、相違点もあった。日本の場合、「挨拶/応答」と「意思伝達/応答」のように、話者が相手に挨拶とか間接的に自分の気持ちを伝え、相手が話者の意図を確認しながら、会話のやりとりをしているが、韓国の場合、「感謝/問い返し」、「意思伝達/問い返し」のように、話者の挨拶とか意見に対し再び問い返したり、直接的に気持ちを伝えていることが確認された。後方連鎖は、日韓ともベース隣接対の後に位置し、相手に頼んだり、要請する連鎖が続いて、連鎖組織が拡張されることが分かった。特に、韓国が日本より相手の歳とか連絡先を尋ね、相手を評価することが続き、質問とか問い返しが頻繁に表れ、連鎖が拡張することが確認された。

本研究から得られた日韓の共通点と差異点を通じて、言語文化的な視点とは言語に反映され表現される、私たちが住んでいる地域と国の様々な思想や価値観と結びついたものとも言える。人々の思想や価値観などは言語に影響を与え、お互いに切り離すことのできない関係であると考えられる。ただし、本研究で扱った資料は6点で、そこに現れた人間関係は限定的であるので、これがすべての場合に言えるとは限らない。そこで、続いて日韓のリメイク映像資料における会話構造を比較分析を行い、日韓のリメイク映画とドラマの中の日常生活を含む様々な人物関係を通じて日韓の言語文化的な違いが確かになるようにすることを今後の課題としたい。具体的には以下のようなものである。

1つ目は、隣接対のより精密な分類と範囲である。本研究の隣接対の分類はSchegloff&Sacks(1973)の隣接対の分類に基づき、伝(2009)の隣接対の類型を改変した形で加えものであるが、それがどのように割当られるかという隣接対の分類と範囲にとどまっている。これも日韓の類似した場面における隣接対を比較し、類似点と相違点を見出すのに有効な分類であるが、その他の類型が見られることがあればいいと思われる。また、好まれる応答形式と好まれない応答形式、それ以外に見られる表現の差、連鎖組織の結果を踏まえ、どのような状況でどのような形で表れているか詳しく調べる必要がある。

2つ目は、日韓の相手との上下関係と親族関係、歳、呼称などの表現の違いを示したが、性別、年齢別、仕事別などの違いが見られる表現の違いを確認するために様々な映像資料を集めて、より詳しく比較分析する必要がある。本研究の会話場面は家族、友人、上司と部下、同僚である場合が主であるが、より幅広い様々な発話者との関係、例えば、恋人、夫婦、医者と患者、知らない人同士などを扱う場面での会話資料の分析が要される。

3つ目は、様々な話題を扱う映像資料を用いて、日常生活を含み様々な場面の日韓の会話分析を行い、本研究で得られた知見がそこでも通用する普遍的なものかどうかを検証していく必要がある。また、これまで研究した日韓の会話構造（隣接対、好まれる応答形式と好まれない応答形式、連鎖組織）以外に見られる例えば、相槌、言い淀み、フィラーなどの点から会話分析を行い、日韓の会話構造についてもより深く把握する必要がある。

次に、これまでの研究成果を教育現場でどのように活用するのか、及び展望について述べる。日本の言語文化に関心を持っている韓国人学生を対象にして、本研究のリメイク映画とドラマの中で類似した場面の映像資料を観ながら、日本語と韓国語の表現の相違を比較して探る。このことから、日本と韓国の社会的な状況と背景、雰囲気、価値観の違いを理解し、類似した場面のセリフにおける言語表現を学ぶことができる。また、日韓の類似した場面の中で登場人物になって劇とかロールプレイなどを通じて、自律的に会話に参加することによって、日本の言語表現のしかたとか言語的な特徴を会得することが可能である。本研究で明らかにした研究の結果は日韓の言語文化の視点の一部にすぎず、今後引き続き研究することによってさらに深く理解できると思われる。上で述べた日本語教育の理論と実践を念頭に置いて、日韓の言語の違いをこれから研究したい。本研究はまだ、多くの課題が残されている。今後、日韓の会話構造の比較分析を重ねることによって、日本語と韓国語の会話構造の特徴をさらに明確にし、会話データを増やした分析を行い精査していく必要がある。引き続き、日韓のリメイク映画とドラマなど映像メディアの交流が盛んになり、日韓の会話構造の相違に関する対照研究を進めていければよいと考えている。

参考文献

<日本語文献>

- アンソニービム(2010)『翻訳理論の探求』、みすず書房、pp.237-272
- 池上嘉彦・守屋三千代(2009)『自然な日本語を教えるために』ひつじ書房、pp.168-169
- 今田恵美(2015)『対人関係構築プロセスの会話分析』大阪大学出版会、pp.147-184
- 任榮哲(2005)「韓国語における配慮表現－日本語と比較して－」『社会言語学』vol.13.1、韓国社会言語学会、pp.229-247
- 金知垠(2017)「話しかけへの応答からみるマイナス評価表出の日韓比較」『日本語学研究』54、韓国日本語学会、pp.17-30
- 金順任(2006)「話題にのぼる上位者にする敬語運用の日韓照究－シナリオ談話を通じて－」『日本語文学』Vol.29、韓国日本語学会、pp.3-20
- 串田秀也(2006a)『相互行為秩序と会話分析：「話し手」と「共一成員性」をめぐる参加の組織化』世界思想社、pp.93-101
- 串田秀也(2006b)「会話分析の方法と理論－談話データの「質的」分析における妥当性と信頼性」伝康晴・田中ゆか(編)『講座社会言語科学6方法』pp.188-206、ひつじ書房
- 串田秀也・平本毅・林誠(2017)『会話分析入門』pp.100、勁草書房
- 熊谷高幸(2011)『日本語は映像的である』新曜社、東京 pp.129-130
- 権敬珉(2004)「韓国と日本の漫画に見られる「感情補足記号」の比較研究」『漫画アニメーション研究』No.8、韓国漫画アニメーション学会、pp.55-76
- ザトラウスキー、ポリー(1993)『日本語の談話の構造分析－勧誘のストラテジーの考察』くろしお出版
- 相佳枝(2007)「日韓両言語の文末表現に見られる性差の対照研究－いわゆる「韓流」ドラマの台詞とその対訳を題材として－」『比較文化研究』Vol.11 No.1、慶熙大学校比較文化研究所、pp.163-184
- 長良光(2015a)「初対面雑談における連鎖組織の一考察－話題の対象を中心に－」『日本語教育』78、韓国日本語教育学会、pp.27-38
- 長良光(2015b)「初対面雑談における連鎖組織分析の一考察－質問からはじめる連鎖組織を中心に－」『日本文化研究』55、東アジア日本学会、pp.287-307
- 張允娥(2019)「日韓語の日常会話における聞き手の理解表現」『日本学報』121、韓国日本学会、pp.105-122
- 曹英南(2002)「韓日映画における言いさし表現の対照談話分析」『日本語文学』第12輯、韓国日本語学会、pp.95-114
- 徐洪(2010)「韓国と日本の説得戦略の比較－『白い巨塔』と『白い巨塔』の分析を中心に－」『日本語文学』vol1.No.51、日本語学会、pp.459-480
- 高木知世(2009)「隣接ペア概念再訪：相互行為の原動装置」『認知科学』16(4)、日本認知科学学会、pp.481-486
- 高木知世・細田由利・森田笑(2016)『会話分析の基礎』、ひつじ書房
- 筒井佐代(2010)「日本語の雑談における連鎖組織－会話教育のための雑談の類型化の試み－」『日本語教育』52、韓国日本語教育学会、pp.1-18
- 伝康晴(2008)「会話・対話・談話研究のための分析単位」『人工知能学会誌』16(4)、日本認知科学学会、pp.271-276
- 伝康晴(2009)「隣接ペア」坊農真弓・高梨克也[編]『多人数インタラクションの分析手法』オーム社、pp.82-94
- 西阪仰(1999)「会話分析の練習：相互行為の資源としての言い淀み」好井裕明・山田富秋・西阪仰(編)『会話分析への招待』pp.71-100、世界思想社

- 西阪仰・串田秀也・熊谷智子(2008)「相互行為における言語使用：会話データを用いた研究」『社会言語科学』vol.10 No.1、社会言語科学会、pp.13-15
- 橋内武(1985)「もしもしてから用件に入るまで」『言語生活』407: pp.34-42
- 林宅男(2008)『談話分析のアプローチ-理論と実践』研究社、pp.116
- 芳賀恵・金周英・玄武岩(2014)「リメイク作品から見る日韓ドラマの「社会性」－『ハケンの品格』と『職場の神』を題材に－」国際広報メディア・観光学ジャーナル (18)、 pp.69-70
- 平野愛雅(2014)「就職面接自己PRにおける自己に対する褒めの日韓対照研究」『日本語文学』1(63)、韓国日本語文学会、pp.201-219
- 朴廷苑(2020)「日韓言語文化的な視点の違いから見る日韓映画に反映された会話構造の様相」『日本語教育研究』51、韓国日語教育学会、pp.97-114
- 朴廷苑(2021)「韓日リメイク映画における会話構造の比較分析－隣接対と連鎖組織を中心に－」『日本語文学』88、韓国日本語学会、pp.107-133
- 増田将伸(2018)「連鎖組織をめぐる理論的動向」平本毅也(編)『会話分析の広がり』ひつじ 書房、pp.35-61
- 峯崎知子(2015)「申し出の場面での働きかけ方における日韓対照研究」『日語日文学研究』93(1)、韓国日語日文学会、pp.41-38

<韓国語文献>

- 강석우(2014)「의뢰행동의 한일대조연구」『日本語学研究』42、韓国日本語学会、pp.3-19
- 박경래(2005)「한국사회와 호칭어」『사회언어학』 vol.13, 1、한국사회언어학회 pp.229-247
- 송연희(2018)「담화상의 감정표현에 관한 한일대조연구- 발화패턴 사용양상을 중심으로」『日語日文学研究』106(1)、pp.145-163
- 이정복(2020)「호칭의 사회언어학적 연구 검토」사회언어학 vol.28, no.3 『한국사회언어학회』 pp.277-309
- 정영미(2013)「제안행동에 관한 한일 대조연구-친한 친구 간의 청유대화를 분석대상으로 하여-」『일본문화학보』55、한국일본문화학회、pp.81-99
- 한원형(2015)「한일호칭접미사대조연구－～さん、～さま와 ～씨、～님을 중심으로－」『아시아문화연구』가천대학교 아시아문화연구소 vol.37、pp.191-217
- 홍민표(2017)「지인 호칭에 대한 한일 대조 고찰」외국학 연구 제40집、중앙대 외국학연구소、pp.103-122

<英語文献>

- Antaki, C.(1994) *Explaining and Arguing: The Social Organization of Accounts*. Sage
- Levinson, S.C.(1983) *Pragmatics*. Cambridge: Cambridge University Press. pp.334-335
- Pomerantz, A(1978) Compliment Responses: Notes on the Cooperation of Multiple Constraints. In Schenkein, J.(ed.) *Studies in the Organization of Conversational Interaction*. New York: Academic Press. pp.79-112
- Pomerantz, A(1984) Agreeing and Disagreeing with Assessments: Some Features of Preferred/Dispreferred Turn-shapes. In Atkinson, J.M. and J. Heritage(eds.) *Structures of social action: Studies in conversation analysis*. Cambridge University Press, pp.57-101

- Sacks, H and Schegloff, E.A(1979) Two preferences in the organization of reference to persons in conversation and their interaction. In G. Psathas.(Ed.) *Everyday Language : Studies in ethnomethodology* pp.5-21. New York: Irvington.
- Sacks, H(1987) On the Preferences for Agreement and Contiguity in Sequences in Conversation, In Button, G and J. R. E. Lee(eds.) *Talk and Social Organization*. Clevedon/ Philadelphia: Multilingual Matters. pp.54-69
- Sacks, H (1992) *Lectures on Conversation* (ed. by G. Jefferson, introduction by E. Schegloff.) Oxford:Blackwell.
- Schegloff &Sacks, H (1973) Opening up closings, *Semiotica, Vol8*, Mouton de Gruyter, pp.289–327
- Schegloff, E. A(1968) Sequencing in conversational openings, *American Anthropologist, 70(6)*, pp.1075-1095
- Schegloff, E. A (1980) Preliminaries to Preliminaries: Can I ask you a question?, *Sociological Inquiry 50*, pp.104-152
- Schegloff E. A (1986) The routine as achievement, *human studies 9*, pp.111-151
- Schegloff, E. A (2007a) Categories in Action: Person Reference and Membership Categorization. *Discourse Studies 9* pp.433–461

付録

日韓リメイク映画とドラマの類似した場面である。まず、1は日本映画『いま、会いにゆきます(2004)』と『リトル・フォレスト夏/秋(2014)』・『リトル・フォレスト冬/春(2015)』を原作とし、それをリメイクした韓国映画『지금 만나러 갑니다(2018)』と『리틀 포레스트(2018)』の類似した場面である。

1. 日本映画を原作とし、それをリメイクした韓国映画の類似した場面

作品	場面
日本『いま、会いにゆきます(2004)』	[J1-1] 家に帰った巧が滯の映像を見る場面 [J1-2] 巧と佑司が記憶がない滯の状態について話す場面 [J1-3] 記憶がない滯が家に帰ってどうなったかについて聞いてみる場面 [J1-4] 滯に電話をかける巧の場面 [J1-5] 大学生になって会う滯と巧、滯が巧のペンを渡す場面 [J1-6] 巧を訪れる滯の場面 [J1-7] 滯が佑司に目玉焼きを作る方法を教える場面 [J1-8] 滯が森の廃屋で佑司に最後の挨拶をし巧のことを頼む場面
韓国『지금 만나러 갑니다(2018)』	[K1-1] 家に帰ったウジンがスアの映像を見る場面 [K1-2] ウジンとジホが記憶がないスアの状態について話す場面 [K1-3] 記憶がないスアが家に帰ってどうなったかについて聞いてみる場面 [K1-4] スアに電話をかけるウジンの場面 [K1-5] 大学生になって会うスアとウジン、スアがウジンのペんに渡す場面 [K1-6] ウジンを訪れるスアの場面 [K1-7] スアがジホに目玉焼きを作る方法を教える場面 [K1-8] スアがトンネルでジホに最後の挨拶をしウジンのことを頼む場面
日本『リトル・フォレスト夏/秋(2014)』 『リトル・フォレスト冬/春(2015)』	[J2-1] 後輩ユウ太がいち子の家に訪れ、いち子が作った米サワーを飲みながら話す場面 [J2-2] いち子の家に母親の手紙を配達してきた郵便屋さんと話合う場面 [J2-3] いち子とユウ太がいち子が作ったケーキを食べながら話し合う場面 [J2-4] いち子が学校に行く準備をしながら母親と話合う場面

	<p>[J2-5] キッコがいち子に会社の上司について文句を言う場面</p> <p>[J2-6] いち子が家を出た後、キッコとユウ太がいち子に頼まれた玉ねぎ栽培をしながら彼女について話し合う場面</p>
韓国『리틀 포레스트(2018)』	<p>[K2-1] 友達ウンスクがヘウォンの家に訪れ、友だちゼハがすでに来ている。 3人はヘウォンが作ったマッコリを飲みながら話す場面</p> <p>[K2-2] ヘウォンの家に母親の手紙を配達してきた郵便屋さんと話し合う場面</p> <p>[K2-3] 3人が集まってヘウォンが作ったお餅を食べながら話し合う場面</p> <p>[K2-4] ヘウォンが学校に行く準備をしながら母親と話し合う場面</p> <p>[K2-5] ウンスクがヘウォンに会社の上司について文句を言う場面</p> <p>[K2-6] ヘウォンが家を出た後、ウンスクとゼハがヘウォンに頼まれた玉ねぎ栽培をしながら彼女について話し合う場面</p>

2は韓国映画『써니(2011)』と『수상한 그녀(2014)』を原作とし、それをリメイクした日本映画『サニー(2018)』と『怪しい彼女(2016)』の類似した場面である。

2. 韓国映画を原作とし、それをリメイクした日本映画の類似した場面

作品	場面
韓国映『써니(2011)』	<p>[K3-1] 朝食中、ナミが旦那と娘を入院したおばあさんのお見舞いに誘う場面</p> <p>[K3-2] ナミが病院で偶然に高校の友達チュンハの病室に立ち寄って話し合う場面</p> <p>[K3-3] ナミが出張に行く旦那を見送る場面</p> <p>[K3-4] (高校時代)夕食中、ナミが両親に転校した学校の同級生の身なりについて話す場面</p> <p>[K3-5] ナミが高校時代の恩師を訪ねる場面</p> <p>[K3-6] ナミとジャンミがチュンハのお見舞いをした後、帰りながら話し合う場面</p> <p>[K3-7] 娘の登校準備を手伝うナミの姿と高校時代、自分の登校準備する姿を比較する場面</p> <p>[K3-8] ナミとジャンミがサニーのメンバーのジニと会う場面</p> <p>[K3-9] (高校時代)ナミとジャンミが出会う場面</p> <p>[K3-10] (高校時代)ジュンホが不良女子高生たちにいじめられているナミを救い、 二人で帰りながら話し合う場面</p> <p>[K3-11] チュンハの病室でナミとチュンハが話し合う場面</p> <p>[K3-12] (高校時代)ナミがサニーのメンバーのスジの家を訪問する場面</p>

	<p>[K3-13] (高校時代)屋台でナミとスジが話し合う場面</p> <p>[K3-14] ナミとチュンハと一緒に横になって話し合う場面</p> <p>[K3-15] (高校時代)学園祭の日、サンミがナミに話しかける場面</p> <p>[K3-16] チュンハの葬式にサニーのメンバーがみんな集まって話し合う場面</p>
日本『サニー(2018)』	<p>[J3-1] 朝食中、奈美が旦那と娘を入院したおばあさんのお見舞いに誘う場面</p> <p>[J3-2] 奈美が病院で偶然に高校の友達芹香の病室に立ち寄って話し合う場面</p> <p>[J3-3] 奈美が出張に行く旦那を見送る場面</p> <p>[J3-4] (高校時代)夕食中、奈美が両親に転校した学校の同級生の身なりについて話す場面</p> <p>[J3-5] 奈美が高校時代の恩師を訪ねる場面</p> <p>[J3-6] 奈美と梅が芹香のお見舞いをした後、帰りながら話し合う場面</p> <p>[J3-7] 娘の登校準備を手伝う奈美の姿と高校時代、自分の登校準備する姿を比較する場面</p> <p>[J3-8] 奈美と梅がサニーのメンバの裕子と会う場面</p> <p>[J3-9] (高校時代)奈美と涉さんが出会う場面</p> <p>[J3-10] (高校時代)涉さんが不良女子高生たちにいじめられている奈美を救い、 二人で帰りながら話し合う場面</p> <p>[J3-11] 芹香の病室で奈美と芹香が話し合う場面</p> <p>[J3-12] (高校時代)奈美がサニーのメンバーの奈々の家を訪問する場面</p> <p>[J3-13] (高校時代)屋台で奈美と奈々が話し合う場面</p> <p>[J3-14] 奈美と芹香と一緒に横になって話し合う場面</p> <p>[K3-15] (高校時代)学園祭の日、美礼が奈美に話しかける場面</p> <p>[K3-16] 芹香の葬式にサニーのメンバーがみんな集まって話し合う場面</p>
韓国『수상한 그녀(2014)』	<p>[K4-1] 娘が怪我をしたお父さんを見て話し合う場面</p> <p>[K4-2] 嫁がオーディションを受けるために出かける息子を見て文句を言う場面</p> <p>[K4-3] 朴さんとマルスの孫が行方不明になったマルスを警察に届け出た後で話し合う場面</p> <p>[K4-4] 孫がマルスにバンドボーカルを頼む場面</p> <p>[K4-5] マルスンが孫のバンドの演奏を見て話す場面</p> <p>[K4-6] マルスンと孫のバンドが食堂でマルスンの年齢について聞く場面</p> <p>[K4-7] 若返ったマルスンが朴さんと話し合う場面</p> <p>[K4-8] 朴さんがマルスンの息子に会ってマルスンの手紙を伝える場面</p> <p>[K4-9] 朴さんの娘が朴さんがマルスンの足を治療するのを見て二人の関係を誤解する場面</p>

	<p>[K4-10] 朴さんがマルスンの息子を訪ねて、若返ったマルスンが母親だと話す場面</p> <p>[K4-11] 孫の曲を評価しなかったプロデューサーに腹を立てた孫とマルスンが話し合う場面</p> <p>[K4-12] マルスンが朴さんに桃を渡しながらオクジャについて聞いてみる場面</p> <p>[K4-13] 朴さんが孫のために輸血しようとするマルスンを心配して話しかける場面</p> <p>[K4-14] 若返ったマルスンと彼女が実にも母親であることを知った息子が話し合う場面</p> <p>[K4-15] 元の老人に戻ったマルスンが若返った朴さんに会って話す場面</p>
日本『怪しい彼女(2016)』	<p>[J4-1] 娘が怪我をしたお父さんを見て話し合う場面</p> <p>[J4-2] 母親がバンド公演をするために出かける息子を見て文句を言う場面</p> <p>[J4-3] 次郎とカツの孫が行方不明になったマルスンを警察に届け出た後で話し合う場面</p> <p>[J4-4] 孫がカツにバンドボーカルを頼む場面</p> <p>[J4-5] カツが孫のバンドの演奏を見て話す場面</p> <p>[J4-6] カツと孫のバンドが食堂でカツの年齢について聞く場面</p> <p>[J4-7] 若返ったカツが次郎と話し合う場面</p> <p>[J4-8] 次郎がカツの息子に会ってカツの手紙を伝える場面</p> <p>[J4-9] 次郎の娘が次郎がカツの足を治療するのを見て二人の関係を誤解する場面</p> <p>[J4-10] 次郎がカツの息子を訪ねて、若返ったカツが母親だと話す場面</p> <p>[J4-11] 孫の曲を評価しなかったプロデューサーに腹を立てた孫とカツが話し合う場面</p> <p>[J4-12] カツが次郎に桃を渡しながらみどりについて聞いてみる場面</p> <p>[J4-13] 次郎が孫のために輸血しようとするカツを心配して話しかける場面</p> <p>[J4-14] 若返ったカツと彼女が実にも母親であることを知った息子が話し合う場面</p> <p>[J4-15] 元の老人に戻ったカツが若返った次郎に会って話す場面</p>

3 は日本ドラマ『派遣の品格(2007)』を原作とし、それをリメイクした韓国ドラマ『직장의 신(2013)』の類似した場面である。

3. 日本ドラマを原作とし、それをリメイクした韓国ドラマの類似した場面

作品	場面
日本『派遣の品格(2007)』	<p>[J5-1] 派遣会社のマネージャーと求職者美雪が初対面する場面</p> <p>[J5-2] 美雪が会社の面接を受ける場面</p> <p>[J5-3] 派遣会社のマネージャーが会社の人に大前を紹介する場面</p> <p>[J5-4] 東海林主任が大前に仕事をさせる場面</p>

[J5-5]	小笠原が昼食代を払おうとするのを大前が断る場面
[J5-6]	里中主任が大前に美雪の仕事を手伝うよう頼む場面
[J5-7]	里中と東海林が昨夜見た彼女が大前だと確信して聞いてみる場面
[J5-8]	東海林と外勤に行った大前を見て店長が話しかける場面
[J5-9]	大前が男子社員の使い走りをする美雪に忠告する場面
[J5-10]	里中が大前に東海林との対決にわざと負けた理由を聞いてみる場面
[J5-11]	店長が東海林にマグロの解体ショーに大前が来るか聞いてみる場面
[J5-12]	東海林が部長にツネさんが腕を骨折したことを報告する場面
[J5-13]	店長が東海林にツネさんの代わりに他の人を探すかどうか尋ねる場面
[J5-14]	里中が大前を訪ねてマグロの解体ショーの手伝いを頼む場面
[J5-15]	マグロの解体ショーの当日、会社の人達と店長が解体ショーのキャンセルを本部長に謝る場面
[J5-16]	部長が大前に契約の延長を打診する場面
[J5-17]	東海林が大前がいつも昼ご飯を食べる定食屋に行って話しかける場面
[J5-18]	東海林と里中が大前に関して話し合う場面
[J5-19]	東海林が派遣会社のマネージャーに大前がロシア語の資格を持っているかどうかについて尋ねる場面
[J5-20]	東海林が大前にキスした後、彼女に自分をどう思っているのかを尋ねる場面
[J5-21]	部長が里中に小笠原さんの嘱託契約が更新できなくなったことを知らせる場面
[J5-22]	里中が東海林に小笠原さんの嘱託契約が更新できなくなったことについて話し合う場面
[J5-23]	部長が大前に小笠原さんについてどう思っているのかについて尋ねる場面
[J5-24]	東海林と里中が大前を訪ねて部長に小笠原さんのことを話したことを問い詰める場面
[J5-25]	里中が小笠原さんに嘱託契約が更新できなくなったことを知らせる場面
[J5-26]	小笠原さんが大前に感謝の気持ちを伝える場面
[J5-27]	里中が大前に計画書の検討を頼む場面
[J5-28]	東海林が里中に美雪の計画を里中の名前で提出するように話す場面
[J5-29]	東海林が大前に自分の計画案に参加しようと誘う場面
[J5-30]	大前が里中に美雪の計画書を誰の名前で提出するか尋ねる場面
[J5-31]	里中が大前を訪ねて美雪の計画書を自分の名前に出したことについて尋ねる場面
[J5-32]	部長が派遣のマネージャーを招き入れる美雪の契約を打ち切ると知らせる場面
[J5-33]	派遣のマネージャーが美雪に契約を打ち切ることについて話す場面
[J5-34]	大前が部長に美雪の契約の打ち切りについて尋ねる場面
[J5-35]	大前が部長の剣道場を訪ねて部長に試合を申し込む場面
[J5-36]	会議室で東海林と部長が「ハケン弁当」の計画案について話し合っているところに里中が入って自分が準備した資料を提出し説明する場面
[J5-37]	里中が「ハケン弁当」のプレゼンを終わってマーケティング課の人に結果を話す場面
[J5-38]	地方の営業所に移動発令を受けた東海林が職員に挨拶する場面
[J5-39]	大前が里中に派遣で生きていく理由について話し合う場面

	[J5-40] 大前の最後の勤務の日、美雪が退勤する大前に感謝の気持ちを伝える場面
韓国『직장의 신(2013)』	[K5-1] 派遣会社のマネージャーと求職者ジョン・ジュリが初対面する場面 [K5-2] ジョン・ジュリが会社の面接を受ける場面 [K5-3] 派遣会社のマネージャーが会社の人にミス・キムを紹介する場面 [K5-4] ジャン・キュジクがミス・キムに仕事をさせる場面 [K5-5] 課長が昼食代を払おうとするのをミス・キムが断る場面 [K5-6] ム・ジョンハンがミス・キムにジョン・ジュリの仕事を手伝うよう頼む場面 [K5-7] ム・ジョンハンとジャン・キュジクは昨夜見た彼女がミス・キムだと確信して聞いてみる場面 [K5-8] ジャン・キュジクと外勤に行ったミス・キムを見て店長が話しかける場面 [K5-9] ミス・キムが男子社員の使い走りをするジョン・ジュリに忠告する場面 [K5-10] ム・ジョンハンがミス・キムにジャン・キュジクとの対決にわざと負けた理由を聞いてみる場面 [K5-11] 店長がジャン・キュジクにカニの醤油漬けショーにミス・キムが来るか聞いてみる場面 [K5-12] ジャン・キュジクが部長に達人が腕を骨折したことを報告する場面 [K5-13] 店長がジャン・キュジクに達人の代わりに他の人を探すかどうか尋ねる場面 [K5-14] ム・ジョンハンがミス・キムを訪ねてカニの醤油漬けショーの手伝いを頼む場面 [K5-15] 醤油カニショーの当日、会社の人達と店長がカニの醤油漬けショーのキャンセルを常務に謝る場面 [K5-16] 部長がミス・キムに正社員として採用したいと打診する場面 [K5-17] ジャン・キュジクがミス・キムがいつも昼ご飯を食べる定食屋に行って話しかける場面 [K5-18] ジャン・キュジクとム・ジョンハンがミス・キムに関して話し合う場面 [K5-19] ジャン・キュジクが派遣会社のマネージャーにミス・キムがロシア語の資格を持っているかどうかについて尋ねる場面 [K5-20] ジャン・キュジクがミス・キムにキスした後、彼女に自分をどう思っているのかを尋ねる場面 [K5-21] 部長がム・ジョンハンにゴ課長が勧告辞職リストに載ったことを知らせる場面 [K5-22] ム・ジョンハンがジャン・キュジクにゴ課長が勧告辞職のリストに載ったことについて話し合う場面 [K5-23] 部長がミス・キムにゴ課長についてどう思っているのかについて尋ねる場面 [K5-24] ム・ジョンハンとジャン・キュジクがミス・キムを訪ねて部長にゴ課長のことを話したことを問い詰める場面 [K5-25] ム・ジョンハンがゴ課長に勧告辞職になったことを知らせる場面 [K5-26] ゴ課長がミス・キムに感謝の気持ちを伝える場面 [K5-27] 新入社員がミス・キムに計画書の検討を頼む場面 [K5-28] ジャン・キュジクがム・ジョンハンにジョン・ジュリの計画をム・ジョンハンの名前で提出するように話す場面 [K5-29] ジャン・キュジクがミス・キムに自分の計画案に参加しようと誘う場面

	[K5-30] ミス・キムがム・ジョンハンにジョン・ジュリの計画書を誰の名前で提出するかを尋ねる場面
	[K5-31] ム・ジョンハンがミス・キムを訪ねてジョン・ジュリの計画書を自分の名前で出したことについて尋ねる場面
	[K5-32] 部長が派遣のマネージャーを招き入れてジョン・ジュリの契約を打ち切ると知らせる場面
	[K5-33] 派遣のマネージャーがジョン・ジュリに契約を打ち切ることについて話す場面
	[K5-34] ミス・キムが部長にジョン・ジュリの契約の打ち切りについて尋ねる場面
	[K5-35] ミス・キムが部長の柔道場を訪ねて部長に試合を申し込む場面
	[K5-36] 会議室でジャン・キュジクと部長が「ハケン弁当」の計画案について話し合っているところにム・ジョンハンが入って自分が準備した資料を提出し説明する場面
	[K5-37] ム・ジョンハンが「ハケン弁当」のプレゼンを終わってマーケティングの支援チームの人に結果を話す場面
	[K5-38] 地方の営業所に移動発令を受けたジャン・キュジクが職員に挨拶する場面
	[K5-39] ミス・キムがム・ジョンハンに派遣で生きていく理由について話し合う場面
	[K5-40] ミス・キムの最後の勤務の日、ジョン・ジュリが退職する大前に感謝の気持ちを伝える場面

4 は韓国ドラマ『미생(2014)』を原作とし、それをリメイクした日本ドラマ『HOPE(2016) ー期待ゼロの新入社員ー』の類似した場面である。

4. 韓国ドラマを原作とし、それをリメイクした日本ドラマの類似した場面

作品	場面
韓国『미생(2014)』	[K6-1] 父親のスーツを着て出勤準備をしている息子を見て母親が近づいて話しかける場面
	[K6-2] キム代理が初出勤したジャン・グレに履歴について尋ねる場面
	[K6-3] コピー室でジャン・グレが備品がどこにあるか社員に聞いてみる場面
	[K6-4] キム代理が他のインターン、アン・ヨンイにジャングレを頼む場面
	[K6-5] ジャン・グレがアン・ヨンイに外国の取引先の電話に出てくれと頼む場面
	[K6-6] 他のインターン達がジャン・グレに学歴について聞いてみる場面
	[K6-7] オ課長がジャン・グレに自分に何を売ることができるかを質問する場面
	[K6-8] 一人で残業を終わって会社に戻るジャン・グレが退職するアン・ヨンイの携帯に同僚のジャン・ベッキから連絡が入り、2人で同僚たちの集まりに行く場面
	[K6-9] 同僚の集まりに行ったジャン・グレとアン・ヨンイが他の同僚と話し合う場面
	[K6-10] オ課長とキム代理がジャン・グレが分類したファイルを見て話し合う場面
	[K6-11] キム代理がジャン・グレが分類したファイルについて叱責する場面
	[K6-12] ゴ課長がオ課長にジャン・グレがどこのコネ子なのかについて話す場面

[K6-13]	アン・ヨンイがジャン・グレにプレゼンのパートナーを組もうと誘う場面
[K6-14]	キム代理がジャン・グレに他のインターン達がプレゼンのパートナーを組もうとする理由を話す場面
[K6-15]	キム代理がジャン・グレにレシートを貼って総務チームに提出するのを指示する場面
[K6-16]	他のインターンがジャン・グレに糊を借りる場面
[K6-17]	専務がロビーに落ちた書類を拾って営業3課を訪ねて責める場面
[K6-18]	オ課長がゴ課長のインターンがロビーに書類を落したのを知っているのにそのことについて言いそびれる場面
[K6-19]	オ課長がキム代理にジャン・グレが分類したファイルを褒め、ロビーに落ちた書類の件についてジャン・グレが無罪だと話す場面
[K6-20]	飲み会を終わって、オ課長の営業3課チームとゴ課長のチームが偶然に会う場面
[K6-21]	ジャン・ベッキがアン・ヨンイにジャン・グレが他の人とプレゼンのパートナーを組むのを話す場面
[K6-22]	アン・ヨンイがジャン・グレに他の人とプレゼンのパートナーを組むことを知り、そのことについて話す場面
[K6-23]	オ課長はジャン・グレにプレゼンのパートナーについて助言する場面
[K6-24]	オ課長が専務にキム代理に対する懲罰の件について大目に見てくれるよう頼む場面
[K6-25]	アン・ヨンイがソン次長に自分の悩みについて話す場面
[K6-26]	アン・ヨンイがジャン・グレに文書がある所を知らせる場面
[K6-27]	問題の文書を発見したオ課長が資源課ジョン課長と話し合う場面
[K6-28]	バク代理と取引先を見学するジャン・ベッキがバク代理に取引先の納品遅延について意見を言う場面
[K6-29]	取引先のウソが発覚した後、ジャン・ベッキとジャン・グレが話し合う場面
[K6-30]	取引先の課長がバク代理に納期遅れについて謝る場面
[K6-31]	取引先の社長がバク代理に謝る場面
[K6-32]	ハン・ソギユルがジャン・ベッキとアン・ヨンイにジャン・グレが会議に同席することを話す場面
[K6-33]	アン・ヨンイがジャン・ベッキに資源課の保留した案件について尋ねる場面
[K6-34]	4人が集まってアン・ヨンイが引き受ける案件について話す場面
[K6-35]	アン・ヨンイが財務部長を訪ねる場面
[K6-36]	残業をしているアン・ヨンイとジャン・グレが話し合う場面
[K6-37]	アン・ヨンイが財務部長に保留した案件に関して自分の考えを話す場面
[K6-38]	ジャン・ベッキが文書修正だけ頼むカン代理に文句を言う場面
[K6-39]	カン代理がジャン・ベッキに助言をする場面
[K6-40]	ハン・ソギユルがソン代理が頼む仕事を拒否する場面
[K6-41]	ハ代理がアン・ヨンイに業務を指示する場面

	<p>[K6-42] オ課長が部長にヨルダンの事業の企画案を提出しそのことについて話す場面</p> <p>[K6-43] アン・ヨンイが以前の職場の上司に会う場面</p> <p>[K6-44] プレゼンの発表を前にしてオ課長とキム代理が話し合う場面</p> <p>[K6-45] ジャン・グレが営業3課の人にプレゼンの内容について自分の意見を話す場面</p> <p>[K6-46] プレゼンの日、社長がジャン・グレに質問する場面</p> <p>[K6-47] 鉄鋼課カン代理が営業3課のキム代理に以前の船舶事故の処理について尋ねる場面</p> <p>[K6-48] カン代理がオ課長にジャン・グレのおかげで船舶事故をうまく処理したと話す場面</p> <p>[K6-49] ジャン・グレとジャン・ベッキが10万ウォンで何をかうのかについて話す場面</p> <p>[K6-50] ジャン・ベッキが靴下とパンツを売りに先輩の会社を訪ねる場面</p> <p>[K6-51] ジャン・グレが靴下とパンツを売りに棋院会館を訪ねる場面</p> <p>[K6-52] オ次長がソン次長のお見舞いに行って話し合う場面</p> <p>[K6-53] オ次長が、ソン次長の代わりに4人の新入社員が作成した報告書をソン次長に見せる場面</p> <p>[K6-54] ジャン・ベッキがジャン・グレにオ次長が新しい事業をしようとする理由を話す場面</p> <p>[K6-55] ジャン・グレがオ次長に新しい事業をやめようとする理由を話す場面</p> <p>[K6-56] オ次長が会社から左遷された専務と話し合う場面</p> <p>[K6-57] オ次長が妻に会社を辞めてもいいかと尋ねる場面</p>
<p>日本『HOPE(2016) ー期待ゼロの新入社員ー』</p>	<p>[J6-1] 父親のスーツを着て出勤準備をしている息子を見て母親が近づいて話しかける場面</p> <p>[J6-2] 安芸主任が初出勤した一ノ瀬に履歴について尋ねる場面</p> <p>[J6-3] コピー室で一ノ瀬は備品がどこにあるかについて社員に聞いてみる場面</p> <p>[J6-4] 安芸主任が他のインターン、香月に一ノ瀬を頼む場面</p> <p>[J6-5] 一ノ瀬が香月に外国の取引先の電話に出てくれと頼む場面</p> <p>[J6-6] 他のインターン達が一ノ瀬に学歴について聞いてみる場面</p> <p>[J6-7] 織田課長が一ノ瀬に自分について何を売ることができるかを質問する場面</p> <p>[J6-8] 一人で残業を終わって会社に戻る一ノ瀬が退勤する香月の携帯に同僚の桐明から連絡が入り、2人で同僚たちの集まりに行く場面</p> <p>[J6-9] 同僚の集まりに行った一ノ瀬と香月が他の同僚と話し合う場面</p> <p>[J6-10] 織田課長と安芸主任が一ノ瀬が分類したファイルを見て話し合う場面</p> <p>[J6-11] 安芸主任は一ノ瀬が分類したファイルについて叱責する場面</p> <p>[J6-12] 小早川課長が織田課長に一ノ瀬がどこのコネ子なのかについて話す場面</p> <p>[J6-13] 香月が一ノ瀬にプレゼンのパートナーを組もうと誘う場面</p> <p>[J6-14] 安芸主任が一ノ瀬に他のインターン達がプレゼンのパートナーを組もうとする理由を話す場面</p> <p>[J6-15] 安芸主任が一ノ瀬にレシートを貼って総務チームに提出するのを指示する場面</p> <p>[J1-16] 他のインターンが一ノ瀬に朱肉を借りる場面</p> <p>[J6-17] 専務がロビーに落ちた書類を拾って営業3課を訪ねて責める場面</p>

[J6-18]	織田課長が小早川課長のインターンがロビーに書類を落したのを知っているのにそのことについて言いそびれる場面
[J6-19]	織田課長が安芸主任に一ノ瀬が分類したファイルを褒め、ロビーに落ちた書類の件について一ノ瀬が無罪だと話す場面
[J6-20]	飲み会を終わって、織田課長の営業3課チームと小早川課長のチームが偶然に会う場面
[J6-21]	桐明が香月に一ノ瀬が他の人とプレゼンのパートナーを組むのを話す場面
[J6-22]	香月が一ノ瀬に他の人とプレゼンのパートナーを組むことを知り、そのことについて話す場面
[J6-23]	織田課長は一ノ瀬にプレゼンについて助言する場面
[J6-24]	織田課長が専務に安芸主任に対する懲罰の件について大目に見てくれるよう頼む場面
[J6-25]	香月が白石課長に自分の悩みについて話す場面
[J6-26]	香月が一ノ瀬に文書がある所を知らせる場面
[J6-27]	問題の文書を発見した織田課長が資源課寺崎課長と話し合う場面
[J6-28]	大平主任と取引先を見学する桐明が大平主任に取引先の納品遅延について意見を言う場面
[J6-29]	取引先のウソが発覚した後、桐明と一ノ瀬が話し合う場面
[J6-30]	取引先の人が大平主任に納期遅れについて謝る場面
[J6-31]	取引先の社長が大平主任に謝る場面
[J6-32]	人見が桐明に一ノ瀬が会議に同席することを話す場面
[J6-33]	香月が桐明に資源課の保留した案件について尋ねる場面
[J6-34]	4人が集まって香月が引き受ける案件について話す場面
[J6-35]	香月が財務部長を訪ねる場面
[J6-36]	残業をしている香月と一ノ瀬が話し合う場面
[J6-37]	香月が財務部長に保留した案件に関して自分の考えを話す場面
[J6-38]	桐明が文書修正だけ頼む結城主任に文句を言う場面
[J6-39]	結城主任が桐明に助言をする場面
[J6-40]	人見が鳴海主任が頼む仕事を拒否する場面
[J6-41]	松山主任が香月に業務を指示する場面
[J6-42]	織田課長が部長にイランの事業の企画案を提出しそのことについて話す場面
[J6-43]	香月が以前の職場の上司に会う場面
[J6-44]	プレゼンの発表を前にして織田課長と安芸主任が話し合う場面
[J6-45]	一ノ瀬が営業3課の人にプレゼンの内容について自分の意見を話す場面
[J6-46]	プレゼンの日、専務が一ノ瀬に質問する場面
[J6-47]	鉄鋼課の結城主任が営業3課の安芸主任に以前の船舶事故の処理について尋ねる場面
[J6-48]	結城主任が織田課長に一ノ瀬のおかげで船舶事故をうまく処理したと話す場面

	<p>[J6-49] 一ノ瀬と桐明が1万円で購入の何について話す場面</p> <p>[J6-50] 桐明がハンカチを売りに先輩の会社を訪ねる場面</p> <p>[J6-51] 一ノ瀬がハンカチを売りに棋院会館を訪ねる場面</p> <p>[J6-52] 織田課長が白石課長のお見舞いに行って話し合う場面</p> <p>[J6-53] 織田課長が、白石課長の代わりに4人の新入社員が作成した報告書を白石課長に見せる場面</p> <p>[J6-54] 桐明が一ノ瀬に織田課長が新しい事業をしようとする理由を話す場面</p> <p>[J6-55] 一ノ瀬が織田課長に新しい事業をやめようと話す場面</p> <p>[J6-56] 織田課長が会社から左遷された専務と話し合う場面</p> <p>[J6-57] 織田課長が妻に会社を辞めてもいいかと尋ねる場面</p>
--	--

謝辞

本論文は、2019年から2021年かけて広島大学大学院国際協力研究科教育文化専攻博士後期課程の中の研究成果をまとめたものです。本研究の遂行にあたっては、多くの方々からご指導とご助言をいただきました。ここに記して、感謝の意を表します。

指導先生である深見兼孝先生は、博士課程後期の3年間、研究の方向付けから最後論文をまとめるまであらゆる面に渡り優しく見守ってご指導をいただきました。また、投稿論文を完成に至るまで数多くのコメントをいただきました。ここに深く感謝の意を表します。

本学の堀田泰司先生、佐藤暢治先生、今田良信先生、広島大学名誉教授である多和田眞一郎先生からも大変大切なお助言をいただきました。

堀田泰司先生は博士論文執筆に関して、各章立てから研究成果をどう活用するのかについて温かいコメントをいただきました。心より感謝を申し上げます。

佐藤暢治先生は論文内容に関して細部に至るまで貴重なコメントをいただきました。この場を借りて、心よりお礼申し上げます。

今田良信先生は全体的に論文の書き方および日本語表現などについて大切なコメントをいただきました。心より感謝を申し上げます。

多和田眞一郎先生は穏やかなお言葉でご助言と励ましていただきました。心より感謝を申し上げます。

また、私が日本留学を決心し色々なことを役に立ってくださった母校である韓国の祥明大学の日本語専攻先生、全員のお名前を挙げることはできませんが、お力添えをいただきました。そして、深見指導先生の弟子にして先輩であるクォン・ソン先生にも感謝いたします。

最後にこれまで私の留学生活に対して常に温かく見守り、応援と激励、支援してくれた韓国の家族に心から感謝しております。特に勉強するママを理解し応援してくれる5歳息子キム・ミンジュンに愛する心を伝えます。

2022年1月 朴 廷苑